

2016(平成28)年度
事業報告書
(抜 粋)

学校法人 日本大学

目 次

あいさつ	1
I 法人の概要	
1 日本大学沿革	3
2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)	4
3 設置する学校	5-7
4 学生・生徒数(入学定員・収容定員・現員)	8-10
5 事務組織	11-12
6 研究所組織	13
7 役員・教職員の概要	14-18
II 事業の概要	
1 本部	20-22
2 部科校等	
・大学院総合社会情報研究科	23
・法学部, 法学研究科, 新聞学研究科, 知的財産研究科, 法務研究科	24-25
・文学部, 文学研究科, 総合基礎科学研究科	26-27
・経済学部, 経済学研究科	28-29
・商学部, 商学研究科	30
・芸術学部, 芸術学研究科	31-32
・国際関係学部, 国際関係研究科, 短期大学部	33
・三軒茶屋キャンパス(危機管理学部, スポーツ科学部)	34
・理工学部, 理工学研究科, 短期大学部	35-36
・生産工学部, 生産工学研究科	37-39
・工学部, 工学研究科	40-41
・医学部, 医学研究科, 附属看護専門学校	42-43
・歯学部, 歯科研究科, 附属歯科技工専門学校, 附属歯科衛生専門学校	44
・松戸歯学部, 松戸歯科研究科, 附属歯科衛生専門学校	45
・生物資源科学部, 生物資源科学研究科, 獣医学研究科	46
・薬学部, 薬学研究科	47-48
・通信教育部	49
【高等学校等】	
・日本大学高等学校・中学校	50
・櫻丘高等学校	51
・鶴ヶ丘高等学校	52
・藤沢高等学校・中学校・小学校	53
・豊山高等学校・中学校	54
・豊山女子高等学校・中学校	55
・三島高等学校・中学校	56
・明誠高等学校	57
・山形高等学校	58
・習志野高等学校	59
・東北高等学校	60
・幼稚園	61

【病院】

・日本大学病院	62
・医学部附属板橋病院	63-64
・歯学部附属歯科病院	65
・松戸歯学部附属病院	66

Ⅲ 事業の概要(データ編)

1 一般入学試験志願者数	68
2 修了者数/卒業生数/博士学位授与者数	69-70
3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数	71-76
4 学内奨学金制度	77-81
5 就職状況	82
6 保健体育審議会所属競技部の主な成績	83-85
7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業	86-88
8 公開講座	89-90
9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産	91-92
10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数	93-94

Ⅳ 財務の概要

1 平成 28 年度資金収支計算書	96
2 資金収支計算書の概要	97-98
3 平成 28 年度事業活動収支計算書	99
4 事業活動収支計算書の概要	100
5 貸借対照表(平成 29 年 3 月 31 日現在)	101-102
6 貸借対照表の概要	103
7 財産目録(平成 29 年 3 月 31 日現在)	104
8 参考資料	
①平成 24 年度～平成 28 年度 財務比率の推移	105
②平成 24 年度～平成 28 年度 資金収支決算の推移	106
③平成 24 年度～平成 28 年度 事業活動収支決算の推移	107
④平成 24 年度～平成 28 年度 貸借対照表の推移	108-109

あ い さ つ

学校法人日本大学理事長 田中英壽

平成28年度の事業計画では、18歳人口が減少する「2018年問題」に加え、国が進める「地方創生」の一環として、文部科学省からは入学定員等の一層の適正な管理が求められ、さらに、私立大学等経常費補助金の不交付となる入学定員超過率の基準が引き下げられる等、教育現場を取り巻く厳しい環境に対応すべく、本学として様々な計画の策定を行い、実行に移してまいりました。今回その成果について、本事業報告書をもって、皆様に御報告させていただきたいと思っております。

平成29年度入試においては、入学検定料の見直し及びN方式入試を全学部に拡充して実施する等の入試制度改革を行いました。また、学生寮をさらに充実させ、地方の学生も進学しやすい環境を整備したこともあり、17年ぶりに志願者が10万人を超えた平成28年度から志願者がさらに増加し、11万人を超えました。これにより定員の確保はもとより、より優秀な学生を確保することができました。なお、今後、給付型奨学金による学生支援を充実させていくことで、さらなる志願者増を図ります。また、「教学に関する全学的な基本方針」で示された国際交流の推進に関する取組における、グローバル化の意識を高める教育の実践とキャンパス環境の整備を実現させるため、オーストラリアの不動産を取得することにより、さらなる教育環境の充実が可能となりました。さらに平成29年度には、世田谷区に認定こども園を開園しました。教育・研究機関である日本大学の総合力を活かし、単に保育ニーズに応えるというだけでなく、幼少教育からの一貫した教育を実践するリーディング機関となることを目指していきます。

このように、教育現場を取り巻く環境が厳しくなる中でも、本学としては、その状況を甘受するのではなく、あらかじめ対処できる様々な施策を進めております。しかしながら、それらの施策を実効性のあるものとするためには、各教職員が高い意識をもって、取り組む必要があります。これまで、教職員に対して「意識改革」をお願いしており、前例にとらわれない新たな発想力を持つこと、そして、総合大学の強みを最大限に発揮するために、1学部の発想ではなく全学的な視点をもって改革を実現することを標榜としておりますが、依然、その必要性が大学全体に浸透していると言える状況ではありません。そのため、平成29年の年頭会同の際は、大学全体を考える「意識改革」及び「一元化」を念頭に置いて、各施策を「継続」していくことを教職員の皆さんに改めてお願いしました。

各施策を「継続」する上で、事業報告を行うことにより、進行している施策に対して一度立ち止まって見直しを行い、適宜、修正及び中止を含めた決断を行います。今後も改革の手綱を緩めないよう進めてまいりますので、今後とも皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

I 法人の概要

1 日本大学沿革

明治 22 年(1889)	10 月	日本法律学校(現・法学部)創立 学祖は山田顕義(時の司法大臣) 初代校長に金子堅太郎(後の司法 大臣)就任	昭和 29 年(1954)	4 月	農学部に獣医学科を増設し、農獣 医学部と改称 歯学部附属歯科技工士養成所を 設置(現・歯学部付属歯科技工専 門学校)
明治 23 年(1890)	9 月	皇典講究所で開校式举行		8 月	豊山高校・中学校を合併
明治 26 年(1893)	12 月	第 2 代校長(後に学長, 総長)に松 岡康毅(後の農商務大臣)就任 校友会を結成	昭和 32 年(1957)	12 月	三島高校を設置
明治 29 年(1896)	5 月	神田三崎町に初の校舎落成	昭和 33 年(1958)	1 月	文学部に中国文学科, 地理学科, 数学科, 物理学科を増設し文理学 部と改称
明治 31 年(1898)	3 月	高等専攻科を設置		4 月	工学部に物理学科を増設し理工 学部と改称
明治 34 年(1901)	10 月	高等師範科(現・文理学部)設置		6 月	歯科衛生士養成所を設置(現・歯 学部附属歯科衛生専門学校)
明治 36 年(1903)	8 月	日本大学と改称		9 月	会頭に古田重二良就任 第 5 代総長に永田菊四郎就任
明治 37 年(1904)	3 月	商科(現・経済学部ならびに商学 部)設置		9 月	「日本大学の目的および使命」を 改定
	4 月	専門学校令による大学となる	昭和 34 年(1959)	4 月	明誠高校を設置
大正 2 年(1913)	2 月	中学校を設置(現・一高, 一中)	昭和 35 年(1960)	11 月	山形第一高校を合併(現・山形高)
大正 3 年(1914)	4 月	「建学の主旨及綱領」を制定	昭和 37 年(1962)	1 月	第一工学部を生産工学部と改称 第二工学部を工学部と改称
大正 9 年(1920)	4 月	大学令による大学となる	昭和 41 年(1966)	3 月	豊山女子高校を設置
	6 月	高等工学校を設置(現・理工学部)	昭和 44 年(1969)	9 月	第 6 代総長に鈴木勝就任 会長に古田重二良就任 理事長に高梨公之就任
大正 10 年(1921)	3 月	美学科(現・芸術学部)設置	昭和 46 年(1971)	2 月	日本大学松戸歯科大学を設置 (現・松戸歯学部)
	4 月	東洋歯科医学専門学校を合併(創 立は大正 5 年, 現・歯学部)	昭和 47 年(1972)	9 月	理事長に永澤滋就任
大正 11 年(1922)	3 月	初代総長に松岡康毅就任	昭和 49 年(1974)	3 月	松戸歯科大学付属歯科衛生専門 学校を設置(現・松戸歯学部附属 歯科衛生専門学校)
大正 12 年(1923)	11 月	第 2 代総長に平沼騏一郎(後の総 理大臣)就任	昭和 50 年(1975)	10 月	総長鈴木勝理事長を兼任 日本大学松戸歯科大学を廃止し, 松戸歯学部を設置
大正 14 年(1925)	3 月	専門部医学科(現・医学部)設置	昭和 53 年(1978)	12 月	国際関係学部を設置
昭和 2 年(1927)	3 月	第二中学校を設置(現・二高, 二 中)	昭和 56 年(1981)	9 月	理事長に柴田勝治就任
	12 月	幼稚園を設置	昭和 57 年(1982)	6 月	市ヶ谷に日本大学会館が落成
昭和 4 年(1929)	3 月	工業学校を設置(現・習志野高)	昭和 59 年(1984)	9 月	第 7 代総長に高梨公之就任
	10 月	赤坂中学校を合併(現・三高, 三 中)	昭和 62 年(1987)	12 月	薬学部を設置
昭和 5 年(1930)	3 月	第四中学校を設置(現・日大高, 中)	平成 2 年(1990)	9 月	第 8 代総長に木下茂徳就任
昭和 7 年(1932)	1 月	医学科附属看護婦養成所設置 (現・医学部附属看護専門学校)	平成 5 年(1993)	9 月	第 9 代総長に瀬在良男就任, 理事 長を兼任
昭和 8 年(1933)	8 月	第 3 代総長に山岡萬之助就任	平成 7 年(1995)	12 月	農獣医学部を生物資源科学部に 改組
昭和 18 年(1943)	5 月	農学部を神奈川県藤沢市に設置 (現・生物資源科学部)	平成 8 年(1996)	9 月	第 10 代総長に瀬在幸安就任 理事長に森田賢治就任
昭和 21 年(1946)	1 月	第 4 代総長に呉文炳就任	平成 11 年(1999)	4 月	大学院総合社会情報研究科(通信 制大学院), 大学院グローバル・ビ ジネス研究科を設置
	6 月	三島予科を静岡県三島市に開設	平成 16 年(2004)	4 月	大学院法務研究科設置
	7 月	理事長に圓谷弘就任	平成 17 年(2005)	4 月	大学院総合科学研究科(総合研究 大学院)設置
	9 月	理事長に佐藤運雄就任		9 月	第 11 代総長に小嶋勝衛就任, 理 事長を兼任
昭和 22 年(1947)	3 月	専門部工科(現・工学部)を福島県 郡山市に移転	平成 19 年(2007)	6 月	教育理念を「自主創造」とし、新ロ ゴ及びキャッチフレーズを決定
昭和 23 年(1948)	11 月	通信教育部を設置	平成 20 年(2008)	9 月	第 12 代総長に酒井健夫就任 理事長に田中英壽就任
昭和 24 年(1949)	2 月	新学制に移行(第一部の 7 学部 34 学科)	平成 23 年(2011)	9 月	第 13 代総長に大塚口兵衛就任
	3 月	同 (第二部の 4 学部 15 学科)	平成 25 年(2013)	4 月	総長制から学長制に移行し、学長 に大塚口兵衛就任
		農林高校を設置(現・藤沢高)	平成 27 年(2015)	4 月	藤沢小学校を設置
	4 月	「日本大学の目的および使命」を 制定	平成 28 年(2016)	4 月	危機管理学部, スポーツ科学部を 設置
昭和 25 年(1950)	12 月	理事長に古田重二良就任			
	2 月	世田谷高校を設置(現・櫻丘高)			
	3 月	短期大学を設置(現・短期大学部)			
昭和 26 年(1951)	2 月	東北工業高校を設置(現・東北高)			
	4 月	大学院を設置			
	10 月	東京獣医畜産大学付属高等学校 を合併, 鶴ヶ丘高校と名称変更			
	11 月	農学部を東京獣医畜産大学を合 併			
昭和 27 年(1952)	2 月	医学部医学科, 歯学部歯学科が 新学制に移行			
	3 月	工学部に薬学科(現・薬学部), 工 業経営学科(後の第一工学部, 現・生産工学部)設置			

2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)



学祖 山田顕義

日本大学の前身である日本法律学校は、明治22年(1889)に創立された。同年は大日本帝国憲法が公布され、また欧米の近代法を取り入れた刑法・民法・商法などの諸法典も整備されつつある時期であった。

この頃、司法大臣で本学学祖となる山田顕義は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流の法学教育に疑問を持ち、日本の伝統・慣習・文化を踏まえた日本法律を教育する学校構想を抱いていた。同時期、帝国大学教授宮崎道三郎や憲法起草にあたった金子堅太郎などの若き法律学者たちも、日本法学教育の必要性を認識し、日本法律学校設立構想を進めていた。それを知った山田顕義は、彼らを全面的に支援し、明治22年10月4日、日本法律学校は創立されるに至ったのである。

日本法律学校の創立目的は「日本法律学校設立主意書」に記されている。要約すると、日本の法律は新旧を問わず学ぶ、海外の法律を参考として長所を取り入れる、日本法学という学問を提唱するという3点であり、欧米法教育が主流な時代にあって、大いに独自性を発揮することとなった。

明治36年(1903)には、校名を日本大学として改組し、翌37年、専門学校令による認可を受けた。大正3年(1914)、「建学の主旨及び綱領」が制定され、本学の建学の理想と教学方針が示された。大正9年(1920)、大学令による大学となり、総合大学への道を歩むこととなる。

昭和24年(1949)、新制大学として再スタートした本学は、「建学の主旨及び綱領」をあらためて「日本大学の目的および使命」を制定した。しかし、この「目的および使命」は、教育基本法に準じたものではあるが本学の伝統から離れており、私学の独自性が発揮されないという意見が出された。そのため改訂の検討がなされ、数年間の審議を経て、昭和34年(1959)、本学70周年を迎える際に、現在の表現に改訂した。

〔目的および使命〕

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする



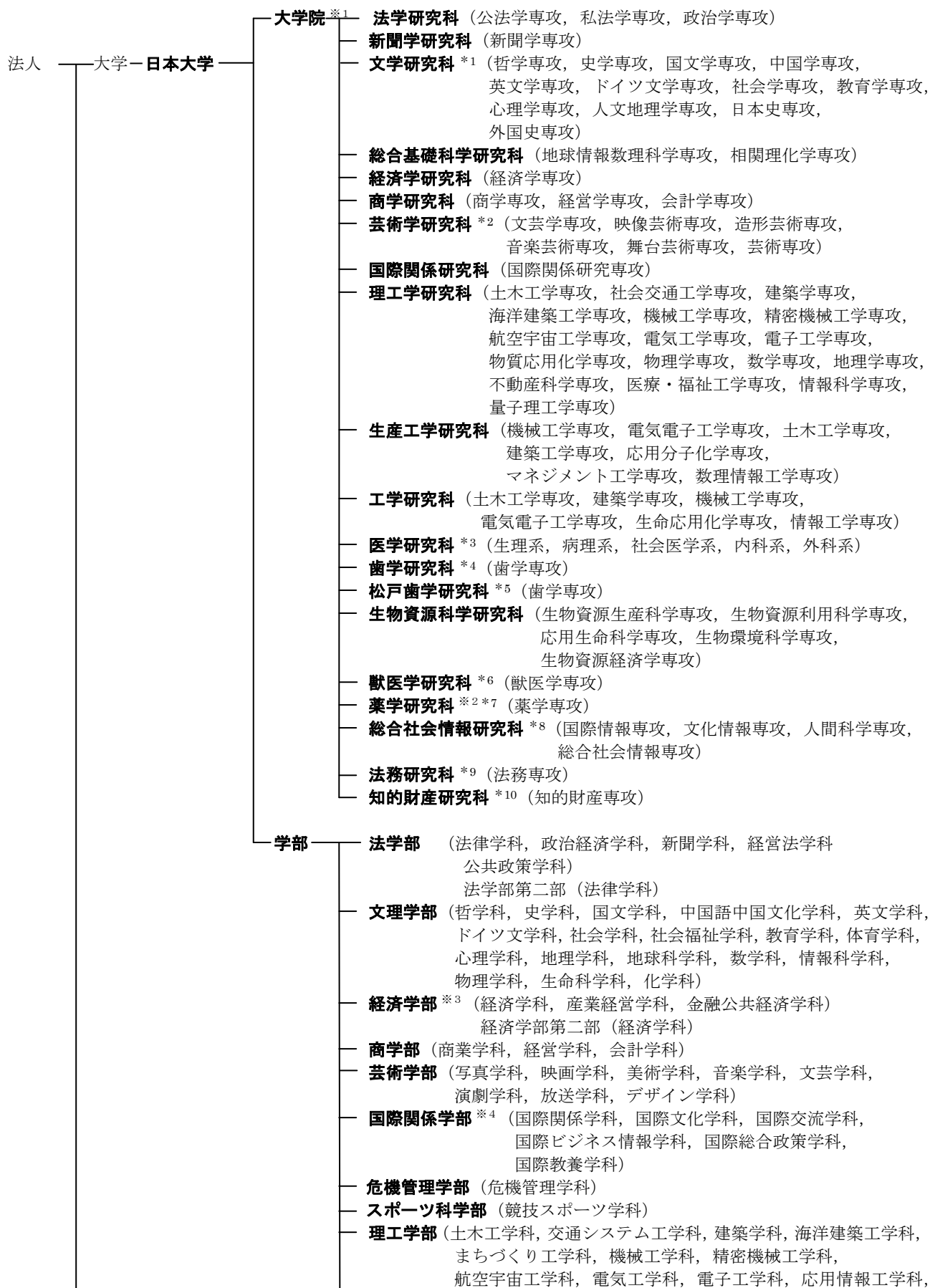
日本大学会館2階の学祖立像と歴代総長・理事長胸像

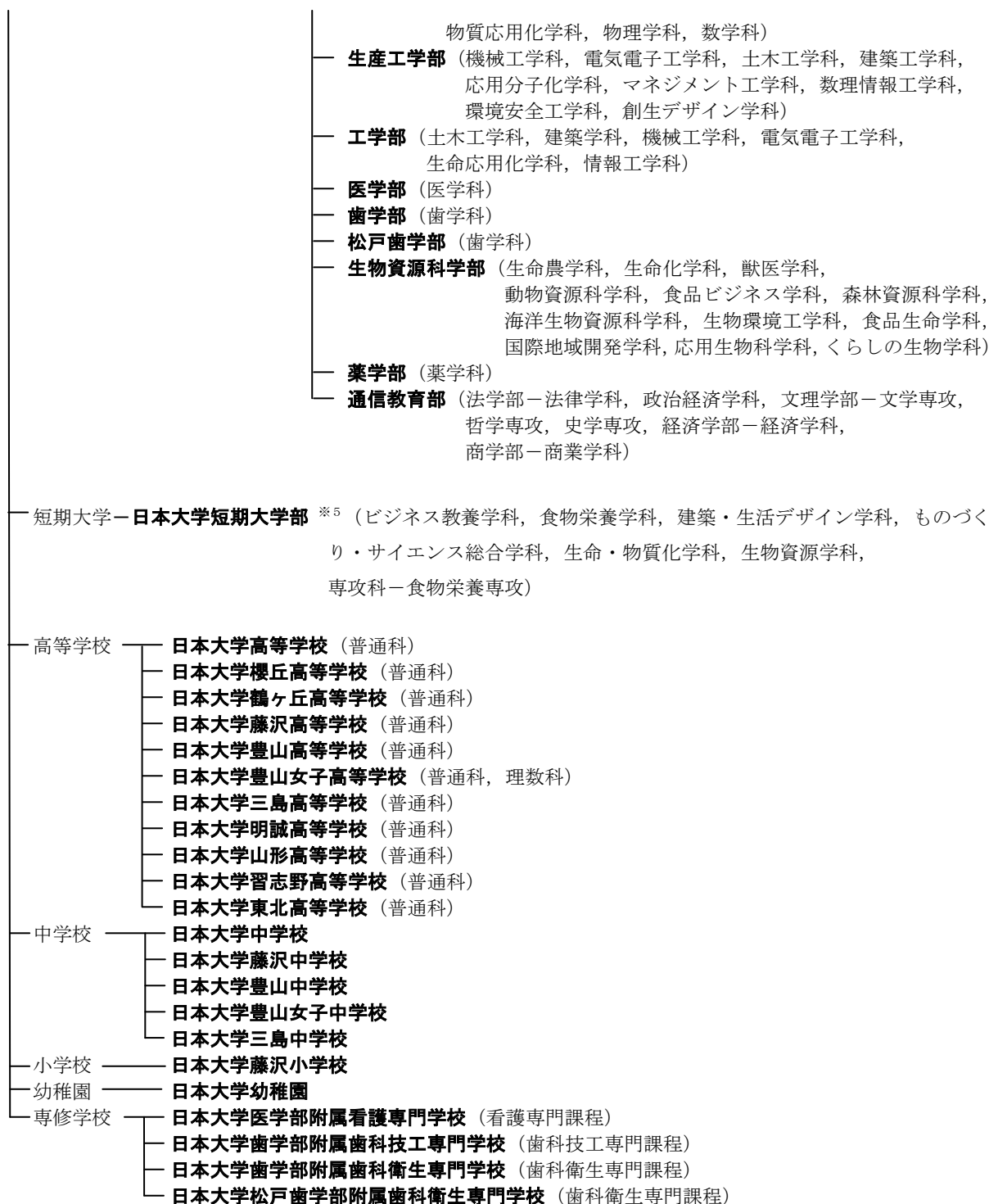
日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

平成18年(2006)、企画検討委員会において、現在の社会状況に即応し、かつ本学の総合性を発揮することを目的として、新しい理念が検討された。その結果、平成19年、本学の教育理念は「自主創造」と定められた。

3 設置する学校

※平成28年4月1日現在





※1：下記以外は博士前期及び後期課程を設置。

*1：文学研究科史学専攻は博士前期課程。日本史専攻及び外国史専攻は博士後期課程。
人文地理学専攻（学生募集停止中）は修士課程。

*2：芸術学研究科文芸学専攻、映像芸術専攻、造形芸術専攻、音楽芸術専攻及び舞台芸術専攻は博士前期課程。
芸術専攻は博士後期課程。

*3、*4、*5、*6、*7：医学研究科、歯学研究科、松戸歯学研究科、獣医学研究科及び薬学研究科は博士課程。

*8：総合社会情報研究科国際情報専攻、文化情報専攻及び人間科学専攻は博士前期課程。総合社会情報専攻は博士後期課程。

*9、*10：法務研究科及び知的財産研究科は専門職学位課程。

※2：薬学研究科薬学専攻博士後期課程は平成24年4月から学生募集停止。

※3：経済学部第二部経済学科は平成22年4月から学生募集停止。

※4：国際関係学部国際関係学科、国際文化学科、国際交流学科及び国際ビジネス情報学科は平成23年4月から学生募集停止。

※5：短期大学部生物資源学科は平成27年4月から学生募集停止。

○準付属校の取扱いに関する契約を締結した学校法人の設置する高等学校・中学校等

法人名	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
学校法人日本大学第一学園	日本大学第一高等学校, 千葉日本大学第一高等 学校	日本大学第一中学位, 千葉日本大学第一中 学校	千葉日本大学第一小 学校	
学校法人日本大学第二学園	日本大学第二高等学校	日本大学第二中学校		
学校法人日本大学第三学園	日本大学第三高等学校	日本大学第三中学校		
学校法人大垣日本大学学園	大垣日本大学高等学校			
学校法人土浦日本大学学園	土浦日本大学高等学校, 岩瀬日本大学高等学校	土浦日本大学中等教 育学校		土浦日本大学附属 幼稚園
学校法人宮崎日本大学学園	宮崎日本大学高等学校	宮崎日本大学中学校		
学校法人佐野日本大学学園	佐野日本大学高等学校	佐野日本大学中等教 育学校		
学校法人長崎日本大学学園	長崎日本大学高等学校	長崎日本大学中学校		
学校法人長野日本大学学園	長野日本大学高等学校	長野日本大学中学校		
学校法人札幌日本大学学園	札幌日本大学高等学校	札幌日本大学中学校		

4 学生・生徒数（入学定員・収容定員・現員）

※平成28年5月1日現在

※（ ）内は女子内数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
法学	75	150	17	23	40 (13)
新聞学	10	20	8	10	18 (15)
文学	125	265	56	51	107 (46)
総合基礎科学	35	55	41	50	91 (19)
経済学	30	60	25	29	54 (22)
商学	90	180	20	31	51 (27)
芸術学	75	150	60	69	129 (69)
国際関係	10	20	6	6	12 (4)
理工学	420	840	394	397	791 (77)
生産工学	140	280	133	107	240 (28)
工学	140	280	95	68	163 (18)
生物資源科学	115	230	94	68	162 (53)
総合社会情報	90	180	56	88	144 (73)
計	1,355	2,710	1,005	997	2,002 (464)

大学院研究科（博士後期・博士課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法学	12	36	3	3	8		14 (3)
新聞学	3	9	1	1	3		5 (3)
文学	30	90	8	12	18		38 (20)
総合基礎科学	4	12	3	0	3		6 (2)
経済学	6	18	4	0	3		7 (2)
商学	13	39	1	1	4		6 (3)
芸術学	8	24	7	8	12		27 (10)
国際関係	3	9	1	1	1		3 (0)
理工学	79	237	6	10	32		48 (8)
生産工学	21	63	10	10	7		27 (4)
工学	12	36	4	1	3		8 (2)
医学	64	256	30	35	40	42	147 (38)
歯学	30	120	26	33	35	41	135 (39)
松戸歯学	30	120	27	27	25	22	101 (38)
生物資源科学	26	78	5	5	9		19 (3)
獣医学	6	24	6	8	2	5	21 (4)
薬学	5	20	3	5	5	2	15 (3)
総合社会情報	9	27	10	11	16		37 (14)
計	361	1,218	155	171	226	112	664 (196)

大学院研究科（専門職学位課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
法務	60	180	22	39	23	84 (17)
知的財産	30	60	7	11		18 (4)

学部(第一部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	1,400	5,600	1,638	1,717	1,630	1,866			6,851 (2,315)
文 理	1,810	7,240	2,127	2,157	2,109	2,246			8,639 (3,386)
経 済	1,400	5,600	1,562	1,667	1,548	1,851			6,628 (1,858)
商	1,200	4,800	1,384	1,429	1,326	1,644			5,783 (2,024)
芸 術	840	3,360	963	984	997	1,114			4,058 (2,598)
国 際 関 係	650	2,600	774	698	765	852			3,089 (1,262)
危 機 管 理	300	300	373	0	0	0			373 (119)
ス ポ ー ツ 科	300	300	342	0	0	0			342 (103)
理 工	2,020	8,080	2,214	2,253	2,173	2,753			9,393 (1,298)
生 産 工	1,400	5,600	1,611	1,558	1,563	1,658			6,390 (998)
工	1,030	4,120	1,139	1,161	1,082	1,254			4,636 (412)
医	120	720	130	128	134	127	114	120	753 (220)
歯	130	810	146	141	131	126	132	140	816 (355)
松 戸 歯	130	810	141	142	130	136	129	112	790 (283)
生 物 資 源 科	1,490	6,040	1,725	1,797	1,721	1,677	129	143	7,192 (3,215)
薬	240	1,440	263	268	258	245	235	328	1,597 (877)
計	14,460	57,420	16,532	16,100	15,567	17,549	739	843	67,330 (21,323)

学部(第二部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	300	1,200	173	92	128	186			579 (104)
経 済	0	0	0	0	0	0			0 (0)
計	300	1,200	173	92	128	186			579 (104)

通信教育部

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法	3,000	12,000	120	136	203	665	1,124 (357)
文 理	3,000	12,000	277	295	728	2,216	3,516 (1,969)
経 済	1,500	6,000	65	68	152	384	669 (168)
商	1,500	6,000	162	197	262	610	1,231 (537)
計	9,000	36,000	624	696	1,345	3,875	6,540 (3,031)

短期大学部

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
ビジネス教養	80	160	67	54	121 (67)
食物栄養	120	240	82	116	198 (175)
建築・生活デザイン	80	160	102	106	208 (84)
ものづくり・サイエンス総合	60	120	75	77	152 (33)
生命・物質化	40	80	49	47	96 (46)
生物資源	0	0	0	0	0 (0)
計	380	760	375	400	775 (405)

短期大学部専攻科

専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
食物栄養	20	40	19	18	37 (32)

高等学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	600	1,800	532	533	477	1,542 (651)
櫻 丘	602	1,806	496	411	449	1,356 (666)
鶴ヶ丘	450	1,350	428	431	412	1,271 (742)
藤 沢	520	1,560	472	400	374	1,246 (662)
豊 山	545	1,675	497	478	468	1,443
豊山女子	240	720	213	213	284	710 (710)
三 島	680	2,120	723	630	651	2,004 (968)
明 誠	440	1,320	358	342	359	1,059 (306)
山 形	450	1,350	357	405	420	1,182 (446)
習 志 野	400	1,170	447	432	398	1,277 (531)
東 北	480	1,440	433	451	526	1,410 (582)
計	5,407	16,311	4,956	4,726	4,818	14,500 (6,264)

中学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	400	1,200	200	247	274	721 (320)
藤 沢	120	360	127	121	121	369 (179)
豊 山	240	680	274	236	226	736
豊山女子	160	480	94	106	132	332 (332)
三 島	70	210	59	60	43	162 (87)
計	990	2,930	754	770	796	2,320 (918)

小学校

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
藤 沢	72	432	67	70					137 (49)

幼稚園

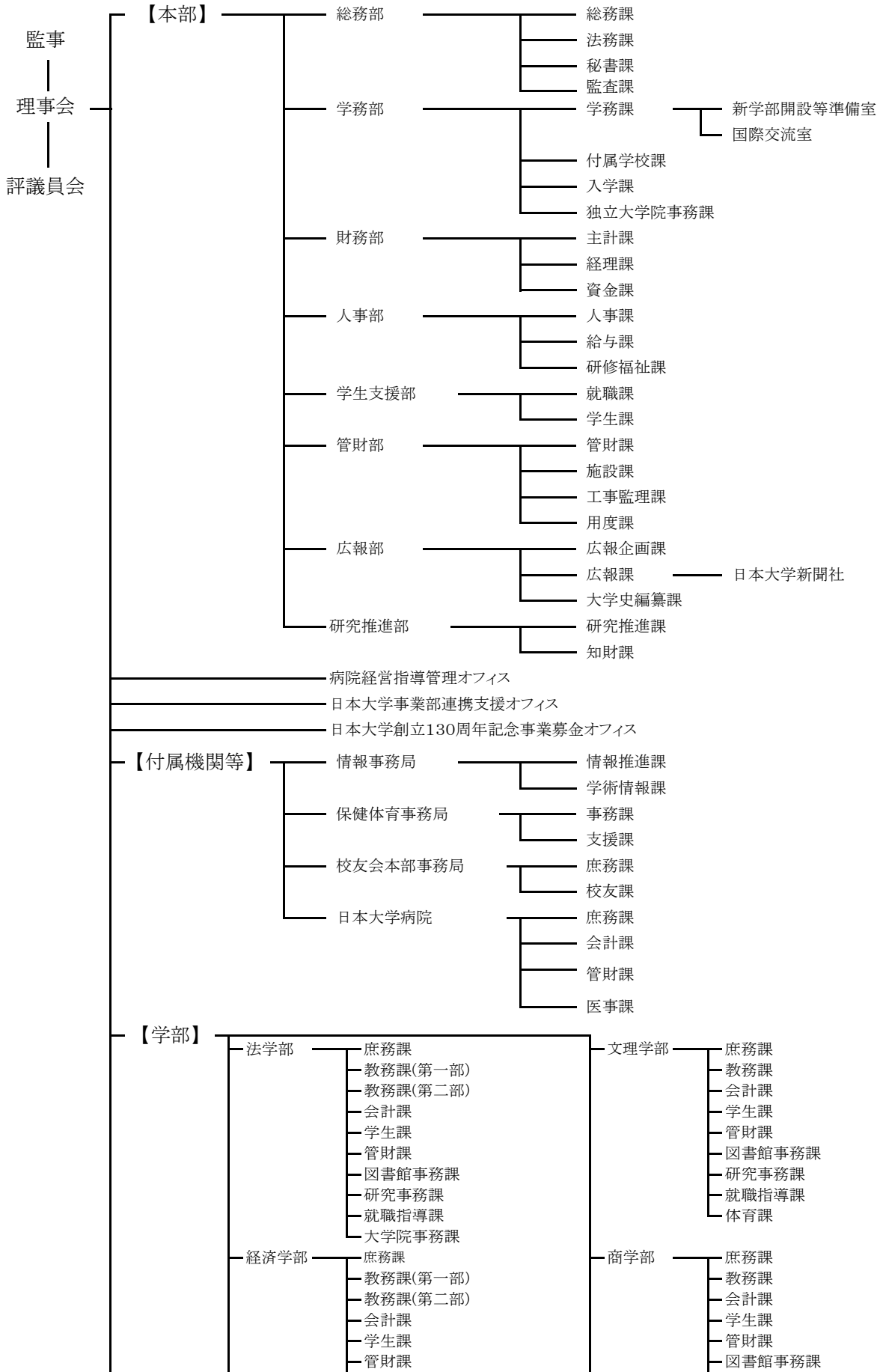
学 校	入園定員	収容定員	3歳児	4歳児	5歳児	計	
日 本 大 学		70	280	50	50	41	141 (64)

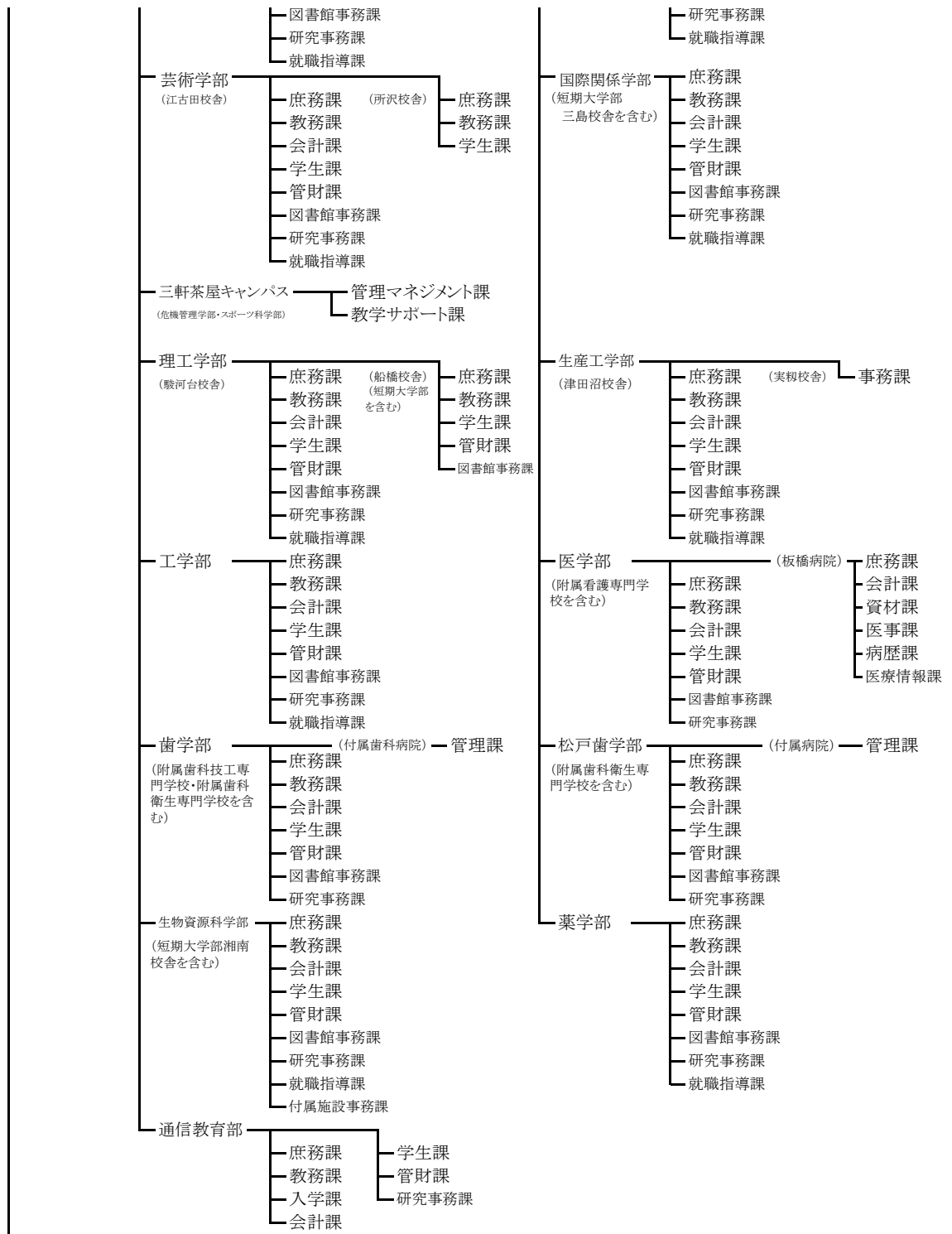
専修学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	
医学部附属看護専門学校	80	240	97	105	102	304 (283)	
歯学部附属歯科技工専門学校	35	105	14	22	22	58 (25)	
歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	42	41	38	121 (121)	
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	44	38	42	124 (124)	
計		195	585	197	206	204	607 (553)

5 事務組織

※平成28年3月31日現在





【高等学校・中学校・小学校・幼稚園】

- ※ 櫻丘高校は文理学部併設
- ※ 鶴ヶ丘高校、藤沢高校・中学校・小学校は生物資源科学部併設
- ※ 三島高校・中学校は国際関係学部併設
- ※ 習志野高校は理工学部併設
- ※ 東北高校は工学部併設

- 日本大学高等学校・中学校
- 日本大学櫻丘高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 日本大学藤沢高等学校・中学校・小学校
- 日本大学豊山高等学校・中学校
- 日本大学豊山女子高等学校・中学校
- 日本大学三島高等学校・中学校
- 日本大学明誠高等学校
- 日本大学山形高等学校
- 日本大学習志野高等学校
- 日本大学東北高等学校
- 日本大学幼稚園

- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務課

6 研究所組織

大学付置研究所

総合科学研究所	(昭和25年7月7日設置)
量子科学研究所	(昭和38年12月3日設置)
教育制度研究所	(昭和31年10月1日設置)
精神文化研究所	(昭和33年4月1日設置)
人口研究所	(昭和55年5月23日設置)

学部付置研究所

法学部法学研究所	(昭和31年10月1日設置)
法学部政経研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部比較法研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部新聞学研究所	(平成19年3月9日設置)
法学部国際知的財産研究所	(平成19年3月9日設置)
文理学部人文科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部自然科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部情報科学研究所	(昭和58年3月11日設置)
経済学部経済科学研究所	(昭和52年4月1日設置)
経済学部産業経営研究所	(昭和52年4月1日設置)
商学部商学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部会計学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部情報科学研究所	(昭和57年6月4日設置)
芸術学部芸術研究所	(昭和44年4月1日設置)
国際関係学部生活科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
国際関係学部国際関係研究所	(昭和55年7月4日設置)
危機管理学研究所	(平成28年12月2日設置)
スポーツ科学研究所	(平成28年12月2日設置)
理工学部理工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
生産工学部生産工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
工学部工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
医学部総合医学研究所	(昭和52年5月13日設置)
歯学部総合歯学研究所	(昭和51年5月14日設置)
松戸歯学部口腔科学研究所	(昭和49年10月18日設置)
生物資源科学部総合研究所	(昭和42年4月1日設置)
生物資源科学部国際地域研究所	(昭和51年5月14日設置)
生物資源科学部生命科学研究所	(平成11年4月1日設置)
薬学部薬学研究所	(平成元年4月7日設置)
通信教育部通信教育研究所	(昭和59年2月3日設置)

7 役員・教職員の概要

① 役員等

※平成29年3月31日現在

	定数	実数	氏名
理事長	1人	1人	田中 英壽
学長	1人	1人	大塚 口兵衛
副学長	3人以内	3人	加藤 直人 山本 寛 落合 実
常務理事	(若干名)	5人	石井 進 加藤 了 成澤 文明 古屋 尚 中村 克夫

理事 (定数:27人以上36人以内 実数35人(常勤27人,非常勤8人))

選任区分(寄附行為第8条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚 口兵衛
理事長の推薦した者	1人以上2人以内	2人	井手 達雄 大里 裕行
日本大学本部及び日本大学各学部の教職員評議員のうちから選出された者	13人以上17人以内	17人	内田 正人 池村 正道 加藤 直人 井尻 直彦 高橋 史安 野田 慶人 渡邊 武一郎 福田 弥夫 小山 裕三 山本 寛 落合 実 出村 克宣 高山 忠利 前野 正夫 川良 美佐雄 大矢 祐治 本橋 重康
この法人の設置する学校の校友評議員のうちから選出された者	6人以上8人以内	7人	石井 進 内田 俊太郎 小幡 純 齋藤 貢 高野 和雄 田中 英壽 中村 克夫
この法人の学識経験評議員のうちから選出された者	6人以上8人以内	8人	小澤 一郎 小野沢 元久 加藤 了 鴨下 一郎 草間 貞 神野 大乗 成澤 文明 古屋 尚

監事 (定数:3人以上5人以内 実数:4人(うち2人は常任監事))

選任区分(寄附行為第18条)	定数	実数	氏名
監事	3人以上5人以内	4人	越智光昭(常任) 森 晃道(常任) 井尾 成海 鈴木 三郎

評議員（定数:100人以上130人以内 実数126人）

選任区分(寄附行為第24条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚 衛兵衛
日本大学各学部長	14人以上16人以内	16人	池井野福山出前大高 村尻田本村野矢橋 正直慶弥夫寛宣夫治 道彦人夫寛宣夫治 加藤邊山合山良橋 高渡小落高川本内 藤橋邊山合山良橋 直史武裕忠美重 人安一郎三実利雄康
日本大学本部部長のうちから選出された者	1人以上4人以内	3人	高橋原 一裕 夫司
日本大学本部教職員のうちから選出された者	2人	1人	呉屋 正盛
日本大学各学部、日本大学通信教育部及び日本大学短期大学の教員のうちから選出された者	14人以上19人以内	19人	信川宮福李藤本丸関深 夫崎沢田原田山根津 隆誠和雅和総三 司茂一充樹美也一夫誠 紅高堅松清國會伊淵 野井尾原水分田藤野 謙和正眞雅芳辰 介透夫茂一朗啓久雄
日本大学各学部及び日本大学通信教育部の職員のうちから選出された者	12人以上16人以内	16人	塚金小井逆小井齋 本井野上井林手藤 俊保由達正 久則卓大彰清雄道 齊服大三渡平河西 藤部村橋邊野本野 政史正和 之郎文満美晃勉光
日本大学付属高等学校の教職員のうちから選出された者	2人	2人	森寺英勝
この法人の設置する学校を卒業した者で、年齢25年以上のものの中から選出された者	30人以上38人以内	37人	阿新一内岡梶齋白高田筒中中馬平深森横 部井箭田野原藤戸橋中井川野村場井澤山 正謙正俊匡忠義英隆圭伍克邦要豊栄雅裕 也寿孝太郎雄優貢志磨壽彌造朗夫明子史一人 綾石内梅小門齊高竹中手中中梨子早廣堀山 部井倉田幡倉間野平礼塚西村木田部下 東和勝正文和栄思公和卓健和功 洋進雄利純憲也雄太郎哉敏章理秀次史政三 子進雄利純憲也雄太郎哉敏章理秀次史政三
この法人に関係ある学識経験者のうちから選出された者	24人以上32人以内	31人	大小勝鴨黒上齋佐々 里澤野下沼滝藤木谷木澤澤屋川村邊 行郎彦郎子也和一鑛雄明知尚子雄子 岡小加草小越齋佐々神永西藤堀松森 島沢藤間戸川藤木野塚村森江林 芳元純憲好實大史美基正昭 伸久了貞司明廣雄乘孝子司之肇雄

② 教員数

※平成28年5月1日現在

大学院研究科

研究科	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
総合科学学	0	0	0	0	0	0	0	0
法学学						0	1	28
新聞学学						0	1	10
文学学						0	6	56
総合基礎科学学						0	1	23
経済学学						0	57	32
商学学						0	36	6
芸術学学						0	0	41
国際関係学学						0	0	9
理工学学						0	218	166
生産工学学						0	144	36
工学学						0	4	19
医学学						0	303	0
歯科学学						0	130	0
松戸歯科学学						0	64	0
生物資源科学学						0	153	12
獣医学学						0	31	0
薬学学						0	52	0
グローバル・ビジネス学学	0	0	0	0	0	0	0	0
法務学学	18	2	0	4	0	24	0	29
総合社会情報学学	11	2	0	0	0	13	34	43
知的財産学学	10	2	0	0	0	12	0	13
計	39	6	0	4	0	49	1,235	523

学部等

学部	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
法(一部)	82	17	11	9	0	119	18	282
法(二部)	7	5	0	0	0	12	6	75
文理学	162	47	1	18	40	268	35	665
経済(一部)	71	27	8	2	2	110	18	311
経済(二部)	0	0	0	0	0	0	0	0
商学	51	44	5	2	0	102	10	214
芸術学	79	12	11	4	41	147	5	539
国際関係学	38	10	0	9	5	62	3	119
危機管理理学	20	11	3	0	0	34	2	13
スポーツ科学学	15	9	7	2	0	33	7	12
理工学	149	90	12	55	45	351	15	472
生産工学	99	59	26	20	10	214	11	275
工学	67	51	14	15	0	147	12	153
医学	56	74	36	171	101	438	14	39
歯学	29	31	47	46	2	155	55	54
松戸歯科学	35	25	55	30	9	154	20	44
生物資源科学学	122	64	45	34	47	312	3	206
薬学	28	16	8	16	1	69	4	34
小計	1,110	592	289	433	303	2,727	238	3,507
通信教育部	8	3	1	2	0	14	88	161
計	1,118	595	290	435	303	2,741	326	3,668

研究所

研究所	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助手	助教	計		
総合科学研究所	5	3	0	0	0	8	1	0
量子科学研究所	1	1	0	0	0	2	7	23
教育制度研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
精神文化研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
人口研究所	5	1	0	0	0	6	1	0
計	11	5	0	0	0	16	9	23

短期大学部

学 科	専 任 教 員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
ビジネス教養	5	2	0	1	0	8	0	} 19
食物栄養	5	3	0	2	3	13	0	
建築・生活デザイン	4	5	0	2	1	12	0	} 130
ものづくり・サイエンス総合	4	1	3	2	1	11	0	
生命・物質化学	3	3	0	1	1	8	0	
生物資源	0	0	0	0	0	0	0	0
計	21	14	3	8	6	52	0	149

高等学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	50	58	108
櫻 丘	52	31	83
鶴 ヶ 丘	55	45	100
藤 沢	52	45	97
豊 山	50	43	93
豊 山 女 子	32	27	59
三 島	68	85	153
明 誠	41	31	72
山 形	48	39	87
習 志 野	53	40	93
東 北	52	45	97
計	553	489	1,042

中学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日本大 学	26	18	44
藤 沢	16	6	22
豊 山	25	23	48
豊 山 女 子	15	20	35
三 島	7	26	33
計	89	93	182

小学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
藤 沢	16	1	17

幼稚園

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	7	6	13

専門学校

学 校	専任教員	兼務(学内)	兼務(学外)	計
医学部附属看護専門学校	15	105	30	150
歯学部附属歯科技工専門学校	4	32	5	41
歯学部附属歯科衛生専門学校	5	75	20	100
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	4	110	12	126
計	28	322	67	417

③ 職員数

※平成28年5月1日現在

学部等

学部等	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本部	172	73	3	0	0	2	5	1	2	2	182	78	260
法	53	31	1	0	0	2	0	0	2	0	56	33	89
文理	55	51	1	0	0	2	6	2	1	0	63	55	118
経済	42	29	0	0	0	2	0	0	0	0	42	31	73
商	39	24	0	0	0	1	0	0	0	0	39	25	64
芸術	40	19	1	0	0	2	14	2	1	0	56	23	79
国際関係	38	18	1	1	0	1	2	0	0	0	41	20	61
危機管理	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	11
スポーツ科	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	2	11
理工	63	41	0	0	0	3	13	7	1	0	77	51	128
生産工	40	27	1	0	0	2	17	0	0	0	58	29	87
工	38	8	1	0	0	2	0	0	2	0	41	10	51
医	79	112	0	7	308	1,509	12	18	13	38	412	1,684	2,096
歯	33	28	0	0	8	47	2	2	1	1	44	78	122
松戸歯	38	28	1	0	11	53	4	1	1	1	55	83	138
生物資源科	44	21	3	0	0	2	22	1	5	0	74	24	98
薬	29	13	0	0	0	1	5	0	0	0	34	14	48
通信教育部	34	9	0	0	0	0	0	0	0	0	34	9	43
計	854	536	13	8	327	1,632	102	34	29	42	1,325	2,252	3,577

短期大学部

校舎	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
三島	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
船橋	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
計	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	6

高等学校

学 校	専任職員数
日本大学	12
櫻 丘	9
鶴ヶ 丘	7
藤 沢	9
豊 山	12
豊山女子	11
三 島	6
明 誠	10
山 形	12
習 志 野	7
東 北	7
計	102

中学校

学 校	専任職員数
日本大学	3
藤 沢	0
豊 山	2
豊山女子	2
三 島	1
計	8

小学校

学 校	専任職員数
藤 沢	1

幼稚園

学 校	専任職員数
日本大学	5

専門学校

学 校	専任職員数
医学部附属看護専門学校	0
歯学部附属歯科技工専門学校	1
歯学部附属歯科衛生専門学校	1
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	1
計	3

Ⅱ 事業の概要

(事業活動報告)

事業概要の記載内容・見方

◎事業計画

- ・計画名称
- ・「平成28年度事業計画」に記載されている計画

◎進捗状況

- ・計画に基づく、平成28年度の進捗状況
- ・達成度を自己評価

A・・・おおむね達成

B・・・実施中

C・・・検討中

D・・・未実施

本 部

【本部】

- 事業計画：会館消防計画の更新
進捗状況：新しい事務組織に合わせて会館消防計画の更新を行った。(達成度：A)
- 事業計画：施設使用料の適正徴収に向けた検討・実施
進捗状況：平成 28 年度の利用状況から光熱水費等の算出を行い、適正な利用料設定に向けた検討を行っているところである。(達成度：C)
- 事業計画：カリキュラム・ポリシーに沿った的確な授業科目の配置，授業担当教員の基準授業時間数の適正化及び学部等を越えた共有化
進捗状況：全学部を対象に履修系統図の作成及び見直しを図り，体系的な科目配置の徹底を行うことにより，学則改定を行う学部を中心に順次科目数 2 割削減に向けた取組が進んでいる。それに伴い，1 教員あたりの担当授業時間数についても是正に向けて対応が進んでいる。(達成度：B)
- 事業計画：研究者(大学教員等)養成を捉えた大学院教育の質的転換
進捗状況：まずは大学院教育の充実が優先課題となるが，平成 28 年度には専攻単位等における 3 つのポリシーの策定・見直しを進めてきた。今後は，WG の立ち上げなどを図り具体的検討を進めていく。(達成度：C)
- 事業計画：修学支援の充実による退学率を 1.5%，卒業延期(留年)率 10%を到達目標とした学生数の適正維持に向けた取組
進捗状況：全学部の退学率や留年率の推移を継続的に調査するとともに，教学戦略委員会では退学者・留年者対策をとりまとめ，各学部に対応を指示するとともに効果的な取組について共有化を図っていくべく対応を進めている。(達成度：B)
- 事業計画：教育改善の基礎となる教学 IR の整備
進捗状況：全学的な導入に向けては多くの課題があるが，まずは全学的な IR への理解浸透と意識の醸成を目的として，平成 29 年 6 月 17 日に日本大学 IR シンポジウムを開催することを決定した。それと並行して今後の検討を進めていく。(達成度：C)
- 事業計画：新たな学修・教育手法を踏まえた「全学共通教育プログラム」の構築
進捗状況：平成 28 年 12 月に日本大学教育憲章が制定されたことを受け，「全学共通教育プログラム」の検討については，従前の検討内容を一部見直す必要性が生じ，同憲章に鑑みた共通教育が実現できるようその実現可能性も踏まえ，学修・教育手法の見直しも含めて改めて検討を進めている。(達成度：C)
- 事業計画：教育の質向上による学生の満足度向上に向けた取組の推進
進捗状況：平成 29 年度までに浸透策の検討結果をまとめることとしているが，具体的養成方法としては，各学部におけるワークショップの実施に向けた方策を全学 FD 委員会でまとめ，平成 29 年度から順次実施していく。(達成度：B)
- 事業計画：教育の質向上を目的とする FD 活動の全学的・組織的推進
進捗状況：全学 FD 委員会では，平成 29 年度までに教育の質的向上にむけた教育への学生参画の展開方策などをまとめることとしている。平成 28 年度にはそうした意識の醸成等を目指して，4 回目となる「日本大学 学生 FD CHAmiT 2016」を開催し，アンケート結果からも学生 FD への認知度の高揚が裏付けられている。(達成度：C)
- 事業計画：学生の海外留学を促進するための交換留学先の拡大
進捗状況：平成 27 年度は，ピフロスト大学，ウェストアラバマ大学との協定を締結し，派遣候補者を出した。(達成度：B)
- 事業計画：留学生の受け入れ拡大に向けた外国語のみによる授業科目の設置促進
進捗状況：委員会，その他諸行事を通じて部科校関係者に科目設置への理解と働きかけを実施している。(達成度：B)
- 事業計画：一般入試 N 方式の全学部参加
進捗状況：平成 29 年度入試において，新たに N 方式第 1 期で文理，経済，芸術，生物資源科の各学部が参加(芸術及び生物資源科の各学部は一部の学科のみ)し，実質的に全学部統一入試が実現した。なお，後期入試における志願者確保の観点から N 方式第 2 期への参加を引き続き検討するよう，各学部と調整していく。(達成度：A)
- 事業計画：高大接続の実現に向けた入試改革の検討
進捗状況：「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の実施方針や大学入学選抜実施要項の見直しに係る予告が平成 29 年度初頭を目途に公表，通知される予定であることから，それを受けて入学試験管理委員会のワーキング・グループで引き続き検討し，対策に取り組む。(達成度：C)
- 事業計画：日本大学入試センターの効果的な活用
進捗状況：入試全般の願書受付処理に対応可能な基幹システムを整備した。今後，運用面における制度設計を行い，入試センターで受付処理する入試を増やしていく。(達成度：B)
- 事業計画：認定こども園開設(平成 29 年度)に向けた取組の推進
進捗状況：認定こども園開設に係わる東京都及び世田谷区への申請業務及び園舎新築工事に関して当初の予定どおり順調に進行し，平成 29 年 3 月に設置認可が承認された。(達成度：A)
- 事業計画：会計業務の効率化
進捗状況：新しい会計基準に対応した会計システムの効率運用に向けて，経理事務研修会，担当者勉強会を随時開催するなど積極的な情報提供を行った。(達成度：A)

- 事業計画：ホームページでの理解しやすい財務情報の公開
進捗状況：収支計算書、貸借対照表の理解を得るため、企業会計との相違点及び記載科目・収支内容の説明を継続して行った。また、グラフ及び図表のカラー化など資料の見易さにも努めた。(達成度：A)
- 事業計画：受配者指定寄付金制度や税制控除制度の周知による募金活動の積極的な推進
進捗状況：特別寄付金収入は、20億3,970万円となり、そのうち受配者指定寄付金収入は5億789万円であった。(達成度：A)
- 事業計画：補助金等競争的資金の積極的獲得に向けた情報発信
進捗状況：補助金交付額は総額144億9,298万円であった。(達成度：A)
- 事業計画：付属高等学校・中学校教員の常勤講師(仮称)の新設
進捗状況：日本大学付属高等学校・中学校常勤講師規程及び日本大学付属高等学校・中学校常勤講師給与規程を制定し、平成28年10月1日付で施行した。(達成度：A)
- 事業計画：全学部学生対象のキャリア教育及び地方就職促進等各種就職支援イベントの開催
進捗状況：全学部全学年の学生を対象として、インターンシップへの参加や就職活動を早期に意識することを目的とした社会人基礎力養成講座を10月に開催した。また、2月には地方就職UIターン、地方公務員セミナーを開催し、地元への就職希望者・公務員志望者に対し情報提供を行った。(達成度：A)
- 事業概要：Webを利用した就職支援求人情報閲覧システム(NU就職ナビ)のスマートフォン対応
進捗状況：本年度中に開発を行い、3月から運用を開始。求人の検索や企業情報の閲覧及び進路届の提出がスマートフォンで可能となった。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学就職支援センター主催講座における湘南ランチでの講座追加
進捗状況：年間68コマの教養科目対策講座として5月にガイダンスを実施し募集を行った結果、142名の受講申込があった。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学全学文化行事(NU祭)
進捗状況：統一テーマの下、全部科校の学生・生徒が人的・知的財産を結集し、総合閉会式において全学文化行事としての成果を結実させた。全学による募金活動では、国連UNHCR協会から感謝状が授与された。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学体育大会
進捗状況：生徒、学生及び教職員の健康管理、体力向上へ意識を高めるとともに、普段は交流が少ない部科校間の交流が行われ、帰属意識を高めることができた。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学本部所属学生団体活動
進捗状況：学生の充実した課外活動の場であり、行事等の円滑な運営が図られている。本部団体という特性を活かし、各学部から学生が集まることにより、学部の枠を超えた交流ができています。(達成度：A)
- 事業計画：奨学金の充実
進捗状況：日本大学アスリート奨学生20名、日本大学付属高等学校出身アスリート奨学生11名に奨学金を給付。(達成度：B)
- 事業計画：「レガーマリアン東が丘」女子学生寮の設立
進捗状況：入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分に果たしている。(達成度：A)
- 事業計画：「バンデリアン郡山」男子学生寮の設立
進捗状況：入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分に果たしている。(達成度：A)
- 事業計画：稲城学生寮(仮称)の設置
進捗状況：平成29年2月に竣工し、入寮希望者も多く、経済支援という目的を十分に果たしている。(達成度：A)
- 事業計画：創立130周年記念誌
進捗状況：所蔵している写真を整理するなどの作業に取り掛かっている。(到達度：B)
- 事業計画：創立130周年展示
進捗状況：展示する会場が決まっておらず、どの程度の規模になるか不明なため再検討中である。(到達度：D)
- 事業計画：創立130周年に向けての大学ブランディング及び多面的情報発信の実施
進捗状況：費用対効果を鑑み、幅広い媒体による広報活動を展開した。また創立130周年記念事業の一環としては、「危機管理」をテーマとしたシンポジウムを開催し、社会に対して本学の存在を広く周知することができた。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学公式HPの充実
進捗状況：創立130周年記念サイト、FDサイト等を立ち上げたほか、各種ページの充実を図った。(到達度：B)
- 事業計画：映像制作による広報
進捗状況：入学式、卒業式の映像制作・配信のほか、工、文理、危機管理、スポーツ科各学部の紹介番組を制作し、HP等でも広く展開した。(達成度：B)
- 事業計画：世界で活躍できる若手研究者の育成
進捗状況：今年度も若手研究者間の交流を目的とした若手研究者ポスターセッションを開催し、発表した数名の研究者が地域連携シンポジウムでの発表、パネルディスカッションの機会を得た。(達成度：B)
- 事業計画：若手研究者が自立して研究できる環境の整備
進捗状況：ポストドクター、リサーチアシスタントを研究費で雇用し、研究プロジェクトの推進に努めている。外部研究資金の確保に向けて、eラーニングによる科研費説明会コンテンツを制作中(達成度：B)
- 事業計画：日本大学学術助成金の実施

- 進捗状況：研究代表者に対し外部研究資金への申請・獲得状況の調査を実施。多くの研究代表者が、外部研究資金への申請をし、採択されている。更なる外部研究資金獲得に向け、施策を引き続き検討・改善して行く。(達成度：B)
- 事業計画：理事長特別研究及び学長特別研究の実施
進捗状況：平成28年度は、3年間の計画のうちの2年目にあたり、各研究課題の研究計画に沿って順調に進展している。また、研究成果の発表や、外部研究助成等への申請も積極的に行われている。(達成度：A)
- 事業計画：私立大学研究ブランディング事業の実施
進捗状況：平成28年度私立大学研究ブランディング事業は選定されなかったことから、平成29年度の採択に向けて新たな研究テーマの検討を行った。(達成度：B)
- 事業計画：研究費適正使用の徹底を図る取組の実施
進捗状況：①平成28年6月22日から7月8日にかけて、大学及び短大の72研究課題に対して内部監査を実施し、適正な研究費の執行を確認した。②コンプライアンス教育用の教材として作成している研究費不正使用防止ハンドブックを改訂した。(達成度：A)
- 事業計画：適正な研究活動の徹底を図る取組の実施
進捗状況：平成28年10月に「日本大学における公正な研究活動の推進に関する内規」を制定し、全ての教員に対して研究倫理教育の受講を義務付けた。(達成度：A)
- 事業計画：研究推進や技術移転への活用可能性を重視した研究成果の権利化及び権利の維持管理による効率的・効果的な知的財産活動の推進
進捗状況：知的財産の活用可能性をより重視した案件評価等の基準に基づき知的財産管理を行い、特許性、活用可能性等のほか、技術移転状況等を加味した審議を行った。また、全学的な知的財産活動の体制整備を進めており、次年度から順次実施予定である。(達成度：B)
- 事業計画：学部が所在する地域における産官学連携の促進による地域社会への貢献
進捗状況：「NUBIC相談窓口」を、工学部及び生物資源科学部において継続実施し、地域企業ニーズと研究シーズのマッチング等により、当該地域も含め、産官学連携の促進に努め、本学の4学部が所在する千葉地域において産官学連携フォーラムを他機関と共催し、同地域の産学連携活動を推進した。また、各学部における地域連携の取組事例のアンケートを行い、外部に対する本学の取組事例をアピールする目的で、平成28年7月15日に「日本大学地域連携シンポジウム」を日本大学会館で開催した。(達成度：A)
- 事業計画：研究施設・設備の学部間共同利用の促進
進捗状況：理工学部と医学部が所有する共同利用可能な研究施設・設備・機器の利用案内のサイトを本学公式HPに開設し、共同利用を促進した。一部の学部ではこれから学部内での共同利用の検討を行う。(達成度：B)
- 事業計画：大学及び学部付置研究所の抜本的見直し
進捗状況：学部付置研究所の所員に対して個人研究費を助成できるようルールを定め、研究所の活性化を図った。(達成度：B)
- 事業計画：日大WAN(広域ネットワーク)の運用・管理
進捗状況：再構築を行い、通信速度の高速化(0.1Gbps→1Gbps)を実現できた。(達成度：A)
- 事業計画：統一認証システムの運用・管理
進捗状況：システム更新が完了し、認証機能の連携維持、及び情報セキュリティも向上することができた。(達成度：A)
- 事業計画：外部データセンター及びネットワーク上の仮想サーバ利用(クラウド)を活用した情報システムの管理統一仮想環境、統一バックアップソリューションの運用・管理
進捗状況：仮想サーバを増強し、システムの増加、業務からの性能向上要請に対応できた。(達成度：A)
- 事業計画：情報共有システム「新事務の友(仮称)」の運用・管理
進捗状況：新事務の友システムを本稼働できた。これによりブラウザ依存が解消され、操作性が向上した。(達成度：A)
- 事業計画：情報機器端末及びソフトウェアの適正な運用管理
進捗状況：平成28年度より全部科校で統一した「ライセンス管理システム」を用いたソフトウェア監査を行った。その結果、適正な管理が行われていることが確認できた。また、PC等の共同調達を始めた。(達成度：A)
- 事業計画：全学共通図書館システムの運用・管理
進捗状況：全学共通図書館システムへ、新サービスとしてディスカバリーサービスの全学的導入が完了し、利用者サービス向上が図られた。それにより、図書館システムの機能強化並びに教育研究環境整備を実現した。(達成度：A)
- 事業計画：電子ジャーナル・データベース及び電子ブックの導入・有効活用
進捗状況：国公立大学から成るコンソーシアム等に参加、及び積極的な見積合わせ並びに利用実績を考慮した契約の見直しを実施した。それにより、有利な条件による契約の締結、及び経費削減を実現した。また、電子ブックの協同購入について検討を行った。(達成度：B)
- 事業計画：日本大学創立130周年記念事業募金
進捗状況：平成34年度まで募金活動実施中である。平成28年度までの寄付金受入累計額は40億円となった。(達成度：B)
- 事業計画：高大連携事業(スポーツ)
進捗状況：附属高校等に優秀な中学生の獲得及び育成を依頼。附属高等学校等アスリート奨学金は採用を実施。(達成度：A)
- 事業計画：「スポーツ日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実(学生寮新築)
進捗状況：全て工事は完了。(達成度：B)
- 事業計画：「スポーツ日大」の広報誌の発行
進捗状況：進学ガイドへの折込み、全国の各競技部顧問宛への郵送、大学及び附属高校の在校生への配布を実施。(達成度：A)

大学院総合社会情報研究科

【大学院】

○事業計画：教員の採用

進捗状況：前期課程国際情報専攻・後期課程国際情報分野では検討の結果、採用見送り。（達成度：B）

法学部，法学研究科，新聞学研究科，知的財産研究科，法務研究科

【学部・大学院共通】

- 事業計画：学務システムの導入
進捗状況：学期末試験の成績を WEB 上で発表することにより，学生は，夏期，春期休業期間中に大学へ来ることなく，より早く成績情報を知ることが可能となり，次期の履修準備が早くできるようになった。（達成度：A）
- 事業計画：新カリキュラムの導入
進捗状況：ほとんどの科目が新カリキュラムでの開講となった。法律学科の基幹科目など半期に週 2 時限集中的に学習する科目も多く開講されたことで，教育効果が一層向上した。（達成度：A）

【学部】

- 事業計画：FD 活動の充実
進捗状況：平成 28 年度は，教員が他の教員の授業を見学できる機会を設けた。普段の授業を教室の後ろから見学する形を取り，見学可能な授業及び日時を専任教員に周知の上実施した。（達成度：A）
- 事業計画：保護者懇談会の開催
進捗状況：平成 28 年度は，東京会場（法学部校舎）及び地方会場 6 会場（札幌，郡山，長野，三島，大阪，宮崎）において実施し，東京会場の参加者数は昨年度の約 1.7 倍となる 350 名程となった。（達成度：A）
- 事業計画：大学生基礎力調査（3 年次対象）
進捗状況：調査を実施し，今後の入試広報や中途退学者抑制対策に必要なデータについて当該学年の入学時からの経年変化や動向を十分に把握することができた。（達成度：A）
- 事業計画：貴重書データの登録及び目録作成
進捗状況：所蔵情報の登録は完了し，平成 27 年度に引き続き書誌情報を登録している。さらに専門家の協力のもと，書誌情報の確認を行い，より正確な目録作成作業を進めている。（達成度：B）
- 事業計画：貴重書の電子化
進捗状況：平成 27 年度に引き続き，専門領域の教員の協力を得て，スキャンする貴重書の優先順位を決定し，電子化作業を進めている。（達成度：B）
- 事業計画：電子資料の導入
進捗状況：現在 27 種類の電子資料を導入しており，本部研究推進部学術情報管理課等が提供している電子資料とともに，図書館ホームページにリンクして利用できるようにしている。（達成度：A）
- 事業計画：図書館の日曜開館
進捗状況：当初の計画に従い，年度内に 30 回開館し，1 日あたりの延べ入館者数は約 130 人～400 人，年度合計では 6,762 人であった。学生の学術研究環境の向上や定期試験，資格試験時に学生に対して利便を図ることができた。（達成度：A）
- 事業計画：貴重書等の展示会
進捗状況：「学祖山田顕義及び日本大学の歴史展」，「図書館で外国語に親しもう展」，「学祖山田顕義の書跡展」，「日本法律学校初代校長金子堅太郎と日露戦争展」を開催した。（達成度：A）
- 事業計画：貴重書蔵書調査
進捗状況：当初の計画に従い，平成 28 年度より，専門家の協力のもと，貴重書の現品調査を実施して，貴重書調査票（カルテ）の作成作業を行っている。（達成度：B）
- 事業計画：図書館の共用化及び業務委託の業務内容を検討
進捗状況：平成 28 年度に，法務研究科図書室の一部機能変更及び環境整備を行い，各種サービスを図書館へ一元化し，より充実した図書利用及びサービスの向上を図った。（達成度：A）
- 事業計画：キャリア教育の推進
進捗状況：正課キャリア教育科目の受講によって学生の自主性・行動力が涵養され，課外の各種講座・講演の受講，企業等のインターンシップへの積極的参加が促された。（達成度：B）
- 事業計画：キャリア教育講座の充実
進捗状況：ニュース検定試験・日本語検定，ビジネスの基本講座，キャリアコンサルタントによるキャリア教育講座の実施等，進路の選択肢について学生に熟考させる機会を種々提供した。（達成度：A）
- 事業計画：業界・職種研究ガイダンスの充実
進捗状況：前期には総合ガイダンスを実施して就職に対する意識付けをし，後期には専門カウンセラー，各企業の協力のもと，業界や職種について理解を深めるガイダンスを実施した。（達成度：A）
- 事業計画：保護者への情報提供
進捗状況：後援会総会時に，就職指導委員長・外部講師による就職状況等に関する講演，個別の就職相談を実施するとともに，「保護者のための就職ガイド」を 3 年生の保護者に郵送した。（達成度：A）
- 事業計画：校友会との共催事業の充実
進捗状況：校友会との連携の下，各共催事業について開催回数，開催時期，内容の見直しを行ったことで参加学生が増加し，就職への意識高揚に繋がった。（達成度：A）
- 事業計画：千代田区立図書館との相互協力
進捗状況：平成 28 年度の千代田区民の利用登録者は 20 人，延べ入館者数は 344 人であり，大学図書館として地域社会に貢献している。（達成度：A）
- 事業計画：法律相談会・行政相談会の開催
進捗状況：法律相談会は，巡回無料法律相談会を平成 28 年 11 月 20 日（日）栃木県宇都宮市にて実施した。また，定期無料法律相談会を法学部 5 号館にて年間 5 回開催した。

行政相談会は、学部祭期間中に「行政なんでも相談」として3日間、相談窓口を開設した。
いずれも一般社会への貢献と住民との交流活動として大きな成果を挙げた。(達成度：A)

- 事業計画：授業(クリニック・ローヤリング)の一環として無料法律相談の実施
進捗状況：5月28日から7月2日の毎週火曜日各1時間、授業の一環として無料法律相談を実施し、3名の相談を受けた。(達成度：A)
- 事業計画：受験生向けPC・スマートフォンサイトの一元化
進捗状況：情報量に差があったPC・スマートフォン両サイトにおいて、掲載情報を一元化したことで、受験生が必要とする情報をいずれの媒体においても同等に発信できるようになった。(達成度：A)
- 事業計画：ホームカミングデーの開催
進捗状況：平成28年11月5日(土)に実施した。企画内容としては記念講演会、キャンパスツアー及び懇親会を開催し、223名のOB・OGの参加があった。(達成度：A)
- 事業計画：法曹資格取得希望学生への対応
進捗状況：法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格、司法試験合格のための各種講座を実施している。本学の法科大学院志願者は大幅に増加しており、司法試験予備試験及び司法試験合格者増加へ向けて更なる講座の充実を図っている。(達成度：A)
- 事業計画：開講講座の見直しによる削減
進捗状況：各学科、領域等の協力により、平成28年度開講講座、担当教員の見直しを行い、非常勤教員数を前年度と比較して1割程度削減することができた。(達成度：A)

【大学院共通】

- 事業計画：法科大学院生への就職支援
進捗状況：大学院事務課との連携の下、グループワークを含む就職支援講座を実施し、就職活動に関する理解度の向上を図った。(達成度：A)
- 事業計画：継続教育の実施
進捗状況：法曹有資格者ではないが、社会人1名(2科目)の応募があり、選考試験を経て当該者を科目等履修生として受け入れた。(達成度：A)
- 事業計画：昼夜開講・長期履修制度の実施
進捗状況：平成28年度入学者は42名であり、うち夜間主学生は22名、長期履修学生は5名であった。(達成度：A)

【研究所共通】

- 事業計画：研究所研究員の受入れ
進捗状況：5名の再委嘱を行った。(達成度：A)

【法学研究所】

- 事業計画：専門職養成研究室
進捗状況：司法書士科・税理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を実施し、合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度：A)
- 事業計画：学術研究の推進
進捗状況：研究会18回開催、法学紀要第58巻を発刊した。(達成度：A)

【政経研究所】

- 事業計画：共同研究の再編
進捗状況：新たに「誠実な市民を育むソーシャル・キャピタルの機能の検証—不正抑制の視点から」、 「地方創生に対する地域の多様な対応策等の比較分析に関する研究」を立ち上げ、研究を推進した。(達成度：A)

【比較法研究所】

- 事業計画：学術研究の推進
進捗状況：研究会5回開催、紀要『Comparative Law Vol.33』を発刊した。(達成度：A)

【新聞学研究所】

- 事業計画：新聞学研究所 学術研究の推進
進捗状況：紀要『ジャーナリズム&メディア Vol.10』を発刊した。(達成度：B)

【国際知的財産研究所】

- 事業計画：専門職養成研究室
進捗状況：弁理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を素養レベルに応じて実施し、継続的に合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度：A)
- 事業計画：学術研究の推進
進捗状況：研究会4回、紀要『日本大学知財ジャーナル Vol.10』を発刊した。(達成度：A)

文理学部，文学研究科，総合基礎科学研究科

【学部】

- 事業計画：カリキュラム改定
進捗状況：平成 28 年度に 16 学科についてカリキュラム改定を行った。平成 29 年度には、完成年度を迎える残り 2 学科を改定する。次回改定は、学務委員会において検討を始めている。(達成度：A)
- 事業計画：GPA の実質化による教育の質保証
進捗状況：学生の学修効果を GPA の数値に正しく反映させ、教育の質を学内外に保証することについて、継続して検討を行う。(達成度：C)
- 事業計画：退学者等対策
進捗状況：成績不振者に対して各学科教員が面談を実施し、相談と助言を行っている。また、保証人等への成績表送付は年 2 回行い、学部及び保護者双方から退学等の防止に努めている。(達成度：A)
- 事業計画：ラーニング・マネジメント・システムの活用とオンデマンド授業への対応
進捗状況：「Blackboard」はサポートデスクの対応も行われ、多くの教員に利用されつつある。また、オンデマンド授業の実施科目についても次年度増の予定である。(達成度：A)
- 事業計画：教務関係新システムの導入
進捗状況：平成 29 年度から学務情報システム及び情報掲示板システムについて、新システムを稼働させる。情報掲示板システムについては、ポータルサイトとしての役割を明確にする。(達成度：A)
- 事業計画：教育の質の向上への取組
進捗状況：日本大学 FD 推進センターが主催する「日本大学学生 FD CHAmmit」の文理学部版として、学生 FDWG が企画した「文理学部学生 FD CHAmmit」の支援を行う等、文理学部 FD 活動の一層の推進を図った。(達成度：A)
- 事業計画：外国語教育センター(FLEC)による外国語能力の向上
進捗状況：上記事業の実施のほか、講演会の開催、TOEIC 団体一括受験制度の導入、PC 上で英語書籍を読み議論する「英語多読の会」の企画等、学生の英語力向上を目指した取り組みを行った。(達成度：A)
- 事業計画：教員志望者への支援
進捗状況：上記活動のほか、「教員としての力をつける」ことを目的とした「教師力養成講座」を専門業者へ委託するなど、より効果的な支援を行った。(達成度：A)
- 事業計画：学生による授業評価アンケート結果の公表
進捗状況：全教員を対象に年 2 回アンケートを実施し、その結果を FD 委員会において統計的に解析、個人と科目が特定されない形によりホームページで公開した。形式等の検討は継続する。(達成度：B)
- 事業計画：経済的困窮者に対する奨学金制度の充実
進捗状況：後援会奨学金について、本学部における家計基準に基づき、経済困窮者 70 名に対し、計 16,800,000 円を給付した。(達成度 A)
- 事業計画：文理学部学術出版助成制度
進捗状況：申請者には科学研究費「研究成果公開促進費」に応募することを申請条件としており、平成 28 年度は採択 2 件の内 1 件が科学研究費に採択され本制度の辞退があった。今後も本学部の研究成果を広く社会に還元し、さらに外部研究費を獲得することも目指す。(達成度：A)
- 事業計画：若手研究者育成制度
進捗状況：大学院文学研究科、大学院総合基礎科学研究科又は大学院理工学研究科(地理学専攻)学位取得者等若手研究者がこの制度を利用して早い時期に集中して研究に取り組めるような環境を整えるとともに、外部資金獲得の機会を与え、応募率及び採択率の向上を目指す。(達成度：A)
- 事業計画：科学研究費への申請及び機関管理の拡大
進捗状況：若手の研究所研究員に対して科学研究費等への申請の門戸を開き、外部資金獲得の機会を与え、平成 29 年度科学研究費には本制度により 20 名が応募を行った。引き続き応募率及び採択率の向上を目指すとともに若手研究者の育成に努める。(達成度：A)
- 事業計画：就職意識の高い学生への選抜就職支援
進捗状況：自己分析、業界・企業研究に始まり、応募書類の作成から面接までの就職活動の一連の流れを体験・理解することができ、就職意識の高い学生が育成できた。(達成度：A)
- 事業計画：優良企業研究会の実施
進捗状況：2 月は 30 社、3 月は 79 社 21 地方自治体等の協力のもと実施し、業界・ビジネスモデル・職種を理解することができた。また、事業規模にとらわれない優良企業の探し方を理解することができた。(達成度：A)
- 事業計画：インターンシップの実施
進捗状況：提携校、提携自治体の協力を得て学生を派遣し、それぞれの仕事への理解と就業意欲を醸成することができた。終了後、受入担当者も参加した報告会を行い、事後指導を行った。(達成度：A)
- 事業計画：4 年生未内定者への就職支援

- 進捗状況：求人情報の配信，学内での個別企業説明会を開催した。また，公的機関による就職支援事業，民間企業の優良新卒紹介事業の情報を提供し，多数の学生が内定に至った。(達成度：A)
- 事業計画：地方公共団体や地方企業・団体との連携構築
進捗状況：地方人材選流促進協議会事務局と連携し，U. I. J. ターン就職活動ガイダンスを開催したほか，各都道府県労働局等の協力を得て，付属高等学校所在地を中心とした就職活動個別相談会を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：公務員試験の合格支援
進捗状況：国家公務員 0B 等を招いた講演会を開催し，職業観を醸成することができ，課外講座受講者が増加した。課外講座 240 講座及び 2 次対策 24 講座を開講した。平成 28 年度は国家公務員総合職に 2 年連続で 1 名が合格した。(達成度：A)
- 事業計画：選書ツアー
進捗状況：平成 28 年度は 2 回の選書ツアーを実施し 18 名の参加があり，347 冊購入した。(達成度：A)
- 事業計画：公開講座の実施
進捗状況：平成 28 年度は前学期の募集において定員を充足したため追加募集を行わなかった。次年度は新本館の 500 名教室を利用し，定員を増やして募集予定である。(達成度：A)
- 事業計画：地域貢献事業の実施
進捗状況：「桜っ子カフェ」を年間 20 回開催し，保護者へ子供に対するかかわり方などを学ぶ機会を提供し，また，保護者同士の交流を促進することで，地域の子育てを支援した。(達成度：A)
- 事業計画：OB・OG 懇談会の実施
進捗状況：12 月に公務員，2 月に民間企業で働く卒業生を招へいし，懇談会を開催した。学生の職業観を醸成し，就職活動に向けて業界の概要や職務内容を理解することができた。(達成度：A)
- 事業計画：地域住民等への開放
進捗状況：地域住民等への図書館利用及び館外貸出を行った。(達成度：A)
- 事業計画：資料館企画展の開催
進捗状況：平成 28 年度も計画どおり企画展を開催し，地域貢献を行った。(「文理学部資料館の「今」」展，「日大の発掘 1－発掘実習の記録－」「百人一首展」)(達成度：A)
- 事業計画：SD 研修の取組
進捗状況：全職員を対象とした SD 研修会を 2 回(4 月，7 月)開催するなどの取組を通じて，平成 28 年 12 月に「日本大学文理学部における SD に係る基本方針」を策定し，教員執行部を含めた SD の在り方を明示した。(達成度：A)
- 事業計画：防災備蓄
進捗状況：平成 28 年度は，東京都帰宅困難者対策条例(従業員が施設内に留まれるように，3 日分の水・食料・その他必要物資の備蓄が努力義務となっている)にできるだけ沿えるように，3,600 名分の水・ビスコを購入したのに加えて，本学部が室内プールを所有している特徴を踏まえて浄水器を購入した(達成度 B)。
- 事業計画：新本館(仮称)新築工事
進捗状況：建物のみ引き渡し。平成 30 年 4 月まで，外構工事が行なわれる。(達成度 A)
- 事業計画：キャンパスマスタープランの構築
進捗状況：1 号館内部改修工事，新本館(仮称)竣工に続き，本館，5 号館，6 号館の解体及び外構工事に移行する。引き続き，施設(建物)の建替計画を策定することにより，キャンパス全体の有効活用を図る。(達成度 B)
- 事業計画：図書館マスタープランの再構築
進捗状況：図書館地下 2 階書庫 A の改修工事が実施され，資料の収容数を増加し，新築した本館に係る学科図書の図書館への移設を行った。(達成度：A)
- 事業計画：文理学部後援会奨学基金への組入れ
進捗状況：組入計画に基づき，1,000 万円を基金に組み入れた。(達成度 A)
- 事業計画：文理学部校友会奨学基金への組入れ
進捗状況：計画に基づき，1,000 万円を基金に組み入れた。(達成度 A)

【大学院】

- 事業計画：大学院学生への研究支援
進捗状況：大学院博士後期課程奨励研究費を給付し，科研費等の申請手続きに倣い，研究計画書や成果報告書等の作成を経験することで，研究者としての基礎的な能力の獲得を目指す。(達成度：A)

【研究所】

- 事業計画：学内における競争的研究費
進捗状況：この助成制度は学科内及び複数学科に亘る研究の活性化に貢献している。今後も学外への大型研究資金獲得へと発展できるように更なる体制づくりを目指す。(達成度：A)
- 事業計画：研究成果の公表
進捗状況：人文科学研究所では公開講演会を開催した。自然科学研究所ではシンポジウム及び研究会等を開催した。各研究所において研究紀要等の発行を行うことにより，国内外の地域・学外団体への情報発信を行った。(達成度：A)

経済学部、経済学研究科

【学部】

- 事業計画：学習環境の改善における学習支援システムの導入(e-Learning 含む)
進捗状況：新システムへの移行が完了して円滑な運用がされている。また、入学者への事前学習として e-Learning のコンテンツを用意した。(達成度：A)
- 事業計画：経済的困窮者への奨学金給付
進捗状況：経済的困窮者に対して、学部第3種奨学金(1名採用)、学部後援会第1種奨学金(45名採用)を給付し、経済的支援を行った。(達成度：A)
- 事業計画：学業成績優秀者への奨学金給付
進捗状況：特待生に準じた成績を修めた学部2年次以上の学生に対して、学部校友会奨学生として9名を採用し、奨学金の給付を行った。(達成度：A)
- 事業計画：就職指導支援事業
進捗状況：①3年生を対象とした就職支援講座は、33種77回実施し、3月には2種の企業研究会を開催した。(達成度：A)
②国家試験受験準備室には24名の入室者を受け入れ、公認会計士・地方公務員(上級)として活躍している卒業生による学習相談会を実施した。(達成度：A)
③資格取得支援講座9種を開講。述べ251名が受講し、検定試験の合格者数は、日商簿記検定2級16名、証券外務員(二種)15名、リテールマーケティング(販売士)2級38名であった。(達成度：A)
- 事業計画：キャリア形成支援事業
進捗状況：①「キャリア形成論」でのインターンシップは、ビジネスコース46名、行政コース21名が実施、それを通して社会人基礎力等が養われ、大学での学修意欲の向上等が図られた。(達成度：A)
②「基礎研究」でのキャリア教育は、2週間で合計8回実施、高評価が得られた。1年生から参加できる講座は、30回開講した。(達成度：A)
- 事業計画：年間留学プログラムの充実
進捗状況：当該プログラムにより、3か国4大学へ57名が留学した(9～10ヶ月間)。帰国後、派遣先での修得科目を学部の科目単位として認定した。(達成度：B)
- 事業計画：付属校との連携強化
進捗状況：戦略室メンバーによる模擬授業や学部説明会、団体での学部見学の受入れ等延べ36回実施した。また、収集した情報をもとに面接の復活等、付属校推薦入試改革を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：海外協定校におけるプログラム等の充実
進捗状況：平成28年度より、クイーンズランド大学(豪州)及び台湾政治大学(台湾)との提携覚書を締結し、留学志望者のニーズを勘案し地域の拡大及びプログラム充実を図った。(達成度：B)
- 事業計画：入学前教育の充実
進捗状況：課題の実施と経済学に関連した指定図書を読むことを促すことで、経済学の学問分野に興味を喚起し、経済学の基礎について理解を図ることができた。課題の提出率は95.8%であった。(達成度：A)
- 事業計画：図書閲覧サービス
進捗状況：千代田区立図書館のホームページで広報したが、平成29年2月28日現在の利用者及び登録者数は皆無であった。(達成度：B)
- 事業計画：保護者向けパンフレット作成
進捗状況：保護者向けに在学生のライフスタイルや就活体験を紹介するとともに入試制度の違い等を紹介したパンフレットを5,000部作成し、オープンキャンパス等で配布し、好印象を得た。(達成度：A)
- 事業計画：一般入試N方式第1期導入
進捗状況：導入初年度となる今年の出願は、延べ2,848件であった。このうち、関東地方を除く地方会場での出願は689件(24.1%)あり、N方式のメリットを享受できた。(達成度：A)
- 事業計画：教務事務システムサーバ等更新
進捗状況：教務事務システム等を本部の仮装基盤に移行した上で、予定どおり基本ソフトウェアのサポート及びハードウェアの保守更新を実施し、ハード障害とセキュリティリスクへの対応を行った。(達成度：A)
- 事業計画：ファイアウォール等の更新
進捗状況：ファイアウォール関連機器を6台から2台に統合し、最新のセキュリティ機能(アンチウィルス、アンチスパイウェア、サンドボックス)を取り入れた。(達成度：A)
- 事業計画：三崎町キャンパス整備事業
進捗状況：平成28年度末に3号館の工事が完了し、必要な什器等の整備も完了した。平成29年4月から使用を開始する。(達成度：A)
- 事業計画：経済学部第2号基本金引当特定資産組入れ
進捗状況：計画通り第2号基本金引当特定資産に1億円組み入れた。(達成度：A)

【大学院】

- 事業計画：博士前期課程修了予定者対象修士論文中間発表会の実施
進捗状況：9月に修士論文の中間発表会を開催した。各自の修士論文の要旨等を発表した後、教員から質疑や意見等を受け、質の高い論文の完成を目指した。(達成度：A)

- 事業計画：博士後期課程学生対象研究報告会の実施
進捗状況：5月に研究報告会を開催して各自の研究の進捗状況を発表し、教員から質疑・意見等を受け、それをもとに論文の内容を精査して、質の高い学位請求論文の完成を目指した。(達成度：A)

【研究所】

- 事業計画：学部内競争研究費
進捗状況：次年度に向けた(平成29年度)共同プロジェクトA・Bの募集及び選考を行い、2件の共同プロジェクトを採択した。(達成度：A)
- 事業計画：研究会の開催
進捗状況：各共同プロジェクトによる中間研究会を開催し、併せて本研究所主催の学術講演会を開催した。(達成度：A)
- 事業計画：研究刊行物の発行
進捗状況：本研究所の刊行物として、「紀要」及び「経科研レポート」を3月に刊行した。(達成度：A)
- 事業計画：学部内競争研究費
進捗状況：次年度に向けた(平成29年度)研究プロジェクトの募集及び選考を行い、2件の共同プロジェクトを採択した。(達成度：A)
- 事業計画：公開月例会の開催
進捗状況：各研究プロジェクトによる研究会を開催し、併せて本研究所主催による公開月例研究会を開催した。(達成度：A)
- 事業計画：研究刊行物の発行
進捗状況：本研究所の刊行物として、「産業経営研究」及び「所報」を3月に刊行した。(達成度：A)
- 事業計画：学部内競争研究費
進捗状況：次年度に向けた(平成29年度)研究プロジェクトの募集及び選考を行い、1件のプロジェクトを採択した。(達成度：A)
- 事業計画：シンポジウム開催
進捗状況：本研究センター主催による学術講演会及び国際シンポジウムを開催した。(達成度：A)
- 事業計画：プロジェクト研究報告書の出版補助(中国・アジア研究センター)
進捗状況：プロジェクト研究における研究成果を3月に出版した。(達成度：A)

商学部, 商学研究科

【学部・大学院共通】

- 事業計画：2号館1階購買部及び地下1階自習室改修工事
進捗状況：平成28年4月に工事を実施し、完了した。(達成度:A)
- 事業計画：図書館入館ゲート設置
進捗状況：平成28年4月に設置を完了した。(達成度:A)
- 事業計画：大蔵校地管理棟(仮称)及びグラウンド改修工事
進捗状況：平成28年9月に着工、平成29年8月に竣工を予定している。(達成度:B)
- 事業計画：カフェハウス新築工事
進捗状況：諸般を勘案し、計画を見送ることとした。(達成度:D)
- 事業計画：創設90周年記念館改修工事
進捗状況：部屋タイプを変更したため、平成30年度の工事施工に計画変更している。(達成度:C)
- 事業計画：広報活動強化
進捗状況：受験生等に教育活動、研究活動に関する情報を積極的に発信し、本学部及び本大学の社会的価値を高めることにより、就職支援、受験生の獲得に繋げた(オープンキャンパス2,749名、ミニオープンキャンパス1,275名来場)。(達成度:B)
- 事業計画：キャリア教育支援
進捗状況：特に2年生では、コンピテンシー診断テストを実施し、個人の行動特性を理解する。また、3年生では、社会との接合を考慮しながら、幅広く就職プログラムを実施した。(達成度A)
- 事業計画：学修支援センター設立
進捗状況：平成28年度は、カリキュラム改正を含む学修支援センター機能の見直しを行っていたが、カリキュラム改訂の進捗が遅れたため、学修支援センターの機能の詳細な決定が遅れてしまった。平成29年度内の実施を予定している。(達成度:C)
- 事業計画：海外留学奨励費(認定留学・派遣留学)
進捗状況：認定留学及び派遣留学に対する助成予算を設け、実施している。(達成度:A)

【学部】

- 事業計画：学部を超えた共同授業プログラム実施
進捗状況：「技術が分かる経営者」を育成することを目標に、生産工学部から教員を迎え入れ、プロジェクト研究「技術と経営1」「技術と経営2」として、実施している。(達成度A)

【研究所】

- 事業計画：横断的プロジェクト共同研究実施
進捗状況：「保健科学分野のビジネスモデルに関する学際的研究」(研究代表者：児玉充 教授)を実施し、精力的に活動した。平成29年度も継続実施する。(達成度:A)

芸術学部，芸術学研究科

【学部】

- 事業計画：江古田校舎通年化に対応したカリキュラム変更
進捗状況：更なる芸術総合教育の促進に向け，平成 29 年度新学則において「自主創造の基礎Ⅰ・Ⅱ」，英語等外部検定等の認定科目の増設。並びに図書館司書・司書教諭課程を新設した。（達成度：A）
- 事業計画：芸術総合講座の実施
進捗状況：6 講座を実施し，いずれも芸術総合学部としての学生への教育効果が高まった。（達成度：A）
- 事業計画：教員の教育力の向上を目指す FD
進捗状況：学生からの授業評価アンケートを実施し，結果を公開し，教育力向上に活用した。（達成度：A）
- 事業計画：N 方式導入による入学試験区分増加
進捗状況：平成 29 年度入学試験から，8 学科中 6 学科が N 方式に参加が決定した。（達成度：B）
- 事業計画：米国ワシントン州立大学サマースクールの実施
進捗状況：参加者 12 名，引率者 2 名で実施。次年度の継続に向け準備進行中。（達成度：A）
- 事業計画：欧米諸国の大学との新規協定締結を中心とした国際交流促進
進捗状況：本部学務部国際交流課との連携で，ヨハネス・グーテンベルグ大学（交換留学プログラム），英国キングストン大学（派遣留学プログラム）他との覚書内容調整が進行中である。（達成度：B）
- 事業計画：アジア国際学生映画祭の実施
進捗状況：27 大学から 2400 名以上の参加者を集め，出展作品の上映を通して，アジア映画教育の成果の相互交流や，学生の創作意欲と実践の誘発，グローバルな視野の開発を行い大いなる貢献ができた。（達成度：A）
- 事業計画：芸術学部奨学金（多様な給付型奨学金）の支給
進捗状況：25 名の学生に対し 969 万円の奨学金を給付し経済援助を行った。（達成度：A）
- 事業計画：学部主催による合同企業説明会の充実
進捗状況：平成 29 年 3 月 14 日～17 日に江古田校舎東棟において 64 社を招いて開催し，1,300 名以上の参加者数を得て，学生の職業選択肢の増大に努めた。（達成度：A）
- 事業計画：日藝図書館情報の発信 ①カタログ誌「日本のマンガ家 畑中純」の発行，②活動誌「日藝ライブラリー」第 3 号の発行，③展示会「ホラー漫画家 犬木加奈子の世界」展の開催
進捗状況：図書館利活用状況は昨年度並み，芸術資料館での展示会来場者数は昨年度比の倍以上であったことなどから，事業計画で見込んだ効果が上がった。（達成度：A）
- 事業計画：芸術資料館企画展の実施
進捗状況：本年度は，学部所蔵のオリジナルプリント展や演劇資料展など 9 つの企画展を開催。のべ 193 日開館し，7,864 人を集客。（達成度：A）
- 事業計画：芸術資料館資料公開用プラットフォームの開発
進捗状況：本年度は DB 用ソフトウェアの開発を写真学科が保管する写真資料のデータベース構築を基礎として実施。他学科の保管するデータの整備は次年度の前半を目途に実施する。（達成度：B）
- 事業計画：江古田・所沢両校舎にて公開講座の実施
進捗状況：練馬区との共催で，江古田校舎で 3 日間開催し，94 名が受講した。また，所沢校舎でも 3 日間開催し，24 名が受講した。（達成度：A）
- 事業計画：第 10 回「日藝賞」の授与
進捗状況：入学歓迎式当日は受賞者御本人が来校し，新入生・在校生共に大きな反響を得た。第 10 回受賞記念講演会については，両氏合わせて 639 名の来場者を迎え，大盛況の講演会となった。（達成度：A）
- 事業計画：「日藝賞」創設 10 周年記念事業の実施
進捗状況：日藝賞創設 10 周年記念制作物として，許諾を得た歴代受賞者 20 名分のプロフィール画像を反映した吊下げ式タペストリーを制作し，平成 28 年度入学歓迎式より江古田校舎西棟事務局ガラス壁面へ掲出，学部学生並びに学外来校者への新たな日藝賞広報用ツールとして使用中。（達成度：B）
- 事業計画：芸術教育の特殊性・多様性を鑑みた「少数精鋭」を念頭とした採用計画の立案・遂行
進捗状況：定年者の再雇用教員への任用を行うとともに，退職教員の補充及び図書館司書・司書教諭課程設置に伴う教員配置を実施，准教授 1 名・専任講師 1 名・助教 1 名の計 3 名の採用を行った。（達成度：A）
- 事業計画：学生募集広告充実化計画
進捗状況：本年度より，西武線沿線に特化した電車吊広告及び池袋駅壁面広告を掲載し，平成 29 年度入学試験における一定の成果を得た。（達成度：A）
- 事業計画：東京都条例等に基づく防災用品及び非常用食料品備蓄の充実化による危機管理体制の構築
進捗状況：消費期限を迎えた食料品のアルファーマ 3,000 食分の入替え並びに品質改良した 7 年保存カンパン・保存水を新たに 2,000 食調達。東京都帰宅困難者対策条例に定められる備蓄目標へ近づけた。（達成度：A）
- 事業計画：私立大学等研究設備整備費等補助金の獲得
進捗状況：補助対象として 2 件の機器を予算化し，補助金申請を考えていたが，募集が無かったため獲得することができなかった。（達成度：D）

【大学院】

- 事業計画：教員情報を記載した芸術学研究科案内冊子 GSA の継続作成
進捗状況：教員の研究内容公開による F D 活動の推進とともに，受験希望者の研究科へのより深い理解が得られた。（達成度：A）

- 事業計画：芸術学研究科博士課程研究誌「芸術・メディア・コミュニケーション」の継続発行
進捗状況：後期課程在学者の要望に応え、研究発表の場として発行している。図書館での観覧も可能であり、在学者の研究の指針としても機能した。(達成度：A)

【研究所】

- 事業計画：学部研究費(個人・共同)の確保と研究・創作成果の発信の支援
進捗状況：研究・創作成果については紀要等により公表。学部研究費は、個人97件・共同8件を採択し、額も従来レベルを維持。また若手研究者育成を目的に助手対象の研究費24件を採択。(達成度：A)
- 事業計画：学科単位の研究活動支援
進捗状況：学科単位の研究については、学部長指定研究として3件の課題を選定し実施した。(達成度：A)
- 事業計画：補助金獲得を視野に入れた研究活動支援
進捗状況：科研費獲得を念頭に科研費の計画書をベースとした研究計画書により若手を含めた学部研究費を募集。研究計画を審査の上、研究費を傾斜配分している。(達成度：A)
- 事業計画：研究成果の活用による産官学連携活動の実施
進捗状況：前年度採択の日本大学学術研究助成金の事業である医学部・理工学部の研究者との協働による研究開発を継続。企業を含めた産学連携での研究開発を実施、プロトタイプを作成。(達成度：A)

国際関係学部，国際関係研究科，短期大学部

【学部・大学院・短期大学部共通】

- 事業計画：学部指定学生寮の確保
進捗状況：三島市内に学生寮5棟(158室)を確保し満室である。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学三島後援会特別奨学金
進捗状況：平成28年度日本大学三島後援会特別奨学金給付者述べ人数200名，「下宿補助」171名(国際関係学部生157名，短大生14名)，「新幹線通学補助」29名(学部生27名，短大生2名)(達成度：A)
- 事業計画：エコキャップ運動の推進
進捗状況：平成29年2月現在のキャップ収集総数は85,803個，ポリオワクチン99.8人分(平成28年度分68,465個，ポリオワクチン79.6人分)(達成度：A)
- 事業計画：図書館所蔵資料の一般公開や企画展の開催
進捗状況：「チャレンジ！EU諸国への留学」，「日本の国連加盟60周年を記念して」及び「第5回上田彦次郎ガラス乾板写真展」を開催した。(達成度：A)
- 事業計画：学内合同企業説明会の実施
進捗状況：3月14日から3月17日の4日間開催し，参加企業は144社，参加学生数は延べ366名であった。(達成度：A)

【学部・短期大学部共通】

- 事業計画：入学前学習支援プログラム実施
進捗状況：年内の推薦入試等合格者519名に対し入学前教育の実施を案内し440名が受講した。内容としては，日本文及び英文の課題を課した。(達成度：A)
- 事業計画：市民公開講座・エクステンション講座の実施
進捗状況：上期市民公開講座(平成28年6月1日より5回，統一テーマ「グローバル化時代を考える」)，下期市民公開講座(平成28年9月28日より5回，統一テーマ「生活習慣と健康」)を開催した。エクステンション講座は，春期8講座，秋期6講座を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：就職支援講座の実施
進捗状況：筆記試験対策として講座や模試を実施した。また，書類・面接選考対策では自己分析講座や面接対策講座等年間を通して就職支援講座を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：公務員試験の合格支援
進捗状況：低学年向けの入門講座(教養，専門)は92名が受講した。また，本部主催の3年生向け教養講座を中心に，3年生対象の対策講座(教養，専門，集中特訓，直前対策)は92名が受講した。(達成度：A)

【学部】

- 事業計画：平成28年度入学生教育課程(カリキュラム)の施行
進捗状況：1年生は，後期終了後に，2年次からの履修コースの選択を行った。2年次以降の新設の科目や履修コースの履修状況を把握し，今後，新カリキュラムの運用を検討していきたい。(達成度：B)

【短期大学部】

- 事業計画：専任教員3名を採用予定
進捗状況：助教2名を採用した。(達成度：B)

【研究所】

- 事業計画：学術講演会及び『生活科学研究所報告』の発行
進捗状況：平成28年12月6日に生活科学研究所フォーラム(講演者：大塚友美氏・大石玲子氏日大少子化フォーラム2016 in Mishima「未来家族を考える」)を開催した。
平成28年12月5日～17日に研究発表会(ポスター発表による)を開催した。
平成29年3月に『生活科学研究所報告』第39号を発行した。(達成度：A)
- 事業計画：①国際シンポジウムの開催
②学術講演会開催及び『国際関係研究』の発行
進捗状況：①平成28年7月2日に保谷徹東京大学史料編纂所教授他2名を招へいし，「世界遺産 韮山反射炉と幕末日本」をテーマに，本学部においてシンポジウムを開催し，研究発表及び討論を行った。
②平成28年12月22日に学術講演会(講演者：足立正彦氏，演題：「アメリカ大統領選挙とトランプ次期政権の課題」)を開催した。
平成28年10月に『国際関係研究』第37号第1号，平成29年2月に『国際関係研究』第37号第2号を発行した。(達成度：A)

三軒茶屋キャンパス (危機管理学部, スポーツ科学部)

【共通】

○事業計画：事務組織の合理化

進捗状況：他学部に見られる8課体制から2課体制での運営において、各職員が軸となる業務のほか、各課の関連する業務との情報交換を行い、それぞれの業務経験にとらわれることなく、得意分野を活かしながら、広範囲の知識、経験、技術を学び、個人の能力の向上をさせる学校運営を行っている。(達成度A)

○事業計画：引当資産の確保を行い、安定した財政の取組

進捗状況：開設初年度の三軒茶屋キャンパスは、1学年のみの学生数であることから、キャンパス運営に必要な学納金収入を確保できない状況にある。無駄を省き、経費節減に努めながら、まずは単年度における収支均衡を目標にキャンパス運営を行っている。(達成度C)

【学部】

○事業計画：キャリア教育の充実

進捗状況：《危機管理学部》

全学生対象のアンケートを実施、希望者が多かった行政キャリアに対応して、公務員試験対策講座を開講した。

「自主創造の基礎2」において、現在の「学び」とキャリアとの繋がりを意識させる時間を設けた。(到達度：B)
《スポーツ科学部》

「自主創造の基礎」ではキャリア教育を導入し、マナー講座、スポーツキャリア講座等で学生自らがキャリアをデザインできる授業を展開した。課外講座では公務員試験対策講座を設置し就職支援を行った。(到達度：B)

○事業計画：特色ある入学試験の実施により、多様の学生の受け入れ

進捗状況：《危機管理学部》

学部独自のA方式及びに全学的なN方式の一般入試によって学習の到達度や学力を判定する入試のみならず、付属推薦入試や、文化スポーツ活動や危機管理に関連するボランティア活動など個人の社会活動を評価する公募制入試など、多様かつ複数の方法により危機管理学部ならではの特色ある入学試験を実施した。(到達度：B)

《スポーツ科学部》

スポーツ科学部の教育理念である「反省的実践化の養成」を踏まえて、多様な学生の受入を目指し、A方式、N方式(第1期・第2期)A0入試、推薦入試では、付属高校基礎学力選抜、付属特別選抜、指定校制、提携校、推薦入試、外国人留学生等の各種の入学試験を実施し、学力判定のみならず、社会的な活動、スポーツ科学部という特性上、スポーツ競技歴等を鑑みスポーツ科学部への志願者に門戸を広げ選考を行った。(到達度：B)

○事業計画：志願者増を図るための様々な施策

進捗状況：《危機管理学部》

スポーツ科学部と連携したオープンキャンパス、ミニ・オープンキャンパスを開催し、三茶祭と連動した進学相談会、本部で開催の進学相談会にも積極的に参加し受験生への広報活動を強化できた。また、付属高校や一般高校への高校訪問を実施し、体験授業や学部説明を行い、高校生及び受験生に対して直接アピールした。(達成度：A)

《スポーツ科学部》

オープンキャンパス及びミニ・オープンキャンパスの実施、三茶祭における進学相談や体育施設の見学、体験授業の受入れ、高校訪問等、並びに学部案内の充実、ホームページのリニューアルや進学ナビ、雑誌、リーフレットによる積極的な広報活動を行った。

(達成度：A)

理工学部, 理工学研究科, 短期大学部

【学部・大学院・短期大学部・研究所共通】

- 事業計画：理工学研究所施設の充実
進捗状況：理工学研究所では、研究開発、支援及び実験領域での8研究施設を有し、研究開発、支援体制の強化を図り、共同利用によって本学部が有する研究資源の利活用に努めた。(達成度：A)
- 事業計画：研究推進戦略の確立
進捗状況：学内研究費による横断的プロジェクト等の実施により、将来の本学部の核となる研究、外部の競争的研究資金の獲得に繋がる研究を支援するために学部内の研究費を、申請状況、研究ニーズ等に沿って再構築し、本学部の研究に対する総合力の向上を図った。(達成度：A)
- 事業計画：産官学連携
進捗状況：受託研究・共同研究を積極的に推進し、研究活動の促進を図っている。平成23年度から地域産官学共同研究拠点「千葉大学サイエンスパークセンター」へ参画し、船橋校舎が所在する千葉県域と連携した研究及び交流を図っている。(達成度：A)

【学部・大学院・短期大学部共通】

- 事業計画：就職指導対策の充実
進捗状況：早期の内々定獲得者の増加や4年生未内定者への個別企業セミナーからの内定獲得など成果があった。(達成度：A)
- 事業計画：キャリアカウンセラーの配置強化
進捗状況：通常の個別相談だけでなく小規模のグループワークが提供可能となり、具体的な採用試験に関するアドバイス、進路選択や就職への動機付けに寄与している。(達成度：A)
- 事業計画：地方との関係強化とUIJターンの促進
進捗状況：地方での企業情報交換会に参加した。また、就職指導課内に特別コーナーを設置したほか、都道府県別のファイルを整備した。(達成度：A)
- 事業計画：理工学部学術講演会の開催
進捗状況：平成28年12月3日に開催された理工学部学術講演会においては、学部及び大学院生を中心として16部会と3つの特別セッションにより609件の研究発表が行われ、優秀発表者に対する表彰も実施した。(達成度：A)
- 事業計画：理工学部学術賞等表彰式の開催
進捗状況：学術の発展に顕著な功績があり、本学部における学術の振興と学術水準の向上に資する者として理工学部学術賞の授与の他、優れた研究業績を挙げて国内外の学会・協会等の学術団体からの表彰者等を、奨励のために再表彰した。(達成度：A)
- 事業計画：日本大学図書館理工学部分館の千代田区民への開放(館内閲覧及びセルフコピーサービス)及び日本大学図書館理工学部分館(船橋)の船橋市民への開放(館内閲覧及びセルフコピーサービス)
進捗状況：図書館内閲覧及びセルフコピーサービスの実施(達成度：B)
- 事業計画：国際交流
進捗状況：日本語弁論大会は応募者が少なく開催を休止した。英語弁論大会も含めて、応募者を増やす取り組みを検討している。また、覚書校との交流については、韓国海洋大学校においてデザインワークショップを7日間開催し、教員及び学生間の緊密な交流を図った。(達成度：B)
- 事業計画：日本大学図書館理工学部分館公開講座の開催(年2回の予定)
進捗状況：①第29回(平成28年6月開催) 受講者数：61名
②第30回(平成28年12月開催) 受講者数：96名 (達成度：A)
- 事業計画：駿河台校舎及び船橋校舎各建物耐震補強工事関係
進捗状況：平成23年度に耐震補強工事実施順位計画を策定したが、2020年東京オリンピック開催決定に伴い、工事の資材・人件費等の高騰により予算確保が困難となり、再度計画を見直し、実施に向けて検討中である。(達成度C)
- 事業計画：駿河台キャンパス整備事業
進捗状況：駿河台校舎5・6・9号館の建替えによる南棟(仮称)新築工事に着手し、現在建設中である。さらに都市型機能を生かした教育・研究キャンパスを目指し、北棟(仮称)の重要整備計画が承認されたが、現在は計画を実施延期中である。(達成度B)

【学部・大学院・研究所共通】

- 事業計画：学術研究戦略事業の推進
進捗状況：学内研究施設を活用し、戦略的研究基盤形成支援事業の4年度目を実施し、研究成果の中間発表を兼ねて国際ワークショップを開催するなど、研究計画に掲げた目標を概ね遂行した。(達成度：A)

【学部・大学院共通】

- 事業計画：低学年からのキャリア支援の充実
進捗状況：1年生向け及び保護者向けの冊子を発行し、キャリアに関する意識付けを行った。また、低年次に対するキャリア講座のほか、コンピテンシー診断を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：国家公務員試験の合格支援
進捗状況：総合職試験対策講座を新設したが、最終合格者増加は達成できず、さらなる改善を要する。(達成度：B)
- 事業計画：ボランティア活動
進捗状況：桜理祭実行委員会やボランティアサークルが、校舎周辺の清掃活動や祭り、防犯運動に参加した。参加者は徐々に増加している。(達成度：A)
- 事業計画：八海山セミナーハウスの有効活用(外部貸出)

進捗状況：地元高校生の勉強合宿や本学部教員が関係している学外団体による研究集会としての受入れの他、中高大連携教育活動の一環で、天文台を用いたサイエンスキャンプを実施した。(達成度：B)

【学部・短期大学部共通】

○事業計画：①オープンラボ(公開イベント)の充実

②COC(センターオブコミュニティ)の構築

進捗状況：①本年度は、学内外で17件実施し、高校生を中心に約1,000名の参加者があった。実験等に参加していただくことにより、モノづくりの楽しさを伝え、関心を持っていただく場を提供した。(達成度A)

②地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目指し、夏休み自由研究教室、ハロウィンパレード・イン・サイエンスワンダーランドを実施した。(達成度A)

○事業計画：理工学部及び短期大学部(船橋校舎)共催による公開市民大学講座の開催、学術的要素を取り入れた講座とスポーツ教室等を実施

進捗状況：平成28年度のテーマは「未来を拓く」とし、学術的要素を取り入れた5講座を実施した。スポーツ教室はテニス教室を実施した。全講座とも好評のうちに終了した。受講人数合計 318名。(達成度A)

○事業計画：防災機能の強化

進捗状況：ヘリコプター離発着場所、緊急避難場所を定期的に巡回して障害物等が無いよう点検を行っている。(達成度B)

○事業計画：広報活動の転換・充実

進捗状況：高校への広報の充実と卒業生への広報を同時並行するべく、まずは本学部出身の附属高校教員の名簿を作成し、本学部のイベント等の情報発信を実施した。(ホームカミングデーの場も有効活用した)(達成度A)

○事業計画：第3号基本金引当特定資産への組入れ

進捗状況：学生へ奨学金の給付を行うため、計画どおり500万円を第3号基本金(日本大学理工学部校友会奨学基金)に組み入れた。(達成度A)

【学部】

○事業計画：インセンティブ及びスタディ・スキルズ科目の授業内容の見直し、卒業達成度評価科目の授業内容の見直し

進捗状況：初年次教育科目であるインセンティブ及びスタディ・スキルズ科目については、全学共通初年次教育科目の内容に照らし、次期カリキュラム変更に向けた作業の中で学務委員会等において検討している。(達成度：B)

○事業計画：学生支援(経済的)

進捗状況：平成28年度の学部奨学金のうち、経済状況を重視した理工学部後援会奨学金を28名に給付した。日本大学事業部奨学生のうち11名に対しても給付を行い、後援会奨学生と同じ給付額とした。その結果前年度より5名多く対応することができた。なお、今後の奨学金の制度については、学部長から諮問を受けた奨学金制度検討委員会にて検討している。(達成度：A)

○事業計画：卒業生に対する追跡調査の実施

進捗状況：1,748名に対して調査を実施し、234名から回答があった。初めての調査であったが、卒業生の就職後動向に関するデータが得られた。(達成度：A)

○事業計画：防災体制の充実

進捗状況：両校舎共に、所轄消防署員を講師として招き、学生・教職員等を対象に消防訓練を実施した。なお、駿河台校舎では地域の自衛消防訓練審査会に本年も参加し、本年度は3位入賞する等防災体制の強化を図っている。(達成度：A)

【短期大学部】

○事業計画：学生支援(経済的)

進捗状況：学生課掲示板、ポータルサイト、ホームページ等にこまめに情報を開示している。(達成度：A)

○事業計画：短期大学部生への支援体制構築

進捗状況：少人数講座とカウンセリングを推進した。また、キャリア・就職支援検討専門委員会を新設し、組織的な支援体制を構築した。(達成度：A)

○事業報告：就職常識試験の実施

進捗状況：4年制大学に編入学する約8割の学生にとっても、将来の就職活動への準備として寄与した。(達成度：A)

○事業計画：オープンカレッジ「ものづくり&サイエンス・スクール2016」の開催

進捗状況：いずれのプログラムも子供から大人まで多数の地域住民(計291名)の参加があり計画どおり遂行した。(達成度：A)

○事業計画：高等学校訪問

進捗状況：第1回70校、第2回129校、第3回139校を訪問した。(達成度：A)

○事業計画：学校説明会

進捗状況：両日合わせて77名が参加した。(達成度：A)

【研究所】

○事業計画：理工学部理工学研究所講演会の開催

進捗状況：基盤形成支援事業における研究成果の中間報告会及び理工学部学術講演会60回記念シンポジウム(熊本地震の調査報告及び2020オリンピック・パラリンピックと東京の街づくり)として研究所講演会を2回開催した。(達成度：A)

生産工学部、生産工学研究科

【学部・大学院共通】

- 事業計画：国際交流の推進
進捗状況：平成 28 年度は中国科技大學から 4 名の特別聴講学生の受け入れを行った。また、「国際交流センター」を設置し、海外の大学・教育研究機関との交流を通じ、国際交流の促進を図った。(達成度：A)
- 事業計画：若手研究者を対象とする研究費の補助
進捗状況：10 名に研究費上限 50 万円を交付し、その全員が平成 29 年度科学研究費補助事業に申請するなど若手研究者の研究活性化につながった。(達成度：A)
- 事業計画：科学研究費補助金受領者に対する特別研究費交付
進捗状況：50 名に採択を受けた科研費の直接経費の 30%相当額を交付し、生産工学部刊行の研究報告書への投稿につながった。(達成度：A)
- 事業計画：適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討
進捗状況：各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき、教員の採用を行った。また、教員の採用にあたり、特色ある科目を担当する教員を採用した。(達成度：A)
- 事業計画：FD 取組の推進
進捗状況：平成 28 年度は「教育貢献賞表彰」「授業参観」「授業評価アンケート」「ティーチングポートフォリオ」「学生 FD」「新任教員研修会」「FD・SD 研修会」「学生への接し方等におけるメンタルヘルス、ハラスメント研修会」「博士前期課程修了生アンケート」を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：自習室並びに特別研究室の整備
進捗状況：本館 3 階に図書館ラウンジ、女子トイレを設置し、学生に開放した。また、同 3 階の特別研究室 3 室をグループ学習室として、ホワイトボード等を設置し、学生に開放した。平成 28 年度の利用状況は平成 29 年 2 月までで延べ 1,318 名、655.5 時間であった。なお、3 階には「図書館ラウンジ」、「女子トイレ」が新設され、利用環境を充実させた。(達成度：A)
- 事業計画：キャンパス施設整備計画
進捗状況：キャンパス施設整備計画並びに修繕計画の策定を行い、教学及び管理運営の将来計画との整合性を図り、より良い教育研究環境を提供するための基礎作りができた。(達成度：A)

【学部】

- 事業計画：転科試験の実施
進捗状況：平成 28 年度転科試験において志願者 3 名中(数理情報工学科からマネジメント工学科への転科 1 名、電気電子工学科から数理情報工学科への転科 1 名、建築工学科からマネジメント工学科への転科 1 名)2 名(数理情報工学科からマネジメント工学科への転科 1 名、電気電子工学科から数理情報工学科への転科 1 名)が合格した。(達成度：A)
- 事業計画：教学 IR の整備及びデータ分析結果に基づく実効性ある教学施策
進捗状況：過去 10 年間の学生の属性、成績データ等に基づき、退学・除籍に関する基本的な集計結果や退学・除籍に影響を与えている要因の分析を行った。(達成度：A)
- 事業計画：全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎」の推進・検証
進捗状況：平成 29 年度のカリキュラム改正において、全学共通初年次教育科目(「自主創造の基礎 1」と「自主創造の基礎 2」)を設置した。(達成度：A)
- 事業計画：学部間連携(生産工学部・商学部)授業プログラムの実施
進捗状況：平成 28 年度は、プログラム受講希望者の中から 83 名を選抜しプログラムを実施。本プログラムの受講により、事業継承者、企業家をめざす人材に必要な力の醸成を図った。(達成度：A)
- 事業計画：修学支援の充実による学生数の適正維持に向けた取組(退学率、卒業延期者削減に向けた取組)
進捗状況：「出席管理システム」「学生カルテシステム」により、日頃の学生指導において父母との連携を高めた上で、4 月と 10 月実施の父母懇談会において、両システムを活用し、退学及び卒業延期の可能性が高い学生の父母へ対応を行った。(達成度：A)
- 事業計画：入学前教育の実施
進捗状況：ステップアップ数学プログラム(通信教育プログラム、2 月トレーニング講座、3 月スタートダッシュ講座)を実施し、入学時のつまずきの更なる低減を図った。(達成度：A)
- 事業計画：JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応
進捗状況：平成 28 年度に JABEE 認定を受けている 4 コースが認定継続審査申請を行い、審査の結果、JABEE 認定技術者教育プログラムの継続認定を受けた。(達成度：A)
- 事業計画：新入生に対する学外オリエンテーションの実施

- 進捗状況：平成 28 年度は 4 月中に全学科が学外オリエンテーションを実施した。全学科の参加者は約 98%を上回り、学生相互及び教職員との交流を深め、帰属意識の高揚を図ることができた。学生生活を送る上での契機として機能している。
(達成度：A)
- 事業計画：グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム(GLO-BE プログラム)の実施
進捗状況：平成 28 年度は、プログラム受講生(1 年生：51 名、2 年生 45 名)に単なる英語運用能力の向上を目指すだけでなく、①英語を使ってコミュニケーションすることへの抵抗感の低減と自信の醸成。②これからのグローバル社会で何が必要かを認識する意識付け。③工学を活かすグローバル教育。④工学的発想による協働的課題解決能力の養成を軸にしたグローバル教育を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：課外活動への経済支援
進捗状況：サークル活動助成として、基本助成金(一律 3 万円)を 55 団体に総額 165 万円を支給した。また、27 万円を上限とした特別助成金を 39 団体に総額 500 万円を支給した。また、特定行事助成金として 2 団体に 60 万円を支給した。
(達成度：A)
- 事業計画：内規・要項で定めている独自の奨学制度による積極的な奨学支援
進捗状況：学部生・大学院生の 50 名に 1,950 万円(生産工学部第 1 種奨学生 9 名、生産工学部第 2 種奨学生 9 名、生産工学部第 3 種奨学生 2 名、生産工学部校友会奨学生 15 名、博士後期課程進学者奨学生 15 名)を給付した。(達成度：A)
- 事業計画：学生の学びの質と水準の保証
進捗状況：「プレースメントテスト」「TOEIC-Bridge テスト」「学力テスト」「学修到達度確認試験」「TOEIC-IP テスト」を実施し、基礎学力、学修到達度及び英語コミュニケーション能力の把握を行った。(達成度：A)
- 事業計画：学生相談支援体制の強化
進捗状況：カウンセラーの派遣は津田沼キャンパスに週 4 日、実籾キャンパスに週 1 日である。インターカー認定者増員のため、日本大学学生相談研究会に教職員の積極的な参加を促し、潜在的なクライアントの早期発見・対応への体制強化を図っている。(達成度：A)
- 事業計画：留学生研修旅行の実施
進捗状況：今年度参加者は留学生 32 名、教職員 9 名で実施。「衣・食・住」をテーマとした研修で世界遺産の見学、紙すき及びそばうち体験を通して、日本文化を学ぶことができた。また、宿泊を伴う研修旅行のため、参加者同士の親睦を深め、退学・除籍者数の削減を図ることができる。(達成度：A)
- 事業計画：学生ものづくりプロジェクトの実施
進捗状況：平成 28 年度は新規プロジェクトとして 1 件採択。本プロジェクトを通じて、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)主催の「種子島ロケットコンテスト 2017」に出場。経験と実績を積むことができた。(達成度：A)
- 事業計画：生産工学部就職セミナーの実施
進捗状況：3 日間で 489 社が参加し、具体的できめ細かい面談が行われた。また、就職セミナー対策として、研究講座を事前に開催した結果、セミナーへの参加意欲が高まった。(達成度：A)
- 事業計画：公務員試験支援センターによる公務員志望者の支援
進捗状況：9 月に実践講座、2 月に直前講座が行われ、30 名程度の学生が受講し、今後実施される選考の準備を整えた。
(達成度：A)
- 事業計画：地方就職を主としたブースの設置等の情報提供
進捗状況：平成 28 年度は静岡県の U・I ターンサポートセンターの職員を就職セミナーに招いた。静岡県での就職に興味のある学生が多く足を運び、当該県への就職意欲が高まった。(達成度：A)
- 事業計画：キャリアデザイン講座の連携構築
進捗状況：正課授業としての講義と生産実習(インターンシップ)との連携により、就職に対する学生の自覚を促し、人材育成が図られた。(達成度：A)
- 事業計画：生産実習の実施
進捗状況：仕事を実際に体験することで、理論と実践の相乗的な教育効果が得られ、社会人基礎力の向上が図られた。また、学部と企業との良好な関係構築にも寄与した。(達成度：A)
- 事業計画：各種就職対策講座の実施
進捗状況：企業の採用スケジュールに対応した講座を、体系的かつ具体的に実施することにより、学生の就職活動の効果的な支援が達成された。(達成度：A)
- 事業計画：女子学生向け就職対策講座の実施
進捗状況：女性講師を招き、女性ならではの視点で講座を実施し、さらに化粧品会社からも講師を招いてメイクアップ講座を実施した。学科を問わず多くの女子学生が参加し、好評を得た。(達成度：A)
- 事業計画：公開講座・公開セミナーの開催
進捗状況：公開講座では①『防災講座 2016』、②『サウンドスケープにおけるバリ島のガムラン音楽』、③『もしもの時に備えて、通院・入院医療費から在宅医療・訪問看護まで、医療費の仕組みを学んでみませんか?』、④『modern 書 art は人の心を優しく包む』の 4 講座を、公開セミナーでは①『パソコン入門講座』、②『生涯スポーツ(ゴルフ)』、③『ロボットで遊ぼう』、④『生涯スポーツ(水泳)』、⑤『少年野球教室』の 5 セミナーを開催した。
(達成度：A)
- 事業計画：近隣住民への図書館開放

- 進捗状況：平成5年度から実施し、市内在住・在勤で18歳以上の方へ資料の閲覧等のサービスを提供しており、年々利用者も増え浸透してきている(達成度：A)
- 事業計画：地域ボランティア活動の拡充
進捗状況：学生の消防団入団や近隣ボランティア活動により、地域への貢献活動(達成度：A)
- 事業計画：習志野市との包括協定等に基づく地域・社会貢献活動の推進
進捗状況：習志野市と市内3大学の学生が協働して「学生のための習志野活用ガイドブック」を作成し、習志野市を広く紹介する活動を行った。(達成度：A)
- 事業計画：地球温暖化防止への取組
進捗状況：クールビズ・ウォームビズ対策を積極的に実施し、節電対策を強化したことにより、熱・電気等のエネルギー使用量を削減した。また、照明器具の即時点灯による作業の効率化等により電気使用量が抑制され、省エネ効果が得られた。(達成度：A)

【大学院】

- 事業計画：学生数の適正維持(大学院進学説明会の実施、各種パンフレットの大学院項目の拡充等)
進捗状況：大学院説明会を年2回(4月・10月)実施した。また、博士後期課程学生への学費等の支援体制として「博士後期課程への進学者に対する奨学金」を新規に設立した。外国人留学生確保の施策としては、英文の大学院パンフレットを関東近県の日本語学校へ送付した。(達成度：A)
- 事業計画：学位の質保証に係る取組
進捗状況：博士前期課程においては、全専攻共通のコースワーク科目である生産工学特別演習において、体系的な学生の指導を複数教員で行った。博士後期課程においては、平成28年度も指導教員に複数の副指導教員を加えた指導体制で研究指導を行った。(達成度：B)
- 事業計画：特色ある教育の実施
進捗状況：平成28年度は生産工学特別演習の受講者10名で6テーマ、6チーム構成で演習を実施した。また、生産工学特別実習は、国内における実習が8名(企業・研究機関等)、国外は5名(中国科技大學)を実施した。(達成度：A)

【研究所】

- 事業計画：研究基盤の強化(リサーチ・センターの再編及び研究所共用研究機器の新規導入・更新)
進捗状況：リサーチ・センター1件、リサーチ・グループ3件等計6件の研究活動費や環境整備等を支援した。それぞれ積極的に外部資金を獲得したほか、成果をシンポジウム等のアウトリーチ活動で発信した。(達成度：A)
- 事業計画：研究成果の積極的発信報告書の刊行及び研究発表のサポート
進捗状況：所報を12月及び3月に、研究報告Aを6月及び12月に、研究報告A(別冊)を6月に、研究報告Bを6月に刊行し、国内外の研究機関に送付した。また、5名の研究者に研究成果発表に係る経費の補助を行った。(達成度：A)
- 事業計画：学術講演会の開催
進捗状況：12月に津田沼校舎で開催。生産工学部専任教員・大学院学生、学外研究機関所属者等により、分野別で330余件の研究発表が行われた。(達成度：A)
- 事業計画：学協会賞等受賞研究者への生産工学部学術賞の授与
進捗状況：学会賞等を受賞した専任教員11名に生産工学部学術賞を授与した。(達成度：A)
- 事業計画：委託・共同研究の受入れ
進捗状況：委託・共同研究の受入れ状況は、平成29年3月22日現在で、受入れ件数約69件(契約額約11千万円)であった。(達成度：A)
- 事業計画：研究・技術交流センターによる産官との研究・技術交流
進捗状況：随時企業等からの技術相談を受け委託・共同研究等の締結につなげたほか、広報誌「CERT REPORT」の刊行、「千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2016」への参加等を通じ、産官学連携を推進した。(達成度：A)

工学部、工学研究科

【学部】

- 事業計画：学生生活環境の安全・安心の確保
進捗状況：①定期的にホームページにて公開している。なお、上水道や学食提供品の放射性物質濃度は検出限界値未満である。
②防災マニュアル配付により、災害発生時には安否報告を専用メールアドレス、もしくは書面にて報告するよう指導し、防災訓練においてテスト訓練も実施している。
③非常食の購入数を増やし、全学生数分を備蓄することができた。また、各所にレスキューロッカーを配備し、災害に備えている。(達成度：A)
- 事業計画：21世紀の社会が必要とする分野を担う学科設立の検討
進捗状況：①学部長からの諮問に基づき、VISION2020検討委員会において検討を重ね、学部長に答申し、「設置、名称変更及び収容定員変更等の計画」において本計画は中断として、大学本部に対し、回答したことにより終了した。
②授業評価アンケートを基に、改善の乏しい教員に対し、学務担当・学科主任の面談指導を複数名の教員に対し実施した。また、平成29年度より学修指導室を設置し各学科の専任教員を配置し、学生の自主的学修のサポート体制強化を行う。(達成度：B)
- 事業計画：人材の養成(A)－設置科目等の検討
進捗状況：①教学に関する基本方針に則り検証し、工学系基礎科目の充実と専門科目への連携を考慮した科目配置による体系的なカリキュラムとして平成29年度カリキュラムの策定を行った。
②工学系基礎科目及び国語・英語についてプレースメントテストを新入生に対し実施した。
③試行的に実施していた、内容を検証し、平成29年度カリキュラムにおいて正規科目として前学期に自主創造の基礎1、後学期に自主創造の基礎2を各学科の1年次に設置した。(達成度：A)
- 事業計画：人材の養成(B)－資格取得科目の強化
進捗状況：①教職課程履修開始学年を1年次後学期に変更し履修の機会を確保するとともに、学生の自主的学修及び進路指導強化のため教職課程学修支援室を設置し、採用試験対策を含め実践的な指導体制を整備した。
②本年度末に本学部初の国家試験受験対象者となる4年次生に対し、試験対策として特別補講授業を開講した。
③例年通り、希望者に対して講座を開講したが、受講者が年々減少しており、次年度からの中止を決定した。(達成度：B)
- 事業計画：高大連携の推進
進捗状況：①2年生生理系クラスの生徒を対象とし各学科及び総合教育の専任教員による講座を設定し、大学における授業の疑似体験の機会を提供した。受講生からは進路を決めるきっかけとなったとの声もあり、好評であった。
②福島県内の連携高校の生徒を対象とし各学科及び総合教育の専任教員による講座を設定し、大学における授業の疑似体験の機会を提供した。実施後のアンケートでは、受講生及び高校教員からの評価は高かった。(達成度：A)
- 事業計画：工学部独自の奨学金制度の整備・拡充
進捗状況：学費支弁が困難な学生支援を目的に、父母会・校友会奨学金(給付、貸与)規程について、給付者数の増員、貸与条件の拡充、給付金額の増額支給ができるよう改正を行った。(達成度：A)
- 事業計画：人材の養成(C)－教育システムの構築
進捗状況：平成29年度カリキュラムにおいて、1年次に工学系の基礎科目についての導入科目を必修科目として設置し、基礎力を修得させる科目を1年次に配置し、専門科目の学修へスムーズな移行ができるよう、各学年の配置科目も見直した。(達成度：A)
- 事業計画：学生支援の推進
進捗状況：サークル統括組織が中心となって体育祭やサークル勧誘などの大学行事を運営することにより、自分で考え行動する力を養うと共に、クラブ活動の活性化を図った。(達成度：A)
- 事業計画：グローバルなエンジニアの育成
進捗状況：第3回海外語学研修(英語)プログラムを平成28年8月20日～9月4日にて、第46回ヨーロッパ研修旅行を平成29年2月18日～3月3日の期間に実施し、世界観の涵養に努めた。(達成度：A)
- 事業計画：学生生活に係る諸施設・キャンパスの充実
進捗状況：学生寮開寮により入学時の経済負担を軽減し、喫煙所の縮小により受動喫煙防止に努め、スカイレストランの運営業者を変更し、メニュー選択の幅を広げる等充実を図った。(達成度：A)
- 事業計画：課外講座の充実
進捗状況：就職ガイダンスは延べ4,333名が受講した。就職試験対策はS P I試験など14回開講し延べ1,355名が受講した。公務員試験対策は延べ717名が受講した。各講座の全受講者数は前年と同程度であった。(達成度：A)
- 事業計画：職業適性の把握
進捗状況：就職ガイダンスと就職試験対策講座により学生の職業適性の確認及び職業意識育成を図った。ガイダンスで職業適性の確認ができるインターンシップの有用性を説明しインターンシップ参加者は前年を上回った。(達成度：A)
- 事業計画：多分野への就職を可能にする教育
進捗状況：就職ガイダンス、就職試験対策講座、公務員試験対策講座、教職講座を通年開講し、企業・公務員・教員などの多分野への就職を可能にする教育を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：工学部校友会連携による就職支援システムの構築
進捗状況：工学部の求人情報システム(CSNav)に工学部校友会各支部の求人情報入力し、平成29年3月から学生への情報提供を開始した。(達成度：A)

- 事業計画：U・I ターンへの促進に向けた地方公共団体等との連携の構築
進捗状況：日本大学と福島県との就職支援協定に基づき、日本大学U・I ターンイベントとして県内企業の職場見学会を工学部と福島県が連携して企画・実施した。全学科でほぼ募集定員の参加者があった。(達成度：A)
- 事業計画：FDの活用
進捗状況：FD(教育改善)の活性化を図る組織の検討と授業評価の活用を図る。
進捗状況：本部主催のFD 関連研修会へ派遣を行うとともに、授業評価アンケートを基に、授業改善の指導を行い、改善の見られない教員に対する面談指導体制を構築した。また、各授業のシラバスの教員相互によるチェック体制も強化した。(達成度：A)
- 事業計画：復旧・復興活動支援
進捗状況：福島県内大学等復興支援センター連絡会において「ロハスの工学シンポジウム」について報告され、工学部の復興に寄与している功績が高く評価されている。(達成度：A)
- 事業計画：省エネルギー化の促進
進捗状況：事務各課におけるノー残業デーの実施、夏季軽装の励行、照明の間引き、長期休業中の70号館の利用制限等を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：広報活動の充実・拡大
進捗状況：学校紹介DVDの作成及びホームページへの動画掲載、テレビCMの放映、雑誌、駅、空港への広告掲載など、認知度向上のため様々な取組みを行った。(達成度：A)
- 事業計画：入試広報の充実
進捗状況：今年度作成した学校紹介DVD、Web、雑誌等での入試広報、オープンキャンパス・高校訪問・全国各地の進学相談会参加について見直し、今まで訪問していない地域への訪問を実施し、志願者数等の確保に努めた。(達成度：B)
- 事業計画：中長期入試戦略の構築
進捗状況：入学定員管理の厳格化に伴い、安定した入学者数を確保するため、入試日程及び試験科目の見直しを実施した。今後地方試験会場の見直し、出題方法等について検討し更なる戦略の構築を行う。(達成度：B)
- 事業計画：教員組織の適正化
進捗状況：平成29年度カリキュラム改訂に伴い、カリキュラムポリシーに沿った授業内容の充実と的確な授業科目の配置を考慮し、専任教員及び非常勤講師の配置等の見直しを行った。(達成度：A)
- 事業計画：ネットワーク環境整備
進捗状況：平成28年4月に負荷分散装置を設置し、学生が利用する演習系ネットワークからのデータ通信をフレッツ回線に向けたことで、帯域飽和状態が改善された。(達成度：A)
- 事業計画：本部の総合運用制度の積極的活用
進捗状況：財政基盤再構築を目標に掲げ、本部の特定目的引当特定資産へ3億円を9月末に繰入れた。また3月に追加で3億円を繰入れる予定である。(達成度：A)
- 事業計画：財政基盤の強化
進捗状況：①決算見込みでは約2,500万円の収入超過であり、6億円を特定目的引当特定資産として繰入れ、平成26年度から累計16億円に達した。
②退職給与引当特定資産不足額負担金の大幅な増額により、消費支出比率は予算ベースでは103.27%であったが、決算見込みでは103.02%となっている。(達成度：B)

【大学院】

- 事業計画：博士前期・後期課程における収容定員の充足
進捗状況：定員充足率向上のため、平成28年度学部内選考の出願基準を緩和した。また、大学院進学者確保のため、学部4年次に大学院進学ガイダンスの実施を各学科に義務付け、PR用パンフレットを作成し学生及び父母に配布した。(達成度：B)

【研究所】

- 事業計画：研究成果の結実
進捗状況：地域機関との共催による技術者養成講座の開講や大学本部知財課との連携により、ものづくり系の新事業創出を支援している。(達成度：A)
- 事業計画：外部研究資金の積極的獲得
進捗状況：科研費の交付内定者が昨年度に52件で過去最高となり、今年度も新規16件を含め交付内定者が51件を数え安定的に推移しており、他の外部研究資金の獲得についても同様に推移している。(達成度：A)

医学部， 医学研究科， 附属看護専門学校

【学部・研究所共通】

- 事業計画：海外の大学・研究機関との交流に基づく国際化の推進
進捗状況：海外の大学・研究機関との相互訪問による研究交流基盤を構築しつつあり，グローバル研究への伸展も期待できるようになった。(達成度：A)
- 事業計画：外国人研究員の受入れによる国際的研究交流の推進
進捗状況：本学研究者制度等の活用による外国人研究者の受入れに加え，JSPS 外国人特別研究員の 継続採択があり，国際的研究交流を持続的に推進することができた。(達成度：A)
- 事業計画：外部資金・公的研究資金の獲得を意識した研究活動
進捗状況：公的資金の獲得増につながり，研究活動の更なる活性化が図られた。(達成度：A)
- 事業計画：戦略的研究基盤形成支援事業の遂行による先端的医学研究の実践
進捗状況：戦略的研究基盤形成支援事業として継続の3 課題によるプロジェクトを遂行して，更なる研究拠点の基盤が整備された。(達成度：A)
- 事業計画：大学の総合性を活かした研究プロジェクトへの参画
進捗状況：学術研究助成金及び学長特別研究が採択されたことにより，学部間連携に基づく学際的研究を遂行することができた。(達成度：A)
- 事業計画：研究倫理教育における e-Learning の導入及び推進
進捗状況：大学として組織的な体制整備の中で e-Learning が推進されたことにより，研究倫理教育に係る e-Learning の定着が図られた。(達成度：A)
- 事業計画：研究活動の更なる活性化に向けた医学研究支援部門における利用環境の充実
進捗状況：新たに共用機器等を整備し，日本大学全体として利活用できる共同利用研究施設を目指した利用環境を整備することができた。(達成度：A)
- 事業計画：研究所紀要を通じた研究成果の持続的公開に関する検討
進捗状況：研究所紀要及び研究所で実施している研究プロジェクト概要等を継続的にホームページに掲載したことにより，研究成果等の情報発信を定着させることができた。(達成度：A)
- 事業計画：技術移転の促進に向けた NUBIC との更なる連携
進捗状況：NUBIC との継続的な連携を図りつつ将来的な応用・実用化に向けてインタラクティブに検討している。(達成度：B)
- 事業計画：産官学連携の活性化のための寄附講座及び共同研究・受託研究の推進
進捗状況：企業等との共同研究・受託研究の継続的な受入れに加え，寄附講座の新規設置並びに設置期間延長したことで，産官学連携が更に活性化された。(達成度：A)

【学部】

- 事業計画：国際的な質保証(分野別認証評価)への対応
進捗状況：平成 28 年に新たな教育理念を掲げ，3 つのポリシーとそれに基づく各学年の到達目標を定めた。また，教学 IR(Institutional Research)の確立のため，「IR・医学教育センター」を設置した。「医学教育分野別認証評価基準」に基づく認証評価の審査を平成 33 年に受審予定である。(達成度：A)
- 事業計画：一定の評価に基づく教学施策策定の取組み
進捗状況：平成 28 年に医学教育企画・推進室を名称変更し，「IR・医学教育センター」を配置した。学部内の様々な部局で管理保管する多種多様の情報を集めて分析し，その結果を反映させて，教学の改革に結び付けていく。(達成度：A)
- 事業計画：臨床実習の充実
進捗状況：6 年次選択臨床実習では，学務委員会を中心に関連病院と連携し充実を図っている。新カリキュラムに向けた指導体制も学務委員会を中心に進め，学務委員会 FD 小委員会とも連携を図っている。(達成度：A)
- 事業計画：医学英語教育の充実
進捗状況：正課外で英語に触れる機会を増やし，医学英語学習のモチベーション向上への一助として昼休みに英語のみで交流をする「All English Salon」及び TOEFL iBT, TOEFL ITP テスト対策講座も開設した。また，平成 29 年度から 1 年生を対象に TOEFL ITP テストを実施することとした。(達成度：A)
- 事業計画：医学部特定医療奨学金など奨学金等制度の整備
進捗状況：昨年整備された経済困窮学生を対象とした奨学金について，平成 28 年度に 6 年の学生から申請があり，教育ローンと連携して奨学金の給付を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：学生サークル活動の一環として保育園・幼稚園での保健教育活動を実施
進捗状況：近隣の保育園及び幼稚園並びに学園祭の企画において，子供達に医療に対する親しみと健康に対する意識を育み，また保護者に対して，食育や小児保健教育の普及にも努めた。(達成度：A)
- 事業計画：徳澤診療所における奉仕活動
進捗状況：7 月 17 日から 8 月 21 日にかけて，徳澤診療所を開設し登山者の傷病対応の補助を実施し，昨年は北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会から感謝状を授与された。(達成度：A)
- 事業計画：学園祭企画で，来場者への健康チェック及び救命処置の体験
進捗状況：翠心祭企画(1 日総合病院)の参加者 277 名に各種健康診断検査を実施した。また，一次救命措置の手技や AED の操作体験ブースを設け，救命処置の普及に努めた。(達成度：A)
- 事業計画：志願者増を図るための事業計画
進捗状況：オープンキャンパスをはじめ，資料参加も含めた各種相談会(39 会場)に参加し入学希望者との接触を図っている。継続して入学希望者と接触を図り志願者増に繋げる。(達成度：A)

- 事業計画：入試制度の見直し
進捗状況：平成 29 年度入試から面接試験の体制を見直した。また、平成 30 年度入試から N 方式の募集人員を 3 名から 10 名に変更し、さらなる入学者の多様化を図る。(達成度：A)
- 事業計画：寄付金の積極的募集
進捗状況：3 月 10 日現在で新入生父母より 1 億 1,840 万円、在学生父母より 8,351 万円、同窓会員より 2,890 万円の寄付があり、予算目標額 3 億円の約 77%に達した。(達成度：B)

【大学院】

- 事業計画：横断型医学専門教育プログラムの充実
進捗状況：日本専門医機構が整備中の新専門医制度を踏まえて、プログラム及びコース内容の見直しを図る。(達成度：B)
- 事業計画：研究の進捗状況に関する中間評価システム導入の検討
進捗状況：平成 28 年に本件における検討委員会(大学院中間発表に関する委員会)を立ち上げ、委員会を開催した。今後、研究委員会とも連携し、中間評価システム体制の構築を図る。(達成度：A)
- 事業計画：ファカルティ・ディベロップメント(FD)への対応
進捗状況：平成 28 年度は、研究委員会及び FD 小委員会と連携し、「若手研究者のための公的研究費の獲得戦略」及び「アカデミック・ライティング」に関する 2 回のワークショップ(講演形式)を実施した。今後も継続的に実施していく予定である。(達成度：A)

【大学院】

- 事業計画：基礎学力向上の取り組み
進捗状況：学年・学習目標達成に向けた「指導内容及び計画」を策定し、成績低迷者への学習及び補習講義を計画的に行った。その結果原級留置者の減少につながった。(達成度：A)
- 事業計画：基礎看護技術力の維持・向上の取り組み
進捗状況：担当教員の指導を年間学習計画表に基づき行い、その成果として看護技術試験全員合格という結果につながっている。看護技術の維持・向上のため今後も継続していく。(達成度：A)
- 事業計画：授業改善計画に基づく対応
進捗状況：授業評価に基づく授業改善計画を教員で共有し改善点を明確にしている。今後は、アクティブ・ラーニングによる主体的授業の実施展開に向け課題を明確にしていく。(達成度：B)
- 事業計画：東京都補助金の獲得による実習機材の充実
進捗状況：今年度も私立専修学校教育環境整備費助成事業(公益財団法人東京都私学財団)により教育環境の整備を図ることができた。(達成度：A)
- 事業計画：卒業時の看護技術到達度の経年評価
進捗状況：実習での経験状況及び学生の技術到達度を経年的に評価し、卒業時の必要な技術到達度を確認している。その結果から技術習得を促すため、技術教育内容検証のため継続していく。(達成度：B)
- 事業計画：FD への取り組み
進捗状況：外部講師を学内に迎え(年 2 回)全教員参加の研修を行うことで教員の教育力向上につながっている。今後も多様な背景を持つ学生への効果的な指導方法に向けた研修を企画していく。また、教員ラダーに基づく目標達成に向け個々が積極的に学会・研修に参加し、教員能力の向上につとめている。(達成度：A)
- 事業計画：看護学科の新設に向けての取り組み
進捗状況：平成 27 年度に医学部看護学科設置検討委員会を、同 28 年度には理念検討ワーキンググループを発足し、実現化に向け、積極的に検討を行っている。(達成度：B)
- 事業計画：本校外の日本大学の部科校等での講義(附属病院臨床指導者勉強会、日本大学通信教育部)
進捗状況：医学部附属板橋病院及び日本大学病院の実習指導者に対する講義を年間 4 回行い、本校の教育方針・目標の理解が深まり、充実した実習指導につながっている。また、教員を目指す通信教育部の学生に対して介護体験等の事前指導講義を年 2 回行っている。(達成度：B)
- 事業計画：東京都看護教員養成研修事業(講義・看護教育実習生受け入れ)
進捗状況：今年度も看護教員養成研修事業の一環として研修生の講義・指導にあたり、社会的な貢献もさることながら、自身の看護教育の再確認ができた。(達成度：A)
- 事業計画：看護教員の研修制度を構築する
進捗状況：今年度、教務主任研修を修了した専任教員が 12 月から本校に復職し、現在、積極的に学務主任としてその業務にあたっている。しかしながら、看護教員採用に向けての受講制度の構築がまだ検討中であるため、専任教員の年齢構成の適正化を図るまでには至っていない。(達成度：C)
- 事業計画：入学試験の志願者増を図る(入学試験制度の見直し)
進捗状況：今年度から一般入学試験(I 期)及び同(II 期)で学科試験科目の見直しを図ったため、一般入学試験(I 期)では志願者数が 42.7%増となった。(達成度：A)
- 事業計画：附属高校進学相談会のみならず日本大学短期大学部及び文系学部への広報活動
進捗状況：附属高等学校を始めとした年間約 20 校の学校説明会、その他業者主催の説明会にも参加し、志願者の増に努めている。短期大学部や文系学部に学校案内等を配布しているが、今の所大きな結果は得られていない。(達成度：B)
- 事業計画：臨床と連携した学校説明会
進捗状況：病院から教育担当看護師を招聘し、臨地実習の概要について、志願者及び保護者に対し講演を行った。また、今年度から学校説明会の内容を学生本位のものに全面的に見直しを行った。(達成度：A)

歯学部、歯科学研究科、附属歯科技工専門学校、附属歯科衛生専門学校

【学部・大学院・専門学校共通】

- 事業計画：奨学金給付制度の充実(学部・大学院・専門学校)
進捗状況：佐藤奨学金により、第1種学生、32名(学部26名、歯科技工専門学校2名、歯科衛生専門学校4名)、第2種奨学生5名(学部5名)、第3種奨学生8名に合計5,252,000円を給付した。歯科衛生専門学校では、平成26年度から第3学年を対象とした同窓会奨学金を実施しており、2名に5万円ずつ給付した。(達成度：A)

【学部・大学院共通】

- 事業計画：教学推進センターの設置
進捗状況：歯学教育の分野別認証評価の受審に向けて、評価の対象や内容等を参考に準備を行い、改善すべき課題を抽出し、適宜対応・検討を行っている。(達成度：B)
- 事業計画：歯学部同窓会奨学基金(第3号基本金)の充実
進捗状況：組入計画に基づき、500万円を基金に組み入れた。(達成度：A)

【学部】

- 事業計画：全学共通の初年次教育の導入
進捗状況：多様な学生とのふれあいやグループワークでの協働を通じ、コミュニケーション力の向上及び授業への積極的参加姿勢を育成することができた。(達成度：A)
- 事業計画：歯科学統合演習の全学年配置
進捗状況：この配置により、学生の当該学年における学修到達度を測ることができ、本学部の教育目的及び教育目標に掲げる歯科医師を育成していくことができた。(達成度：A)
- 事業計画：地域住民等を対象とした公開講座の充実
進捗状況：講演テーマ及び参加者数は「入れ歯と上手につきあうために」(平成28年6月実施、参加人数157名)、「お口の健康を保って、健康寿命を延ばそう！ープロが教える入れ歯との正しい付き合い方ー」(平成28年11月実施、参加人数108名)で、聴講した参加者から好評を得た。(達成度：A)
- 事業計画：歯科医療従事者等を対象とした生涯学習講演会の充実
進捗状況：講演会は「歯科医師の法的責任と医療事故調査制度について」(平成28年10月実施、参加人数35名)、「摂食嚥下障害・要介護高齢者への口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション」(平成29年2月実施、参加人数69名)を実施した。また、生涯研修講演として歯学部専任教員のプロフィール及び講演テーマをまとめた「生涯研修講演テーマ一覧」をホームページに掲載し、歯科医療従事者を対象に学習機会を提供している。(達成度：A)
- 事業計画：歯学部新校舎新築工事
進捗状況：平成27年2月から始まった新築工事の1期工事は、現在、一部残っている躯体の解体と平行して4階鉄骨建方工事が行われている。(達成度：B)

【大学院】

- 事業計画：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成)
進捗状況：抜去した歯の歯髄神経から下歯槽神経切断ラットの治癒の亢進に關与する可能性のあるiPS細胞の樹立に成功した。さらにより効率的な損傷神経再生を促す培養細胞の開発を進め、人間への応用を視野に入れた投与方法の開発における基礎データの集積を進める。(達成度：B)

【専門学校共通】

- 事業計画：入学志願者増加対策
進捗状況：学校訪問の時期を早め、73件の学校訪問を行った。また、ブログ等で、歯科技工の仕事内容や技工士学校での学生の様子などを紹介した。(達成度：B)

【歯科技工専門学校】

- 事業計画：歯科技工教育の大綱化に伴うカリキュラムの改定等
進捗状況：新カリキュラムを作成し、学則改正の準備を整えて、待機している。(達成度：B)

【歯科衛生専門学校】

- 事業計画：千代田区の小学校等と連携した校外教育の実施
進捗状況：練馬区、千代田区の小学校6校の4年生と6年生を対象に、咀嚼学習指導を実施。千代田区の幼稚園4園にて園児にブラッシング指導を、保護者に対し歯科保健指導を実施。(達成度：A)

松戸歯学部，松戸歯科研究科，附属歯科衛生専門学校

【学部・大学院・専門学校共通】

- 事業計画：教職員・学生等への節電・節水の啓蒙

進捗状況：外室時の消灯，マイハンカチ利用，階段利用の励行を加え，教職員・学生ともに節電・節水に協力し，今年度の電力使用量は，前年度に比べ削減できている。（達成度：A）

【学部・大学院共通】

- 事業計画：FD 活動の充実

進捗状況：年間を通して学内教員向けの FD 教育講演会を 3 回開催。また，外部講師を招聘しさまざまなワークショップ等を数回開催。併せて，学務を担当する教員には積極的に外部の教育講演会等へ参加を要請。継続した FD 活動により着実に学内教員のレベルアップにつながっている。次年度実施の大学院シラバスの第三者評価の実施に備え，チェック項目等の検討を終わらせた。（達成度：A）

- 事業計画：世界で活躍できる若手研究者の育成

進捗状況：優秀論文賞受賞者による講演会，海外研究者による特別講義 3 件を開催。大学院生，若手教員 2 名が海外留学を体験。国際学会を含め 16 件の学会賞・論文賞を受賞。（達成度：B）

- 事業計画：若手研究者が自立して研究できる環境の整備

進捗状況：本学部ホームページに付置研究所の研究施設等に設置されている機器の一覧を公開。学内向けサイトには責任者を明記し，共同利用環境の整備を図った。（達成度：A）

- 事業計画：国内外の学術誌への論文掲載数の増加

進捗状況：優秀論文賞は従前どおり募集し，授賞した。研究支援費については，より効果的な支援を模索するため，今年度の給付は見送り，その代替として研究成果等発表・出版にかかる助成を行った。（達成度：B）

- 事業計画：発表した論文等の被引用数の増加

進捗状況：外部競争的資金獲得を目的とした学部内セミナーを開催，また，本学部ホームページに産官学連携の案内ページを開設した。（達成度：B）

【学部】

- 事業計画：特別研究生制度の充実

進捗状況：歯科医師国家試験が不合格になってしまった既卒者への手厚いサポートは，松戸歯学部の特徴の一つとして，受験生の確保にも繋がっている。平成 28 年度は，在籍生は 2 名であり，2 名とも合格した。（達成度：A）

- 事業計画：教育・学修支援センターの本格稼働

進捗状況：学生個人のさまざまな情報をデータ化し，それらを解析。教員に学生個々への学修支援の資料として提供する。学生にもフィードバックし，自らの不得意分野を把握させ，勉学意欲を向上させるためのシステムを構築している。また，学内で作成した試験問題の内，良問を蓄積し国家試験対策用問題を作成している。学生に提供することで国家試験合格率向上を図っている。（達成度：A）

- 事業計画：生涯研修

進捗状況：今年度は 12 コースを開催し，受講者は累計 77 名となった。多くは同窓会を通じての受講者であるため，今後も同窓会との共催を続ける予定である。（達成度：A）

- 事業計画：公開講座

進捗状況：松戸市民大学講座と統合・充実させ，松戸市と共催による市民大学講座を 3 回実施し，延べ 181 名の参加があった。（達成度：A）

- 事業計画：松戸市子ども発達センター摂食指導

進捗状況：月に 2 回の頻度でこまめに摂食指導を行なうことで，対象児童の保護者からも好評を得ているため，地域医療に貢献できたものとする。（達成度：A）

- 事業計画：松戸市民大学講座

進捗状況：「お口の健康・からだの健康」と題して，教員を講師として一般向けの本学部講演会を 3 回実施した。（達成度：A）

- 事業計画：社会的課題解決のため，社会ニーズを捉えた産官学連携研究の推進

進捗状況：①外部競争的資金獲得の学部内セミナーを開催，研究用大型機器を導入。②受託研究，共同研究の新規受入れが 3 件，継続が 7 件。③本学部ホームページをリニューアル，千葉エリア産官学連携オープンフォーラムで学術研究成果展示を実施。④日本大学学部連携ポスターセッションに参画。⑤私立大学研究ブランディング事業「日本大学の総合力を活かした新たな癌対策の開発とその成果の発信」に参画・申請。（達成度：B）

- 事業計画：研究費の配分方法の見直し

進捗状況：学部内の競争的研究資金として共同研究費を公募，応募のあった研究計画のうち 2 件を選定し，研究組織に配分。（達成度：B）

【専門学校】

- 事業計画：入学者増加策の実施

進捗状況：平成 28 年度から A0 入試を導入し，早期に本校にて歯科衛生士を目指したいという高い志を持った学生の確保を図った。その結果，十分な成果を出し，従前からの入試区分での入学者を合わせ多くの入学者を得ることが出来た。（達成度：A）

生物資源科学部，生物資源科学研究科，獣医学研究科

【学部】

- 事業計画：教育研究施設設備の充実
進捗状況：キャンパスにおいて緊急性の高い校舎については着手し，それ以外については継続して実施する。また，伴侶動物舎（仮称）の新築工事が年度内に完成し，農場の整備を推進している。（達成度：B）
- 事業計画：入試制度等の改善・改革の推進
進捗状況：入学センターを平成28年4月に新校舎に移転し機能性を高めた。また，日本大学の統一入試（N方式）を一部の学科で導入するとともに，入学者選抜方法や編入学制度の改善に向けて取り組んでいる。（達成度：B）
- 事業計画：FD・SDの組織的な取り組み
進捗状況：FD研修会及びSD研修会を2回開催した。また，授業方法及びキャリア教育等については，現在学務委員会において現状を検証中である。（達成度：B）
- 事業計画：大型研究プロジェクトの検証と改善
進捗状況：現行の制度において，目標はほぼ達成できていると考えているが，平成29年度に向けては，さらなる研究活性化に繋げるため，制度の見直しを検討している。（達成度：A）
- 事業計画：西富士校地新実習棟（仮称）新築工事
進捗状況：新実習棟（実習・宿泊棟）が完成し，平成28年7月より使用を開始した。（達成度：A）
- 事業計画：学部教育の充実と学習支援体制の強化・充実
進捗状況：中高大連携教育のプログラムの充実を図った。また，付属高校を対象に入学前教育を実施し，一定の成果を得た。（達成度：B）
- 事業計画：フィールドサイエンス教育の充実
進捗状況：前年度より引き続き新たな自然科学教育を実践中である。（達成度：B）
- 事業計画：教員組織の整備充実
進捗状況：本学出身の教員採用及び年齢構成に配慮して，後継者の育成に向けた組織体制を計画的に構築している。また，各学科において教員組織5年計画を作成し，中長期的なビジョンに基づいて昇格・採用を行っている。（達成度：A）
- 事業計画：家畜（動物）病院の整備・充実
進捗状況：ANMECセミナーを開催し卒業・生涯教育が充実した。電子カルテ・診療機器の整備により診療頭数が増加し診療収入を確保した。診療機器の更新，薬品管理の徹底を図りたい。（達成度：B）
- 事業計画：生物資源科学部大森奨学金
進捗状況：11名の学生を採用し，学費負担者に対する負担軽減を行うことができた。（達成度：A）
- 事業計画：学術協定校との国際交流の促進
進捗状況：認定留学制度等の単位認定に係る学部内での取決めを改正し，基本的に学部で設置している全ての科目について読み替えを行い，単位を認定できることとした。（達成度：B）
- 事業計画：研究活動の活性化
進捗状況：研究事務課に隣接した研究支援センターが外部資金申請や特許申請等の相談窓口の役割も担い，研究施設整備のために間接経費を有効に利用している。（達成度：B）
- 事業計画：教育組織の見直し
進捗状況：カリキュラム改正や学科名称変更については，全学共通初年次教育科目の導入及び必修科目化を含めて，学務委員会において継続的に検討を行っている。（達成度：C）
- 事業計画：キャリア教育の具体化・推進と就職支援の強化
進捗状況：基礎専門科目の開講と履修拡大を行った。また，年間80項目以上の多様な行事（語学・公務員講座含む）を展開し，人事担当者の来校機会を拡大した。（達成度：B）
- 事業計画：研究業績評価等に基づく研究費配分方法の検証
進捗状況：この成果研究費制度は，約10年前に導入され，毎年学部研究委員会で見直しの議論はしているが，基準の改正は行われておらず，現在基準の改正に向けて検討中である。（達成度：B）
- 事業計画：生物資源科学部後援会奨学金
進捗状況：38名の学生を採用し，学業成績にとらわれず，修学の意志がありながら学費納入が困難で退学を余儀なくされる学生を減少させた。（達成度：A）
- 事業計画：学生サービスに供する情報提供等の電算化システム（第二次事業）
進捗状況：積極的な学習指導への転換や学生カルテ導入による情報の一元化，教学IRの整備等をコンセプトに，新しい学生支援システム構築の検討に入った。（達成度：B）

【大学院】

- 事業計画：大学院の改善
進捗状況：TAシステムの効率的運用や組織の改編，経済的支援の継続等について，学務委員会，研究委員会等の関係委員会において現在検討中である。（達成度：C）

薬学部, 薬学研究科

【学部・研究所共通】

- 事業計画：薬草教室, 薬用植物園公開
進捗状況：春と秋に薬草教室を開催し, 春は93名, 秋は95名の参加者があった。また, 公開講座, オフ・オンキャンパス等でも薬用植物園を公開した。(達成度:A)

【学部】

- 事業計画：公開講座
進捗状況：「口は健康への窓ー口腔ケアと健康ー」を演題として6月に開講し, 140名の受講者があった。(達成度:A)
- 事業計画：SDの取組
進捗状況：「改正労働安全衛生法によるストレスチェック制度のあらまし」, 「非正規雇用労働者への向き合い方について」を演題として8月10日(水)に専任職員を対象に実施した。(達成度:A)
- 事業計画：薬学教育評価(第三者評価)準備
進捗状況：平成29年度評価のスケジュールに従い, 資料の提出等の申請手続きを進めることができた。(達成度:A)
- 事業計画：地球温暖化防止の取組
進捗状況：空調設定温度を夏季28℃, 冬季20℃とし, 照明, パソコン, 家電製品等の不要時消灯を実施した。(達成度:A)
- 事業計画：エコキャップの回収
進捗状況：エコキャップの回収を継続している。(達成度:B)
- 事業計画：海外臨床実習実施に向けた研修
進捗状況：英国ポーツマス大学と覚書を締結し, 平成28年8月20日から8月30日(11日間)学生25名が参加して当該大学において研修を実施した。(達成度:A)
- 事業計画：学生ポートフォリオ(マイステップ)の導入
進捗状況：既存のLMSとの親和性, システムとしての柔軟性, 経済性を考慮しマイステップに替えて学生ポートフォリオ(マハラ)を導入した。平成29年度から運用を目指す。(達成度:B)
- 事業計画：入学前教育講座
進捗状況：平成28年3月28日から4月2日(6日間)薬学部校舎にて入学前教育講座を実施した。また平成29年3月27日から3月31日(5日間)の期間実施した。(達成度:A)
- 事業計画：薬剤師国家試験対策講座・模擬試験
進捗状況：従来の薬剤師国家試験対策講座に加えて, 5年生対象には夏期国家試験対策講座及び各期ごとに8日間3回講座を実施, また模擬試験後に解説講座を実施した。(達成度:A)
- 事業計画：CBT対策講座・模擬試験
進捗状況：従来のCBT対策講座・模擬試験に加え, 模擬試験を追加実施した。(達成度:A)
- 事業計画：海外客員教授招へい
進捗状況：平成29年1月5日から2月4日(31日間)当該大学名誉教授を海外客員教授として招へいした。(達成度:A)
- 事業計画：新入生オリエンテーション
進捗状況：学生生活ガイダンス等を計画どおり実施し, SNSに関する注意喚起を行うなど時代に対応した。昼食会は関係構築の場とすることができた。(達成度:A)
- 事業計画：抗体検査・予防接種
進捗状況：抗体検査を実施し, 反応に応じた指導を行い, 各病院での実習に備えることができた。流行に備えインフルエンザワクチン接種を実施した。(達成度:A)
- 事業計画：スポーツ大会
進捗状況：学生・教職員の日頃の運動不足の解消とコミュニケーションの促進, 帰属意識の向上と健康に対する意識を高めることができた。(達成度:A)
- 事業計画：スポーツ教室
進捗状況：親しみやすいスポーツを学生生活に取り入れ健康維持等のきっかけとすることができた。(達成度:A)
- 事業計画：学園祭
進捗状況：学術系, 音楽系サークルの発表・展示が活発に行われ, 来場者との交流により絆が深められた。また, 近隣へ学部の魅力を発信することができた。(達成度:A)
- 事業計画：学生書店選書ツアー
進捗状況：年2回実施し, 20名の学生が参加した。学生自身が図書館の本を選書し, ポップやポスターの作成を行うことで, 魅力ある図書館づくりの一步を踏み出した。(達成度:A)
- 事業計画：企業セミナー
進捗状況：原則として, 開催時期については, 採用の広報解禁直後に開催することで, 就職活動支援として早期に多くの企業・団体等の人事担当者と接する機会を提供することができた。(達成度:A)
- 事業計画：ランチョンセミナー
進捗状況：多くの企業・団体等の担当者から業界の動向, 企業・団体等の活動についての説明を聞ける機会及び学生が質疑応

答できる機会を大学内で提供することで、身近に将来の志望先を判断できる機会を確保できた。(達成度 A)

【研究所】

○事業計画：私立大学研究ブランディング事業申請

進捗状況：私立大学研究ブランディング事業に医療系7学部等で申請したが、不採択であった。引き続き次年度も「薬学部案」を本部に申請し、事業の実施を目指している。(達成度：B)

通信教育部

【通信教育部】

- 事業計画：スクーリング開講形態等の改善
進捗状況：東京の通信教育部で開講する授業を地方(大垣日大高校)にネット配信する「サテライトスクーリング」を開講した。中京圏在学生の旅費交通費の負担軽減に寄与した。(達成度：A)
- 事業計画：メディア授業の改善と科目の拡充
進捗状況：社会人学生や地方在住学生が、メディア授業だけでスクーリング単位を充足しやすい環境を整備すべく、新たに2科目2講座を開発した。(達成度：B)
- 事業計画：FD活動の実践
進捗状況：新たな試みとして、FD報告会・勉強会を年4回開催。FDに関する新たな問題や課題、通信教育部特有の問題や課題について、報告発表をもとに、検討した。(達成度：A)
- 事業計画：修学支援の充実
進捗状況：総合学修支援を年2回開催。教職員によるガイダンス、レポート指導、学修相談を行った。さらに、学修支援センターを校舎内に新設。職員が常駐し、常時相談できる体制を確立した。(達成度：A)
- 事業計画：就職支援のための各種支援策の実施
進捗状況：①近年、就職希望の新入生が増え、就職支援策の強化は必然であり、就職ガイダンスの参加者は毎回30名を超え、その意欲も高くなってきている。このため実施回数を増やし、きめ細やかなプログラムの提供をした。(達成度：A)
②4月から3月まで、毎週1回開室した。スクーリング開講期間以外も開室することで、3～4年生の就職を希望する学生に対し、継続的に柔軟な支援を実施した。(達成度：A)
③自己分析、ES対策、模擬面接等、学生が実践的に就職活動に取り組むことができるよう、活動を支援するセミナーを開設し、就職サポート室だけではカバーできない、より充実した支援を実施した。(達成度：A)
④年2回の「ビジネス著作権検定受験対策講座」を実施し、各回とも10名以上の参加があり、その後のビジネス著作権検定を受験して、12名合格した。次年度も、学生に付加価値を与えることを目的とし、継続的に実施する。(達成度：A)
- 事業計画：学習センター相談会及び学事(入学)相談会の再構築
進捗状況：①当該地域在住学生数を考慮し、相談会実施回数の見直しを行った代替措置として、公立図書館9か所に通信教育教材を設置することにより、常時教材の閲覧が可能となり、広く学修の機会を提供した。(達成度：A)
②地域ごとに相談件数の格差が拡大しており、その結果を分析し、相談会の開催回数及び指導員の効率的な配置を行った。(達成度：A)
③指導員の高齢化に伴う後継者育成と確保が困難であるため、有効な相談会開催に向けた計画を遂行するために関連の要項改正に着手している。(達成度：C)
④今まで定期的実施していた相談会の時期や回数の妥当性などを明確にするため、現在、実施方法、会場等を検討中である。(達成度：C)

日本大学高等学校・中学校

【高等学校・中学校共通】

- 事業計画：アクティブ・ラーニングの導入
進捗状況：全クラスに電子黒板を設置し、タブレット端末を利用したアクティブ・ラーニング等を授業に取り入れている。より一層生徒参加型の授業を実施し、そのための教材研究に努める。(達成度：B)
- 事業計画：ICT教育の導入(Classiを含む)
進捗状況：教員が研修や研究授業にも積極的に参加し、生徒にとって満足度の高い授業づくりに取り組んでいるが、生徒への適切な問題配信等自学・自習の確立においては課題が残る。(達成度：B)
- 事業計画：自立学習支援室の設置(チューター制度)
進捗状況：生徒に合わせた学習管理やサポート及び授業で十分に理解できなかった内容等についてチューターによる指導を行っている。部活動後でも利用し、学習する姿勢が身についてきた。(達成度：A)
- 事業計画：教員の計画的採用
進捗状況：適正な人員配置を心掛けはしたが、人事異動もあり、適正な教科バランスのとれた配置にはならなかった。(達成度：C)
- 事業計画：入試におけるインターネット(Web)出願等の導入
進捗状況：中学・高校の各種入試に導入し、志願者増を図ったが志願者の増加とまではいかなかった。ただ、諸手続きは簡便化が図れ、それなりに効果が確認できた。(達成度：B)

【高等学校】

- 事業計画：海外語学研修・留学の充実
進捗状況：短期海外英語研修や長期海外留学を実施することで、グローバルな視点を持ちながら主体的に行動できる力が身につけている。その経験を説明会等で披露する取り組みを行っている。(達成度：A)
- 事業計画：入学金の分納手続額の変更
進捗状況：入学手続時の分納Ⅰ期の金額を2万円増額し、Ⅰ期10万円、Ⅱ期13万円とした。入学辞退者減には直接結びつかなかったものの、財政的には増収を図ることができた。(達成度：B)

【中学校】

- 事業計画：中学1年生に対して、グローバルリーダーズコースとN.スタンダードコースの2コース制を導入
進捗状況：2コース制の特徴をICT教育や体験型学習を通して活かし、能動的な学習態度を養成している。主体性・積極性等を身につけ、様々な分野で活躍できる人材の育成を目指している。(達成度：A)
- 事業計画：体験型キャリア教育・情操教育の導入
進捗状況：将来の進路選択を視野に入れた大学の専門的な知識を低学年から体験させる。情操教育においては、落語や歌舞伎の鑑賞を通して、本物に触れあう機会や自国文化への理解を深めさせる。(達成度：A)
- 事業計画：英会話の授業充実
 - ①3分割の授業実施
 - ②英会話学校との共同による英語力向上プログラムの実施
 - ③ブリティッシュヒルズの導入進捗状況：①英語力以外にもプレゼン発表の機会を多く設け、生徒個々に行き届く参加型の授業を展開し、英語の4技能を習得するとともに、自由な発想と深い洞察力を養う。(達成度：A)
②ネイティブの質問を理解し、自分の考えを説明し、さらに相手に質問するという会話の基本にそって自分の言葉で話す力を鍛える。外部委託と連携した英会話授業を展開している。(達成度：A)
③グローバル化が進む中で、言語や文化が異なる人々と主体的に協働していくため、英語力の向上及び異文化体験、また日本の伝統文化に対する深い理解を養成する。(達成度：A)
- 事業計画：海外語学研修の充実
進捗状況：29名が参加し、現地学校との交流を図り、英語でコミュニケーションをとる楽しさを学んだ。またアクティビティを通して、異文化にも触れることができ、充実した内容となった。(達成度：A)
- 事業計画：平成28年度中学校入学試験の募集人員及び入試回数の変更
進捗状況：計画通り実施でき、従来より質の高い生徒が確保できた。(達成度：A)

櫻丘高等学校

【高等学校】

○事業計画：国際化に対応した語学教育研修制度

進捗状況：①希望者に対して、夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修(7/17～8/1)を実施した。
②ネイティブスピーカーによる週 27 コマの授業を 1 学年に対して実施した。(達成度：A)

○事業計画：教員研修制度

進捗状況：①外部機関が実施する研修会に、夏期などの休暇期間を中心に、各教科の教諭が計 19 名参加した。
②英語教授法スキルアップ研修会は、当年度において本校が参加該当校ではなかったため、参加していない。
(達成度：B)

○事業計画：高大連携教育の推進

進捗状況：①9 月 18 日(日)に文理学部で開催した体験授業に、1 年生 166 名、2 年生 24 名、3 年生 10 名、合計 200 名の生徒及び 82 名の保護者が参加した。
②高大連携教育に関する協定を締結している文理学部、法学部及び経済学部の講義を 2・3 年生(延べ 19 名)が受講した。(達成度：A)

○事業計画：本校教員及び外部講師による講習

進捗状況：①夏期講習は 1 年生 323 名、2 年生 160 名の希望者を対象に実施した。
②特別講習は 3 年生 365 名の希望者を対象に実施した。(達成度：A)

○事業計画：習熟度別授業の実施

進捗状況：理系コースの 2・3 年生を対象に数学及び英語の授業で実施した。(達成度：A)

○事業計画：基礎学力養成講習の実施

進捗状況：希望者を対象として、7/21～7/23 に 1 年生 117 名・2 年生 66 名が受講した。また、12/19～12/21 には、1 年生 96 名・2 年生 89 名が受講した。(達成度：A)

鶴ヶ丘高等学校

【高等学校】

- 事業計画：高大連携教育の推進
進捗状況：生徒の希望に合わせ、理系・文系に分かれて実施できた。(達成度：A)
- 事業計画：グローバル教育の強化
進捗状況：大学入学前英国海外研修及び交換留学制度派遣を予定どおり実施，受入は次年度。(達成度：A)
- 事業計画：国の教育改革の一環としてのALやICT教育の充実
進捗状況：各種研修会への教員参加，ICTを用いた授業についての校内・研修を実施した。(達成度：B)
- 事業計画：進路の多様化に対する対応
進捗状況：2年生一般受験進学希望者に対する定期的な指導の実施と3年生受験クラスの設置と運営。(達成度：A)
- 事業計画：杉並区和泉地区の公立小中一貫校との連携
進捗状況：小学生への学習サポートを定期的に実施するとともに，推薦入試での特別優遇措置を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：地域と連携した防災対策
進捗状況：防災対策協議会に教員が参加するとともに関連行事に生徒が積極的に参加した。(達成度：A)
- 事業計画：入試改革の推進
進捗状況：推薦入試・一般入試の受験者数・入学者数はともに減少したため，継続して再検討する。(達成度：B)

藤沢高等学校・中学校・小学校

【高等学校・中学校共通】

- 事業計画：基本的生活習慣の指導
進捗状況：①全校集会，学年集会，HR 指導，学習指導等において，常に規則正しい生活習慣のあり方や個々の目標に対する取り組み姿勢を指導し続けた。
②あらゆる場所において，常に教員側からの声掛けに努めた。
(達成度：A)
- 事業計画：国際感覚の育成
進捗状況：①1 クラスを2 つに分けて，ネイティブと日本人教師がペアを組み授業を実施。
②現地の私立学校で英語による授業を受け，1 人1 家庭のホームステイを体験。
③現地高校生との文化交流や大学生による案内で大学校舎内を見学。
(達成度：A)
- 事業計画：採用計画
進捗状況：定年退職者の補充に留まり，教員の負担軽減には至っていない。(達成度：B)
- 事業計画：教育設備の充実
進捗状況：パソコンを入れ替えたことで，より充実した ICT 教育を展開することができた。
(達成度：A)
- 事業計画：課外活動・社会貢献の推進
進捗状況：①心身及び生徒同士の相互啓発による社会性の育成，個々の人間的成長を促進した。
②地元小学生との交流や老人ホーム慰問等で地域に貢献した。
(達成度：A)
- 事業計画：施設設備の整備
進捗状況：平成 30 年度以降の予定として検討。(達成度：C)

【高等学校】

- 事業計画：基礎学力の養成
進捗状況：①1 年生は，基礎学力の徹底を目標にしており，生徒の理解度を把握しながら，その場で気軽に質問ができる環境を意識した授業を展開した。
②それぞれよく計画され，多くの生徒が参加していた。(達成度：A)
- 事業計画：大学進学率の向上
進捗状況：①生徒一人ひとりに適切な進路指導がなされ，生徒の目標に合った文理分けが徹底され，一般受験進学を目指す生徒にとって良い学習環境を提供した。
②多様化する受験科目に備えて幅広い科目選択制を用意し，国公立大受験にも対応した。
(達成度：A)

【中学校】

- 事業計画：農業体験の実施
進捗状況：種まき，植え替え，草取り，収穫といった作業を通して，農業の必要性を学び，真の「食」の教育が実践できていた。
(達成度：A)

【小学校】

- 事業計画：基礎学力の育成
進捗状況：行事を土曜日実施とし実授業時間を確保したことで実力テストでは好成績を収め，学習が遅れ気味の児童には個別指導を実施し基礎学力の底上げに効果が見られた。(達成度：A)
- 事業計画：基礎体力・精神力・生活力の育成
進捗状況：防災訓練(6 月)，山登り(7 月)，スキー教室(12 月と 3 月)を実施し，集団生活を通じた生活習慣の確立，やり抜く気力の育成，児童相互の協力及び思いやりの気持ちの育成を培った。(達成度：A)
- 事業計画：英語力の育成
進捗状況：1 クラスを英語力により 2 分割して授業を実施し，少人数による英語学習を展開した。校外学習として米国家族との触れ合いの中で，実際の英会話を体験することができた。(達成度：B)

豊山高等学校・中学校

【高等学校・中学校共通】

- 事業計画：本校独自の中高6か年一貫システムの推進
進捗状況：現中学2年生より、併設型中高一貫教育をスタートさせた。
英語、数学などの主要教科を中心に、中学3年次において高校で履修する内容を学習させる、いわゆる先取り教育を実施。習熟度向上に向け効果が期待できる。(達成度：B)
- 事業計画：特色ある各教科の教授法等指導体系の確立
進捗状況：各教科とも、授業教授法のスキルアップを図り、授業に反映させている。特にアクティブラーニングの積極的導入に向けた指導体系の確立をはかるための委員会(ICT委員会)を設置した。(達成度：A)
- 事業計画：本校が独自開発した学習教材等を用いた学力向上推進プロジェクトの拡充
進捗状況：英語においてはHP上に自習用英語基礎知識教材約4000題を掲出。生徒に積極的活用を促し効果をあげている。数学科については高3に少人数の学習到達度別授業を実践。習熟度の向上が期待できる。(達成度：B)
- 事業計画：本校生徒による近隣小学校児童との交流
進捗状況：吹奏楽部生徒による近隣小学校鼓笛隊児童に対する演奏指導を行った。(達成度：A)
- 事業計画：地域ボランティア活動の推進
進捗状況：交通安全委員会および風紀委員会による大塚警察署と連携した交通安全キャンペーンへの協力を行う。平成28年度には「警視総監感謝状」が贈られている。本校生徒会美化委員会の活動として護国寺境内の学祖墓所等の清掃は、年間を通し定期的を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：大規模災害等に備えた地域連携防災活動の実施
進捗状況：自衛消防団を結成。本校関係者および地域の防災意識の向上を図っている。例年、護国寺、真言宗豊山派宗務所および地元町会と共同の防災訓練を実施しているが、本年度は会場の都合で護国寺での防災訓練は実施しなかった。(達成度：B)
- 事業計画：環境体験学習を通じた環境教育の実践
進捗状況：東京環境教育実践研究会、東京都私立中学校・高等学校協会第4支部の環境教育実践研究会に所属。同研究会の運営にも大きく関わった。(達成度：A)
- 事業計画：志願者増対策
進捗状況：学校説明会、各種進学フェア、塾、中学校訪問等の強化により、平成29年度入試においては中学、高校ともに入学志願者を前年度よりさらに増加させることができた。またインターネットを用いた広報活動により、学校情報をより充実させることが出来た。(達成度：A)
- 事業計画：適正な教員採用
進捗状況：教員の年齢構成バランスや教科の構成人数を総合的に判断し、三島高校からの転入教員1名のほか新規採用教員を5名補充した。(達成度：B)
- 事業計画：中台総合グラウンド改修工事
進捗状況：12月に全面人工芝化工事が竣工。近隣からの土埃に対する苦情、砂塵による生徒の健康面への影響にも対応することができた。(達成度：A)

【高等学校】

- 事業計画：日本大学(主に生産工学部・経済学部・法学部)との高大連携教育推進の拡充
進捗状況：生産工学部には、平成27年度に26名、平成28年度に25名が履修登録している。経済学部については、平成27年度に高3が4名、高2が5名、計9名が受講した。さらに平成28年度には、高2が15名受講し、年々多くの生徒が受講。経済学部に対する関心を深めている。法学部については平成27年度では高2が4名受講。平成28年度は高3が1名、高2が9名、合計10名が受講。法学部に対しても年々受講生が増えてきており、同学部に対する関心も深まっている。(達成度：B)

豊山女子高等学校・中学校

【高等学校・中学校共通】

○事業計画：基礎学力の充実・理数科の充実

進捗状況：①放課後学習「BJ タイム」を実施した。1年次からの進学対策講座を計画どおり実施することができた。

(達成度：A)

②平成28年7月13日(水)に理数科課題研究発表会を実施し、各グループとも興味深い研究発表を行うことができた。

(達成度：A)

○事業計画：近隣小学校との交流

進捗状況：様々な交流をとおして、本校の教育活動に対する協力と理解を得て、地域社会に貢献できる学校づくりを進めることができ、生徒に対する実践的なキャリア教育として有意義な取組みができた。(達成度：A)

○事業計画：スクールバスの充実

進捗状況：利用者の増加が見込めず、収支改善には至っていないが、受験生確保に効果があった。(達成度：B)

【高等学校】

○事業計画：海外語学研修

進捗状況：平成28年7月17日(日)から8月2日(火)の17日間で実施した。(達成度：A)

○事業計画：英語検定講座の実施

進捗状況：夏季休暇中(7月26日(火)～8月1日(月))に受講希望者に対してTOEIC講座を実施した。(達成度：A)

○事業計画：キャリア教育の充実

進捗状況：大原学園より講師を招へいし、キャリアデザイン・資格について特別講座を実施した。

SMBC コンシューマーファイナンス㈱より講師を招へいし、金融・経済について特別講座を実施した。(達成度：A)

○事業計画：優秀クラスの設置

進捗状況：優秀クラスが学年の成績上位を占めており、切磋琢磨して成績向上につながった。(達成度：A)

三島高等学校・中学校

【高等学校・中学校共通】

- 事業計画：ボランティア活動
進捗状況：①高校3年生の希望者を対象に、平成29年2月に学内にて献血を実施し、69名が行った。赤い羽根共同募金は校内及び街頭でも行い、Nドット募金含め約12万円を募ることができた。(達成度：A)
②11月～12月にかけて定期的に学校前の通りの落ち葉拾いや清掃作業を行った。(達成度：A)
- 事業計画：地域社会との連携と地域文化の理解
進捗状況：地域貢献の一環として、生徒会が中心となり三島の夏まつりに協力し、応援部・女子ソフトボール部が三島サンバに参加。また、学校行事としても学内でクラス対抗の三島サンバ大会を実施し、郷土理解を深めた。(達成度：A)
- 事業計画：環境問題への取組
進捗状況：①校舎内における昼間の共有スペース・廊下等をこまめに消灯し、19時に空調・換気を一斉OFF。(達成度：A)
②日常の清掃時からの分別回収の徹底。生徒会が中心となりペットボトルのフタを分別回収し、ポリオのワクチンとして提供した。(達成度：A)
- 事業計画：生徒募集の強化
進捗状況：4月～12月の期間にわたり、教員による小学校・中学校進学塾訪問を実施。8月の学校説明会は3日間で3,762名の来場があり、10月は948名の来場、地区別説明会(伊豆・小田原・秦野・御殿場・静岡・富士他)は、427名の来場があった。(達成度：A)
- 事業計画：教員の計画的採用
進捗状況：専任教員は、教科間の年齢構成、生徒数の推移・クラス数を考慮し、4名を採用した。(達成度：A)
- 事業計画：総合体育館新築工事
進捗状況：約1年9ヶ月の工期を経て平成28年6月に竣工。1階は食堂・多目的運動場、2階はバスケットコート4面分のアリーナ、3階は観覧席及びランニングコースとなっており、生徒の満足度は非常に高い。名称を「桜アリーナ」とした。(達成度：A)

【高等学校】

- 事業計画：国際化教育の推進
進捗状況：①国際クラス2年生11名が約1年間のオーストラリアでの留学を終え、平成28年12月に帰国。平成29年1月には国際クラス1年生18名が留学のため出発。また、平成28年4月に、約3週間の日程でオーストラリアから5名の留学生を受入れ国際交流を図った。(達成度：A)
②国際クラスの海外留学の事前研修として、夏季休暇中に約1か月のオーストラリア語学研修を実施、11名が参加した。また別プログラムとして、夏季休暇中に3週間のテキサス語学研修を実施し、52名が参加した。(達成度：A)
- 事業計画：高大連携教育の推進
進捗状況：締結した覚書に基づき、国際関係学部への進学を希望する生徒9名が大学の授業を受講し、国際関係学部入学後に単位認定を行う。また、特色ある外国語授業として、ドイツ語・フランス語講座を実施し生徒31名が受講。その他、ユネスコスクールの推進特別講座を実施し生徒20名が受講。(達成度：A)
- 事業計画：奨学金制度の充実
進捗状況：学力優秀者及びスポーツ能力の高い者や生活困窮者に対して後援会が支援し、117名に奨学金を給付した。(達成度：A)
- 事業計画：進路指導からキャリア教育への展開
進捗状況：2年生を対象とした日本大学各学部の模擬授業を3月に行い、3年生を対象とした学部説明会を6月～7月にかけて行った。(達成度：A)

【中学校】

- 事業計画：外国語教育の充実
進捗状況：①英検の取得を奨励した結果、2級5名、準2級26名、3級41名となった。
例年、中学2・3年生の希望者を対象者に、2泊3日で福島県の語学研修施設、ブリティッシュヒルズで語学研修を実施していたが、今年度から廃止にし、次年度は3年生を対象として近隣で実施する予定。ネイティブスピーカーについては職員室に3名配置。(達成度：B)
②シドニーでは現地のガイドとともに班別行動で研修をしながら英語で交流を図り、シドニー大学では現地の大学生と共にキャンパスツアーを体験した。(達成度：A)
- 事業計画：きめ細かな学習指導の実践
進捗状況：①英会話クラスを二つに分け、ネイティブと日本人教員の2名が週3～4コマの授業を担当した。数学は習熟度別に2クラスに分け同時展開で授業を実施。(達成度：A)
②英語は英検の受験クラスに分けて補習を実施。また、大半の教科においては成績下位者を対象に追試・特別補習を実施。(達成度：A)

明誠高等学校

【高等学校】

○事業計画：英会話授業における実践指導

進捗状況：英語会話の授業で3年間にわたり、TOEICに関する教材を扱ったうえで、毎年、全生徒がTOEICを受験している。修学旅行・海外語学研修の充実も図っている。(達成度A)

○事業計画：教員の資質向上・教科指導の充実・学習支援体制の確立

進捗状況：年度当初にシラバスを全生徒に配付し、学期ごとに授業の実施状況の確認を行っている。公開授業の参加者が増えないことや研究授業の数がすくなかったことが次年度への課題となった。(達成度B)

○事業計画：TOEIC・TOEIC Bridge 及び漢字能力検定・数学検定の実施

進捗状況：漢字検定は1学年全員で実施し、TOEIC Bridge は全学年を対象としたが、特進コース全員と普通コース希望者にはTOEICを実施した。また、新たに数学検定を全学年(希望者)で実施した。受検体制は定着してきているが、結果の活用が課題である。(達成度B)

○事業計画：魅力ある学校づくりと社会的評価の向上

進捗状況：特進コースは、特進コース主任の下で指導体制が整い、また、特進・普通コース1・2年生に対して、2・3年次を見据えた補習を、また出口指導として学部長講話、キャリアガイダンスを実施した。平成28年度は、日本大学245名(68.2%)、他大学73名(20.3%)の進学実績を達成した。(達成度A)

○事業計画：地域社会との強い結びつき及び社会貢献による相互扶助精神の育成

進捗状況：地元主催のチャリティーコンサートに吹奏学部、ダンス・チア部が参加した。また文化祭においては郷土料理「せいだのたまじ」の販売協力を行った。

校内外美化活動として、各学年が年数回、通学路のゴミ拾い運動を行っている。

吹奏楽部は地元主催音楽祭「上野原吹奏楽祭」「北都留支部音楽祭」へ参加し高い評価を得ており、運動部の上野原駅伝への参加や、ダンス・チア部のJリーグヴァンフォーレ甲府応援パフォーマンスへ積極的に参加している。

また、ジュニアユースの地元サッカークラブに練習場として人工芝グラウンドを開放している。(達成度A)

○事業計画：地球温暖化防止対策と資源の有効利用

進捗状況：夏期における軽装の実施、エアコン温度の控えめな設定、照明設備・電気機器の節電などを実施し、合わせて、教職員・生徒へ省エネに関する周知活動から省エネ意識の定着化を図った。また、生徒会を中心に、年間を通じペットボトルキャップ回収を実施、発展途上国のワクチン接種の一環として寄与した。(達成度A)

○事業計画：健全な経営基盤確立のため、募集定員以上の確保

進捗状況：募集定員以上の確保を目指し、年間を通じ全教職員が尽力した結果、募集人員以上の入学者を得て、財政基盤の確保ができた。教員採用計画は、採用計画に基づき、英語科2名、理科1名を採用した。(達成度A)

○事業計画：広報活動の充実

学校案内及び学校紹介DVDの制作、学校ホームページの充実

進捗状況：学校案内や学校紹介DVDを充実させ、的確な学校情報の伝達を図っている。

学校の出来事を毎日ホームページ内で更新することで、保護者及び中学生等へのアピールができています。(達成度A)

○事業計画：キャンパス整備計画の検討

進捗状況：コンサルタント業者と契約を行い、新校舎建設等に向け、本部関係部署と協議を開始した。(達成度A)

○事業計画：落雷、地震対策を実施し、安心・安全なキャンパスの実現を図る。

進捗状況：平成28年6月に設置工事は完了した。(達成度A)

山形高等学校

【高等学校】

- 事業計画：クラブ活動の充実
進捗状況：今年度は12のクラブが全国大会に出場することができた。(達成度：A)
- 事業計画：教員の資質向上の推進
進捗状況：各機関の研修・セミナーに参加し、生涯教育・国際化への対応、情報化社会等の問題について自己を再点検すると共に、これからの学校運営や教育活動に役立てることができた。(達成度：B)
- 事業計画：学力向上対策プロジェクトの設置
進捗状況：プロジェクト会議を開催し、各チームの進捗状況を報告している。(達成度：B)
- 事業計画：きめ細やかな学習指導の推進
進捗状況：基礎学力を向上させるため、生徒個々の学習習熟度を考慮した授業を展開する。また長期休暇時に、原則全員参加の講習を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：高大連携教育の推進
進捗状況：生産工学部との遠隔授業による高大連携教育を実施し、理解を深めるとともに進学意識を高揚できた。(達成度：A)
- 事業計画：奨学金の充実
進捗状況：学業成績優良で運動能力及び人物が優れ健康な生徒に奨学金を支給した。さらに上記奨学金の他、多くの生徒を対象に様々な民間の奨学金も告知した。(達成度：A)
- 事業計画：地域社会・同窓会・校友会との連携
進捗状況：本校の社会貢献等多くの情報を発信することに努め、地域社会から理解を得ることができた。また保護者や同窓会と受験生増加について意見交換を図ることができた。(達成度：A)
- 事業計画：ボランティア活動の推進
進捗状況：ボランティア活動に対する生徒の理解と関心は高く、善意を寄せ合う心の大切さを学ぶとともに社会へ奉仕することや、他人を思いやる心を養うことができた。(達成度：A)
- 事業計画：危機管理への対応・対策
進捗状況：防災用品は年次計画で整備しており、平成28年度は簡易トイレを整備した。(達成度：A)
- 事業計画：障害者雇用の推進
進捗状況：平成25年12月1日付けにて、図書室の臨時職員を採用することができた。(達成度：A)
- 事業計画：広報活動推進による大学志願者数増
進捗状況：大学への進路決定者は、例年60%から70%であり、今年度は国公立大学や歯学部、薬学部、看護系の学部への進学者が多く見られた。(達成度：B)
- 事業計画：特別支援教育事業の推進
進捗状況：導入している学校を視察し、規程等を整備するため準備をしている。また専任教員をコーディネータとして配置した。(達成度：A)
- 事業計画：学校説明会及び入試相談会の推進
進捗状況：学校説明会や中学校教員向け説明会を実施することにより、本校を希望する生徒や保護者との距離が縮まる。本校の教育内容及び入試情報等をPRし志願者増を図る。(達成度：A)
- 事業計画：生徒の希望進路実現の推進
進捗状況：生徒への各種教育情報データベースの利用や、同窓会の協力も得て、進路、進学説明会、職業講話、就職指導(企業訪問・模擬面接・公務員受験講座等)を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：出張旅費内規の見直し
進捗状況：生徒の宿泊費補助の削減、教職員の日当の一部削減を実施した。(達成度：A)
- 事業計画：財政基盤の確立
進捗状況：補助金の更なる獲得を図り、財政状況が改善するよう継続して取り組む。(達成度：B)
- 事業計画：学生生徒等納付金の収入確保
進捗状況：学則変更をして学生生徒等納付金の値上げを実施した。(達成度：A)

習志野高等学校

【高等学校】

- 事業計画：地球温暖化防止への取組
進捗状況：熱・電気等のエネルギー使用量は体育館空調使用に伴い3%の増加となった。(達成度：B)
- 事業計画：CST・GA・NP各コースの設置
進捗状況：CSTコースでは理工学部進学者増加及び高大連携教育の推進，GA・NPコースでは，それぞれのコースの特色を生かした授業展開及び効果の発揮を図った。(達成度：A)
- 事業計画：ゴミの減量対策啓蒙運動
進捗状況：生徒会によるペットボトルキャップの回収活動の実施(達成度：A)
- 事業計画：予算の効率的執行・運用
進捗状況：無駄のない予算の執行による教育環境の効果的充実及び各種教育サービスの充実を図る。(達成度：A)

東北高等学校

【高等学校】

- 事業計画：グローバル教育の実践
進捗状況：グローバリズムワークショップを10月16日に実施し、早稲田大学各学部の留学生との交流を行った結果、語学習得の重要性や国際社会に対する理解を深めることができた。(達成度：A)
- 事業計画：学年毎の特色ある研修の実現
進捗状況：平成28年7月に2学年を対象として外部講師を招いたコミュニケーションスキル講演会を実施し、一定の成果を得ることができたため、次年度も継続して実施する。(達成度：B)
- 事業計画：学生生活環境の安全・安心の確保
進捗状況：平成28年度に新入生用500食分を購入したことで、全校生徒1,500名分の非常食を確保した。(達成度：A)
- 事業計画：学校全体の環境への取組
進捗状況：放課後に電気を消し忘れていた教室が散見されるため、朝礼やホームルームなどで節電についての啓蒙活動を展開したことで、完全ではないが意識できるようになった。(達成度：B)
- 事業計画：入試広報の充実
進捗状況：中学校訪問及びCMによる広報活動により、夏期休講期間中にオープンスクールを実施した結果、生徒及び保護者合わせて2,144名の参加者を迎え、前年比52名増となった。(達成度：A)

幼稚園

【幼稚園】

- 事業計画：幼児の発達上の困難と課題への対応の重要性から専門家を交えた「幼児教育と発達」に関する研修実施とその実践の充実を図る。
進捗状況：発達の課題について全教員の共通認識や連携を保ち、バランスのとれた発達を促す保育の方向性と保育のあり方を考える貴重な場となった。(達成度：A)
- 事業計画：運動・音楽療法(ヘルスリズム)及び操作的・造形的活動を感覚統合教育の視点から深める。
進捗状況：幼児の全身の感覚と機能の統合力の育ちが心身のバランスを生む上で有効となることを子どもの育ちを振り返りながら教員間で確かめることができた。(達成度：A)
- 事業計画：幼児が保育者と共に畑づくりを手掛け、季節毎の野菜等を栽培し育てることで、収穫の楽しみや喜びを友達や周囲の大人と分かち合う。
進捗状況：仮設園舎移転に伴い、年長児が中心に畑を作り、栽培、収穫へと異年齢交流の道筋を作ったことで、新たな試みも生まれ、楽しさや喜びも新鮮なものとなった。(達成度：A)
- 事業計画：地域防災計画への参画
進捗状況：震災救護所運営委員会(年6回)に積極的に参加することで、近隣地域とのより密着した関係が継続できた。(達成度：A)
- 事業計画：各種子育て支援(日常における各種相談・アドバイスの実施、夏・冬期休暇期間中の預かり保育開催、通常保育後の預かり保育の実施)
進捗状況：教職員の連携を活かし、日常の各種相談を積極的に行ったことで、保護者からの信頼を得ることができた。休暇期間中の預かり保育については移転のため不十分であった。(達成度：B)
- 事業計画：発達の専門家を招いて在園児や地域の未就園児をもつ父母を対象に子育てに関する講演会を定期的に実施。
進捗状況：早めにホームページに情報を掲載したこともあり、在園児以外の参加者は各回10～15名となった。概ね好評を得ることができた。(達成度：A)
- 事業計画：新園舎建設と仮設園舎施設・用地の借用。
進捗状況：旧園舎の解体工事、新園舎の基礎工事まで完了している。(達成度：A)

日本大学病院

【病院】

- 事業計画：専修医の増員
進捗状況：医学部を中心に説明会を開催し他大学からの受入れを積極的に行っているが、現状では増員には至っていない。今後とも医学部と協力して確保に努める。(達成度：B)
- 事業計画：看護師のスキルアップ
進捗状況：各種研修会へ計画的に参加し、今年5月に皮膚・排泄ケアの認定資格を1名取得予定である。退院調整機能の強化が課題であり継続して研修等を実施する。(達成度：B)
- 事業計画：医療安全管理の強化
進捗状況：年に2回講習会を実施し、講義へ参加できなかった教職員にはDVD講習会およびDVDの貸し出しを行い第1回目の受講率は97%であり、100%を目指し受講を促している。(達成度：B)
- 事業計画：eラーニングの導入
進捗状況：看護部を中心に月2～3回の卒後及び新人教育で使用している。また、院内講習会でも試験的に運用を開始し、約50%の受講率に達している。(達成度：B)
- 事業計画：私立医科大学協会主催の各種(庶務、経理、用度、医事研究会等)研修・研究会の参加
進捗状況：各種研修・研究会に参加した。他大学との情報交換をし、各課において情報共有を図ることができた。(達成度：A)
- 事業計画：市民公開講座を定期的に開催
進捗状況：平成28年度年6回開催を行った。保健所を通じ、区内の掲示板に開催案内を掲載するとともに、当院ホームページにも掲載し、広報を行っている。地域住民を中心に受講者数は、徐々にではあるが増加している。(達成度：A)
- 事業計画：AED・心肺蘇生講習会の開催
進捗状況：院内での講習会は開催しているが、今年度は外部からの開催申し込みがなかった。(達成度：B)
- 事業計画：ちよだこども救急室の開設
進捗状況：毎月、30人程度の受診者があり、千代田区では、近年、出生率の増加から今後受診者数も比例すると思われる、子を持つ親からは安心感があると好評をいただいている。(達成度：A)
- 事業計画：ペーパーレス会議の導入
進捗状況：コピー料金が前年度と対比し91%に抑制された。また、ペーパーレスにより機密資料を回収する必要がなく外部への漏洩防止にも効果があった。(達成度：A)
- 事業計画：廃棄物分別の徹底
進捗状況：分別の意識が少しずつ周知され紙の廃棄料が削減した。(達成度：B)
- 事業計画：電子カルテシステムの導入
進捗状況：病床利用率をリアルタイムで把握が可能であり、ベッドコントロールの効率が上がり利用率向上が図れた。各種データの取得も容易となり、各種薬剤及び材料等の使用量を把握し、適正在庫により経費削減が図れた。(達成度：A)
- 事業計画：7対1看護体制を維持する。
進捗状況：年度末退職者及び育児休業者の代替要員として、必要数のみ退職者の補充を行い7対1の確保を維持することができた。(達成度：A)
- 事業計画：経費の削減
進捗状況：①後発医薬品の割合を増加させ係数が0.00404上昇した。(達成度：A)
②新規取扱い医療材料だけでなく、従来品の値引き交渉も行った。(達成度：A)
③SPDの継続を行った。(達成度：B)
④経費削減委員会(臨時)を設置し、具体的な取り組みを提案し実施した結果、削減が図れた。
(達成度：A)
- 事業計画：一次、二次救急の積極的な受入れ
進捗状況：救急対応手当を導入し、救急患者を診療した場合の評価を拡充することで、当直医師のモチベーション向上もあり、一次、二次救急患者ともに増加している。(達成度：A)
- 事業計画：地域医療連携の強化
進捗状況：年1回の医療連携懇親会及び近隣医師会への定期的な勉強会を開催した。(達成度：A)
- 事業計画：セカンドオピニオン、特別診察の開始
進捗状況：セカンドオピニオン、特別診察を開始し、徐々にではあるが患者数は増加している。(達成度：A)
- 事業計画：後方病院の確保
進捗状況：地域医療連携室に看護師を配置し、入院当初から長期入院の可能性がある患者に対し、院内で情報共有を図り、退院調整機能を発揮し長期入院の防止に努めている。(達成度：B)
- 事業計画：専門外来の設置
進捗状況：禁煙外来を開始し、教職員の受診も促している。(達成度：B)

医学部付属板橋病院

【病院】

- 事業計画：専修医・研修医制度の充実。（専修医・専修指導医の増員）
進捗状況：専修医・専修指導医の採用を随時行うよう医学部と共に対応をとっている。さらなる充実を図るべく初期研修終了後(卒後3年目)の帰学者を増加させるため、ガイドブックの作成、医局説明会を実施した。（達成度：A）
- 事業計画：充実した初期臨床研修プログラムの提供、プログラムの見直しを図る。
進捗状況：魅力あふれるプログラムを提供するために、本学部学生との意見交換の場を設け、要望を取り入れ、研修医の選択自由枠の大きいプログラムを作成している。（達成度：A）
- 事業計画：看護に求められる臨床研修の充実。
進捗状況：勉強会の開催や様々な研修会及び認定看護師の資格認定への参加を行っている。さらに、海外短期研修制度を設けている。（達成度：A）
- 事業計画：臨床検査技師の研修の充実。
以下の研修・学会での発表の義務化
・東京都臨床検査技師会研修会、国公私立大学検査技師研修会、私立大学病院検査技師長会教育セミナー、日本臨床検査技師会医学検査学会、日本細胞診学会、日本病理学会、日本超音波学会、循環器学会、消化器肝臓学会等
進捗状況：様々な研修会、学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。（達成度：A）
- 事業計画：薬剤師の研修充実並びにがん専門薬剤師、救急認定薬剤師等の育成。
進捗状況：様々な研修会、学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。（達成度：A）
- 事業計画：リハビリテーション部門の充実(理学療法士、作業療法士の補強)
進捗状況：作業療法士が欠員であり、補充活動中。（達成度：B）
- 事業計画：がん診療拠点病院の充実
進捗状況：ロボット手術支援システム(ダヴィンチ)や放射線治療機器(IMRT)等の新規治療機材稼働により、最新のがん治療の機能強化を図った。（達成度：A）
- 事業計画：二次救急医療の充実
進捗状況：総合科、救命救急センターを中心に全科によるバックアップ体制の強化により幅広い患者層に対応している。（達成度：A）
- 事業計画：医療安全管理の充実
進捗状況：電子カルテの導入により、インシデント・アクシデント管理が容易に行え、管理体制の充実が図られた。また、患者急変時の対応システムの構築等、安全管理の充実も図った。（達成度：A）
- 事業計画：臨床研究推進センターの充実
進捗状況：臨床研究を推進するために、臨床研究・臨床治験・市販後調査といった受入窓口を臨床研究推進センターに集約すべく検討を進めており、臨床研究中核病院を目指している。なお、資本投下が可能となる体制を併せて検討している。（達成度：B）
- 事業計画：大学病院の地域貢献。
救命救急センターの取り扱い患者数は毎年都内トップクラス。こども救命センターとスーパー周産期センター両方の指定を受けている医療機関は当院のみ。高度救急医療の最後の砦としての機能を果たしている。
進捗状況：本年度も各種指定医療機関として指定を受け、高度救急医療の提供を行っている。（達成度：A）
- 事業計画：医療安全の充実、院内感染対策の体制強化。
進捗状況：医療法改正による特定機能病院新要件に対応し、医師、薬剤師の適正配置、インフォームド・コンセントの適切な実施のため、また、診療録の確認のための専任者を配置した。（達成度：B）
- 事業計画：各拠点病院認定に伴う公開講座の開設。
進捗状況：医師会や他大学病院と共に一般市民に分かりやすく脳卒中やがんの診療、予防等について定期的に開催している。（達成度：A）
- 事業計画：医師による国際学会における発表の推進とその支援。
進捗状況：医療の充実、教育・研究の促進のため学会出張について、部長会で承認のもと参加。（達成度：B）
- 事業計画：JICAなどを介して海外医療従事者の研修の受け入れ。
進捗状況：臨床検査部や看護部での研修生の受け入れを行っている。（達成度：A）
- 事業計画：国内における講習会、治験説明、啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣。
進捗状況：治験講習会、啓発事業等での職員の招聘要請に対し随時、職員を派遣している。（達成度：A）
- 事業計画：地域医療機関、医師会と本病院において外来化学療法の実施と地域連携パス(各種がん、脳卒中、糖尿病等)への取り組みの連携を図る。
進捗状況：都内医療機関が共通に使用できるパスにより、紹介を受けるだけでなく、退院及び転院への支援強化を図っている。（達成度：B）
- 事業計画：省エネ対策の強化。
進捗状況：休日、夜間のエレベーターの一部停止や空調機器の効率化を図っている。また、クールビズを励行し、病棟における遮光・遮熱カーテンを順次導入し、節電を図った。（達成度：A）

- 事業計画：廃棄物分別の徹底。
進捗状況：分別処理, シュレッダーの活用で廃棄物処理経費の削減を図り, タブレット端末によるペーパーレス会議を導入した。また, 職員に対して廃棄物の分別, 減量化について啓蒙活動を行っている。(達成度：A)
- 事業計画：医療情報課の機能強化の検討
進捗状況：新たに任命した経営担当副院長の下, 医療情報課の機能を強化するとともに, その資源を活用し, DPC 解析に対する経営資源, 戦略の検討を行っている。(達成度：B)
- 事業計画：電子カルテシステムの充実
進捗状況：平成 26 年 1 月から電子カルテが稼働し, 診療情報の共有による医療の質の向上を図った。(達成度：A)
- 事業計画：消耗品, 医療材料費等の削減を図る。
進捗状況：随時, 後発医薬品に切り替えが可能な医薬品においては, 切り替えを実施している。(達成度：A)
- 事業計画：7 対 1 看護体制の維持
進捗状況：継続して維持を行っているが, 入院患者の増加に伴い一時的に看護師が不足する場合は, 7 対 1 看護体制を維持するよう体制を整えている。(達成度：B)
- 事業計画：患者未収入金回収事業
進捗状況：事業継続により, 未回収金は減少傾向にある。なお, 主に外国人に対する未収入金についても新たに弁護士事務所と契約し回収にあたっている。(達成度：A)
- 事業計画：特定機能病院の特徴を生かした高度先進医療への取り組み。
進捗状況：現在 5 件の先進医療の承認を受け, 更なる充実を図るべく複数申請を予定している。(達成度：A)
- 事業計画：専門診療体制への取り組み。
進捗状況：手術室の運用の効率化及び手術支援ロボット(ダヴィンチ)の導入等, 既存の診療機能に対しての充実を図った。(達成度：B)
- 事業計画：診療環境の改善。
進捗状況：開き戸から引き戸への改修工事等患者病室の設備充実を図る。また, 新たに手術室を増設し, 診療環境を整えた。(達成度：B)
- 事業計画：地域医療機関との連携の充実・強化。
進捗状況：医療連携センターの機能に加え専任医師, 看護師を配置し, 転院・退院支援を行い, 地域医療機関との連携を強化。(達成度：A)
- 事業計画：ホームページの充実。
進捗状況：今年度, 病院ホームページのリニューアルを行った。(達成度：B)
- 事業計画：地域への情報発信。
進捗状況：ホームページによる情報発信以外に「日大板橋病院だより」を発行し, 近隣医療機関等に情報提供を行っている。(達成度：B)
- 事業計画：国の医療政策としてあげられている 5 疾病(がん, 脳卒中, 急性心臓疾患, 糖尿病, 精神疾患)及び 5 事業(小児医療, 救急医療, 災害医療, 周産期医療等)の各基幹あるいは中核病院認定に向けての院内整備。
進捗状況：各種指定, 認定病院を継続し, 医療機能の充実を図っている。今後も公開カンファレンス, セミナーの実施など事業を維持していく。(達成度：B)
- 事業計画：自由診療項目の開始
進捗状況：平成 28 年 2 月からレーザー治療による美容医療・アンチエイジング外来を開設。(達成度：A)
- 事業計画：高度先進医療の推進
進捗状況：脱分化細胞を使用した再生医療の実現に向け, 整備している。(達成度：B)
- 事業計画：変革する医療制度への対応
進捗状況：地域の拠点病院としての機能を充実し, 医療情報発信を図り, 地域医療機関との連携強化に取り組んでいる。また, あわせて行政動向を鑑みながら引き続き事業を継続していく。(達成度：B)
- 事業計画：病棟薬剤業務実施加算の請求
進捗状況：薬剤師の充足により, 平成 28 年 8 月から実施。(達成度：A)
- 事業計画：薬剤管理指導業務を全ての病棟で実施
進捗状況：薬剤師の充足により, 全ての病棟で実施。(達成度：A)

歯学部付属歯科病院

【病院】

- 事業計画：医療連携部を中心とした地域医療機関や同窓会との連携強化
進捗状況：初診患者における紹介状持参者の割合が、平成27年度 40.74%、平成28年度(12月まで)40.26%と高い水準にあり、医療連携の強化が維持されている。(達成度：A)
- 事業計画：三島歯科医療センターの開設
進捗状況：平成27年12月の開院以来、月間の患者数、医療収入共に目標に達していないため、国際関係学部の学生に対し、校友会からの診療費補助の周知を図るとともに、口腔外科の高度医療のPRと地元歯科医院との連携強化等により、紹介状による患者増加に努める。(達成度：B)
- 事業計画：医療収入の増収
進捗状況：①入院患者については、ベッド稼働率が平成27年度は1日平均11.1%、平成28年度(1月まで)は1日平均9.5%と減少しており、これに伴って入院収入も減収となっている(前年度同月累計差異)。
②外来患者については、30分単位での診療予約の励行、予後の経過観察などによる患者1人当たりの来院日数の向上に努めている。全体的に初診患者数が減少しており、この影響で外来患者数が減少しているため、全体として減収となっている。
③本部病院経営指導管理オフィスによる業務指導、医療情報科の再編成による保険指導体制の強化、各診療科の保険委員を中心とする診療終了後におけるカルテの充実記載の指導、レセプト返戻理由とその担当医名の開示及びレセプトチェック業者による指摘事項の診療科別開示により、適正なレセプト作成に努めている。(達成度：B)
- 事業計画：病院経費の削減と業務の効率化
進捗状況：①材料をより安価なものに見直し、更に新規業者の参入による入札を行った。
②ジェネリック医薬品の採用及び医薬品・医科歯科材料の質を担保し、より安価な材料への見直しを行った。
③外注技工料金の経費の低減と自費技工物の内製化を実施した。(達成度：A)

松戸歯学部付属病院

【病院】

- 事業計画：臨床研修歯科医師（以下、研修医）制度の充実

進捗状況：今年度からプログラム C（長期出向型）を除き、専門歯科研修の期間を長く設定して研修/を行っている。これに伴い、興味を持った診療科で積極的な研修が実施できている。また、次年度から各プログラムの定員数を変更し、特にプログラム A（学内研修のみ）の定員を増員したことで、診療を含めて院内研修が充実することを期待したい。

（達成度：B）

- 事業計画：茨城県歯科医師会 災害時身元確認活動
同歯科医師会災害派遣チームへの歯科医師の派遣

進捗状況：実績はないが、平成 28 年度まで協定を締結。（達成度：A）：

- 事業計画：診療予約センターの設置

進捗状況：診療予約センター設置について検討を行ったが、各診療科及び各担当医によって予約方法が異なることや、診療内容によって診療時間が一定でないため、診療予約に関する一元管理が困難であったため、従来の予約方法で管理している。（達成度：C）

Ⅲ 事業の概要 (データ編)

1 一般入学試験志願者数

学部第一部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	710	11,187	10,415	107.4
文理学部	939	18,990	15,178	125.1
経済学部	665	14,643	11,482	127.5
商学部	600	11,199	11,120	100.7
芸術学部	450	2,825	2,017	140.1
国際関係学部	370	1,735	1,309	132.5
危機管理学部	150	1,638	2,090	78.4
スポーツ科学部	85	1,262		#VALUE!
理工学部	848	19,688	18,861	104.4
生産工学部	691	8,675	8,039	107.9
工学部	615	2,961	3,220	92.0
医学部	102	4,287	4,677	91.7
歯学部	65	698	679	102.8
松戸歯学部	65	450	560	80.4
生物資源科学部	775	9,480	10,925	86.8
薬学部	117	2,285	2,214	103.2
合 計	7,247	112,003	102,786	109.0

学部第二部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	170	580	251	231.1
合 計	170	580	251	231.1

短期大学部

学科名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
ビジネス教養学科	26	70	39	179.5
食物栄養学科	29	52	57	91.2
建築・生活デザイン学科	44	268	232	115.5
ものづくり・サイエンス総合学科	33	140	110	127.3
生命・物質化学科	22	73	78	93.6
合 計	154	603	516	116.9

合 計

学部・短期大学部 合計	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
	7,571	113,186	103,553	109.3

2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数

※（ ）内は9月修了者数。

修了者数

大学院研究科

研究科	博士前期・ 修士課程	博士後期・ 博士課程	専門職学位課程	合計
法学	18 (1)	0	—	18 (1)
新聞学	7 (3)	0	—	7 (3)
文学	41	6	—	47 (0)
総合基礎科学	47	1 (1)	—	48 (1)
経済学	26	1	—	27 (0)
商学	30	0	—	30 (0)
芸術学	57	6	—	63 (0)
国際関係	6	0	—	6 (0)
理工学	368 (3)	16 (2)	—	384 (5)
生産工学	97 (1)	4 (1)	—	101 (2)
工学	60	1	—	61 (0)
医学	—	37	—	37 (0)
歯学	—	30	—	30 (0)
松戸歯学	—	20	—	20 (0)
生物資源科学	64	6	—	70 (0)
獣医学	—	2	—	2 (0)
薬学	—	1	—	1 (0)
総合社会情報	64 (4)	6	—	70 (4)
法務	—	—	21	21 (0)
知的財産	—	—	9	9 (0)
計	885 (12)	137 (4)	30 (0)	1,052 (16)

卒業者数

学部

学部	卒業者数
法学	1,572 (25)
文理	1,845 (40)
経済	1,465 (49)
商	1,229 (71)
芸術	889 (7)
国際関係	694 (20)
理工	2,120 (52)
生産工学	1,455 (3)
工	947 (15)
医	116
歯	115
松戸歯	82
生物資源科	1,583 (20)
薬	197 (73)
(小計)	14,309 (375)
法(第二部)	95 (2)
経済(第二部)	0 (0)
(小計)	95 (2)
合計	14,404 (377)

通信教育部

学部	卒業者数
法学	83 (38)
文理	136 (58)
経済	39 (7)
商	83 (36)
計	341 (139)

短期大学部

学科	卒業者数
ビジネス教養	47
食物栄養	106 (3)
建築・生活デザイン	96 (2)
ものづくり・サイエンス総合	71
生命・物質化	42 (1)
生物資源	—
計	362 (6)

短期大学部専攻科

専攻	修了者数
食物栄養	15

幼稚園

学校	卒園者数
日本大学	41

高等学校

学校	卒業生数
日本大学	475
櫻丘	449
鶴ヶ丘	411
藤沢	374
豊山	468
豊山女子	284
三島	649
明誠	359
山形	420
習志野	398
東北	523
計	4,810

専修学校

学校	卒業生数
医学部附属看護専門学校	93
歯学部附属歯科技工専門学校	22
歯学部附属歯科衛生専門学校	37
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	41
計	193

中学校

学校	卒業生数
日本大学	274
藤沢	121
豊山	225
豊山女子	132
三島	43
計	795

博士学位授与者数

専攻分野の名称	論文博士		課程博士		合計
	28年度授与者数	累計(A)	28年度授与者数	累計(B)	(A)+(B)
環境科学	0	0	0	1	1
生命科学	0	0	0	6	6
法学	0	17	0	5	22
政治学	0	2	0	4	6
文学	0	106	2	39	145
社会学	0	1	0	9	10
教育学	1	16	0	15	31
心理学	0	11	4	55	66
経済学	0	38	1	15	53
商学	1	22	0	26	48
芸術学	0	13	6	94	107
国際関係	0	38	0	33	71
工学	10	965	20	707	1,672
理学	2	119	6	221	340
医学	4	2,966	37	1,596	4,562
歯学	6	2,426	50	1,995	4,421
生物資源科学	3	71	6	116	187
農学	0	162	0	91	253
獣医学	1	154	2	117	271
薬学	0	52	1	56	108
総合社会文化	0	6	6	69	75
学術	0	13	0	5	18
計	28	7,198	141	5,275	12,473

3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数

海外学術交流提携校

※平成29年3月31日現在

学 部 等	提 携 校	国・地域名	提携の形
大学	マッコーリ大学	オーストラリア	協定
	クィーンズランド大学	オーストラリア	協定
	クレムス応用科学大学	オーストリア	協定
	サンパウロ大学	ブラジル	協定
	トロント大学	カナダ	協定
	成都大熊猫繁育研究基地	中国	協定
	中国管理科学学会	中国	協定
	中国伝媒大学	中国	協定
	福建師範大学	中国	協定
	福建富閩基金会及び福建省対外友好協会	中国	協定
	遼寧大学	中国	協定
	遼寧省人民政府	中国	協定
	北京大学	中国	協定
	山東大学	中国	協定
	香港教育学院	中国	協定
	新疆医科大学	中国	協定
	鄭州大学	中国	協定
	オーフス大学	デンマーク	協定
	ラッペンランタ大学	フィンランド	協定
	アヴィニオン大学	フランス	協定
	ガーナ大学	ガーナ	協定
	ベルリン自由大学	ドイツ	協定
	ヨハネス・グーテンベルク大学	ドイツ	協定
	ピフrost大学	アイスランド	協定
	メイヌース大学	アイルランド	協定
	高麗大学校	韓国	協定
	慶熙大学校	韓国	協定
	延世大学校	韓国	協定
	モスクワ国立国際関係大学	ロシア	協定
	ロシア科学アカデミー	ロシア	協定
	南洋理工大學	シンガポール	協定
	マドリード・コンプルテンセ大学	スペイン	協定
	バリャドリッド大学	スペイン	協定
	ストックホルム大学	スウェーデン	協定
	北西スイス応用科学・芸術大学	スイス	協定
	国立中興大学	台湾	協定
	国立台湾大学	台湾	協定
	ケンブリッジ大学	イギリス	協定
	エリザベスタウン・カレッジ	アメリカ合衆国	協定
	ジョージ・メイソン大学	アメリカ合衆国	協定

大学	<p>ケント州立大学</p> <p>アラバマ大学バーミングハム</p> <p>カリフォルニア大学サンタバーバラ校</p> <p>ハワイ大学マノア校</p> <p>オレゴン大学</p> <p>ワシントン州立大学</p> <p>ウェスト・アラバマ大学</p> <p>ウェスタンミシガン大学</p>	<p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p>	<p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p> <p>協定</p>
法学部	<p>北京大学国際関係学院</p> <p>アヴィニョン大学</p> <p>ヨハネス・グーテンベルク大学</p> <p>新羅大学校</p> <p>カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校</p> <p>カリフォルニア大学ヘイスティンクス校</p> <p>アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター</p>	<p>中国</p> <p>フランス</p> <p>ドイツ</p> <p>韓国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国及びカナダ</p>	<p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p>
文理学部	<p>華東師範大学</p> <p>北京大学</p> <p>高麗大学校文科大学</p> <p>新羅大学校</p> <p>モンゴル国立大学</p> <p>国立台湾師範大学</p> <p>ケント大学</p> <p>カンザス大学</p> <p>ワシントン大学文理学部</p>	<p>中国</p> <p>中国</p> <p>韓国</p> <p>韓国</p> <p>モンゴル</p> <p>台湾</p> <p>イギリス</p> <p>アメリカ合衆国</p> <p>アメリカ合衆国</p>	<p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p>
経済学部	<p>マウントロイヤル大学</p> <p>復旦大学日本研究センター</p> <p>対外経済貿易大学</p> <p>フランス経済商科大学</p> <p>スケマビジネススクール</p> <p>ポーfum大学経済学部及び東アジア研究学部</p> <p>ブダペスト・コルビヌス大学</p> <p>高麗大学校政治経済学部</p> <p>西江大学校経済学部</p> <p>マッセイ大学</p> <p>フィリピン大学ディリマン校経済学部</p> <p>コルドバ大学法経営経済学部</p> <p>マドリード・コンプルテンセ大学経済・経営学部</p> <p>タマサト大学経済学部</p> <p>ケンブリッジ大学</p> <p>ノッティンガム大学経済学部</p> <p>オーバン大学経営学部</p>	<p>カナダ</p> <p>中国</p> <p>中国</p> <p>フランス</p> <p>フランス</p> <p>ドイツ</p> <p>ハンガリー</p> <p>韓国</p> <p>韓国</p> <p>ニュージーランド</p> <p>フィリピン</p> <p>スペイン</p> <p>スペイン</p> <p>タイ</p> <p>イギリス</p> <p>イギリス</p> <p>アメリカ合衆国</p>	<p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p> <p>覚書</p>
商学部	<p>オデンシアグループ</p> <p>フロリダ州立大学</p>	<p>フランス</p> <p>アメリカ合衆国</p>	<p>覚書</p> <p>覚書</p>
芸術学部	<p>グリフィス大学</p> <p>中国伝媒大学</p>	<p>オーストラリア</p> <p>中国</p>	<p>覚書</p> <p>覚書</p>

国際関係学部	マッコーリ大学 北京大学国際関係学院 ノルテ大学 フランス経済商科大学 西カトリック大学 ヨハネス・グーテンベルク大学 ゴア大学 インドネシア教育大学 慶熙大学校国際・経営学部 デ・ラ・サール大学(マニラ校)教養学部 サラマンカ大学 バリアドリード大学 アサンブション大学 フェリシアン大学 モンタナ州立大学 ペンシルヴェニア州立大学 セント・ノーバート・カレッジ ニューヨーク州立ストーニーブルック大学 カリフォルニア大学サンタバーバラ校 イリノイ州立大学文学部社会学・人類学科	オーストラリア 中国 コロンビア フランス フランス ドイツ インド インドネシア 韓国 フィリピン スペイン スペイン タイ アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書
国際関係学部及び短期大学部 (三島)	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アット・タラナキ	ニュージーランド	覚書
理工学部	西安建築科技大学 西安理工大学 ダルムシュタット工科大学 全北大学校工科大学 韓国海洋大学校海洋科学技術大学・工科大学 フィリピン工科大学 ミネソタ大学理工学部	中国 中国 ドイツ 韓国 韓国 フィリピン アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
生産工学部	全南大学校工科大学 慶尚大学校工科大学 中国科技大学規劃與設計學院・管理學院・資訊學院 ケント州立大学 ミシシッピ州立大学	韓国 韓国 台湾 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
工学部	ウメツ大学理工学部 テキサス大学オースチン校工学部	スウェーデン アメリカ合衆国	覚書 覚書
医学部	中国医科大学 中国医学科学院心血管病研究所・阜外医院 華中科技大学同済医学院 清華大学医学院 ボーフム大学附属ノルトラインヴェストファーレン州立バートユーンハウゼン心臓病センター ヨルダン大学医学部 嘉泉医科大学 ハワイ大学医学部	中国 中国 中国 中国 ドイツ ヨルダン 韓国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書

歯学部	山東大学歯学部 慶北大学校歯学部 ヘルスサイエンス大学	中国 韓国 ラオス	覚書 覚書 覚書
松戸歯学部	マギル大学歯学部 天津医科大学口腔医学院 武漢大学口腔医学院 センメルweis大学歯学部 台北医学大学口腔医学院 高雄医学大学口腔医学院 タマサト大学歯学部	カナダ 中国 中国 ハンガリー 台湾 台湾 タイ	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
生物資源科学部	海南大学海洋学院・生命科学農学院 セベラス・マレット大学 大韓民国農村振興庁普及支援研究部 ピコール大学農林学部 極東連邦大学 メチョー大学農学部 ワシントン大学森林資源学部 カントー大学農学部	中国 インドネシア 韓国 フィリピン ロシア タイ アメリカ合衆国 ベトナム	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
薬学部	ポーツマス大学	イギリス	覚書
大学院総合基礎科学研究科	マーストリヒト大学大学院統治管理研究科及び経済・経営管理学部	オランダ	覚書
大学院法務研究科	全北大学校法学部	韓国	覚書
現在有効な提携の合計数	125大学等	32か・国1地域	

*協定：大学（全体）単位での提携

覚書：学部等単位での提携

***太字**は平成28年度新規提携校

*大学等の合計は、重複する提携先機関を1校として数えた。

外国人留学生数

※平成28年5月1日現在

大学院研究科

研究科	博士前期・修士・専門職学位課程				博士後期・博士課程						合計
	1年次	2年次	3年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計	
法学	2	2	—	4			1	—	—	1	5
新聞学	2	16	—	18		1	1	—	—	2	20
文学	8	3	—	11	1			—	—	1	12
総合基礎科学	1	3	—	4				—	—	—	4
経済学	1	1	—	2				—	—	—	2
商学	19	29	—	48	1	1	3	—	—	5	53
芸術学	18	15	—	33	3	3	1	—	—	7	40
国際関係学	3	1	—	4				—	—		4
理工学	10	19	—	29	1		6	—	—	7	36
生産工学	7	4	—	11			1	—	—	1	12
工学		1	—	1			1	—	—	1	2
医学	—	—	—	—					—	—	
歯学	—	—	—	—		1			—	1	1
松戸歯学	—	—	—	—					—	—	
生物資源科学	2	4	—	6		1			—	1	7
獣医学	—	—	—	—					—	—	
薬学	—	—	—	—				1	—	1	1
法務					—	—	—	—	—	—	
知的財産	2	1	—	3	—	—	—	—	—	—	3
計	75	99		174	6	7	14	1		28	202

学部

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	24	15	5	20	—	—	64
文理	43	44	34	33	—	—	154
経済	23	26	44	47	—	—	140
商	24	18	12	38	—	—	92
芸術	30	25	23	30	—	—	108
国際関係	28	17	6	10	—	—	61
危機管理		—	—	—	—	—	
スポーツ科	1	—	—	—	—	—	1
理工	45	50	40	86	—	—	221
生産工	35	10	8	12	—	—	65
工	5	1	5	1	—	—	12
医学							
歯							
松戸歯					1		1
生物資源科	12	6	7	3	1		29
薬							
計	270	212	184	280	2		948

短期大学部

学科	1年次	2年次	計
ビジネス教養		2	2
食物栄養			
建築・生活デザイン	1	1	2
ものづくり・サイエンス総合			
生命・物質化			
計	1	3	4

地域別外国人留学生数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

地域	アジア	ヨーロッパ
人数	170	1

大学院研究科（博士後期・博士課程）

地域	アジア	北米
人数	27	1

大学院研究科（専門職学位課程）

地域	アジア
人数	3

学部

地域	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	南米	ヨーロッパ
人数	918	5	3	1	10	2	9

短期大学部

地域	アジア
人数	4

（参考）

アジア	インド、インドネシア、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、香港、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、カンボジア、ラオス
中近東	サウジアラビア、トルコ
アフリカ	ケニア、ウガンダ
オセアニア	トンガ
北米	アメリカ
南米	コロンビア、コスタリカ
ヨーロッパ	ウクライナ、ウズベキスタン、英国、スイス、スウェーデン、ドイツ、フィンランド、ブルガリア、ロシア

4 学内奨学金制度

大学院研究科・学部

種 別	年 額	人数	給付総額(円)
古 田 奨 学 金	20万円	20	4,000,000
ロバート・F・ケネディ奨学金	20万円	20	4,000,000
アスリート奨学金	第1種 入学金, 授業料, 施設設備資金及び図書費 第2種 授業料, 施設設備資金及び図書費	5 15	12,380,000 31,400,000
附属高等学校等出身アスリート奨学金	第1種 入学金, 授業料, 施設設備資金及び図書費 第2種 図書費	6 5	14,490,000 7,200,000
小 澤 奨 学 金	12万円	9	1,080,000
オリジナル設計奨学金	20万円	6	1,200,000
日本大学事業部奨学金	24万円	115	27,600,000
創立100周年記念外国人留学生奨学金	授業料相当額	25	18,620,000
法 学 部 奨 学 金	第1種 30万円	22	6,600,000
	第2種 24万円	20	4,800,000
	第3種 往復航空運賃+留学先授業料 1年分相当額を上限とする	4	533,000
法 学 部 永 田 奨 学 金	12万円	15	1,800,000
法 学 部 山 岡 奨 学 金	12万円	12	1,440,000
法 学 部 杉 林 奨 学 金	12万円	10	1,200,000
法 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種 授業料等半期分相当額を上限とする	0	0
	第2種 24万円	7	1,680,000
	第3種 12万円	2	240,000
大 学 院 法 務 研 究 科 奨 学 金	第1種 既修 98万円	12	11,760,000
	第1種 未修 98万円	7	6,860,000
	第2種 既修(第3種支給額適用) 98万円	4	3,920,000
		50万円	6
	第2種 未修(第3種支給額適用) 98万円	2	1,960,000
		50万円	13
	第3種 既修 98万円	0	0
		未修 98万円	2
	第4種 既修 50万円	0	0
		未修 50万円	2
第5種 既修 50万円	3	1,500,000	
	未修 50万円	1	500,000
文 理 学 部 奨 学 金	第1種 学 部 24万円	54	12,960,000
		大学院 40万円	4
	第2種 学 部 24万円	2	480,000
		大学院 40万円	1
第3種 学費相当額を限度とする	0	0	
文 理 学 部 後 援 会 奨 学 金	学費支弁の困難な者 24万円	70	16,800,000
文 理 学 部 校 友 会 奨 学 金	学費支弁の困難な者 24万円	15	3,600,000
文 理 学 部 大 学 院 特 別 奨 学 金	授業料相当額	4	2,600,000
経 済 学 部 奨 学 金	第1種 36万円	6	2,160,000
	第2種 24万円	4	960,000
	第3種 24万円	0	0
(後期採用者) 12万円		1	120,000
経 済 学 部 後 援 会 奨 学 金	第1種 24万円	34	8,160,000
		(後期採用者) 12万円	11
	第2種 36万円	3	1,080,000
経 済 学 部 校 友 会 奨 学 金	12万円	9	1,080,000
経 済 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	授業料相当額+図書費+施設設備資金相当額(大学院)	1	1,300,000
商 学 部 後 援 会 奨 学 金	授業料相当額の半額	25	8,445,000
商 学 部 校 友 会 奨 学 金	授業料相当額の半額	5	1,705,000

種 別	年 額		人数	給付総額(円)
校友会準会員商学部奨学金	授業料相当額の半額		25	9,990,000
商学部菅奨励金	30万円		2	600,000
商学部奨学金	第1種	授業料相当額	9	6,570,000
	第2種	授業料相当額	17	11,050,000
	第3種	授業料相当額の半額	30	9,750,000
商学部絆奨学金	授業料相当額の半額		30	10,070,000
芸術学部奨学金	第1種	学部 授業料相当額を上限とする	5	4,590,000
	第2種	学部 50万円	0	0
		学部 30万円	5	1,500,000
		大学院 50万円	0	0
	第3種	大学院 30万円	2	600,000
		学部 授業料相当額を上限とする	0	0
	(被災学生)	大学院 授業料相当額を上限とする	1	600,000
第4種	東アジア地域 10万円	0	0	
	東アジア以外の地域 20万円	12	2,400,000	
芸術学部ジェームス&道子・ダン奨学金	10万円		1	100,000
国際関係学部奨学金	第1種	学部 授業料1年分相当額の半額	3	760,000
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
	第2種	学部 授業料1年分相当額の半額	0	0
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
	第3種	学部 授業料1年分相当額の半額	1	415,000
		大学院 授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大 授業料1年分相当額の半額	0	0
国際関係学部柳川海外交流奨学金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	大学院 50万円	0	0
三島後援会特別奨学金	下宿補助	学部 12万円	157	18,840,000
		大学院 12万円	0	0
		短大 12万円	14	1,680,000
	新幹線通学補助	学部 12万円	25	3,000,000
		大学院 12万円	0	0
		短大 12万円	2	240,000
	静岡駅利用者	学部 8万円	2	160,000
大学院 8万円		0	0	
短大 8万円		0	0	
国際関係学部校友会奨学金	第1種	学部 25万円	13	3,250,000
		短大 25万円	2	500,000
	第2種	学部 25万円	2	500,000
		短大 25万円	0	0
日本大学三島同窓会奨学金	国家試験	学部 5万円	0	0
		短大 5万円	0	0
理工学部奨学金	第1種	学部 40万円	30	12,000,000
		大学院 50万円	90	45,000,000
		短大 40万円	2	800,000
	第2種(留学生)	学部 40万円	2	800,000
		大学院 50万円	5	2,500,000
	短大 40万円	0	0	
理工学部後援会奨学金	50万円		46	23,000,000
理工学部校友会奨学金	12万円		10	1,200,000
生産工学部奨学金	第1種	60万円	9	5,400,000
	第2種	前期 30万円	4	1,200,000
		後期 30万円	5	1,500,000
	第3種	60万円	2	1,200,000

種 別	年 額	人数	給付総額(円)
生産工学部校友会奨学金	30万円,20万円,10万円から経済的困窮度に応じ	15	4,500,000
工 学 部 奨 学 金	第1種 60万円	6	3,600,000
	第2種 授業料相当額	1	980,000
	第3種 授業料の20%相当額	2	376,000
	第4種 36万円	18	6,480,000
工学部父母会・校友会給付奨学金	半期25万円	10	2,500,000
工学部五十嵐奨学金	10万円	12	1,200,000
医学部土岐奨学金	20万円	1	200,000
医学部永澤奨学金	20万円	0	0
医学部同窓会60周年記念医学奨励金	30万円	3	900,000
医学部特定医療奨学金	60万円	0	0
医学部同窓会就学奨学金	教育ローン利子相当額	0	0
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	第1種 20万円	5	1,000,000
	10万円	27	2,700,000
	第2種 10万円	5	500,000
歯 学 部 同 窓 会 奨 学 金	第3種 海外50万円以内	8	1,052,000
	学部 10万円	4	400,000
	大学院 5万円	4	200,000
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	第1種 10万円	38	3,800,000
	海外研修 20万円	0	0
	第2種 海外 50万円以内	15	1,377,370
	国内 5万円以内	42	1,513,950
松 戸 歯 学 部 大 竹 奨 学 金	10万円	2	200,000
生物資源科学部奨学金	授業料・施設設備資金相当額	9	12,220,000
生物資源科学部大森奨学金	20万円	11	2,200,000
生物資源科学部特別研究生奨学金	大学院 授業料相当額	11	5,700,000
生物資源科学部後援会奨学金	25万円以上60万円以内	40	17,890,000
生物資源科学部校友会奨学金	25万円以上60万円以内	15	6,860,000
薬 学 部 奨 学 金	第1種 50万円	1	500,000
	第2種 30万円	7	2,100,000
	第3種 30万円	0	0
薬 学 部 校 友 会 奨 学 金	20万円	2	400,000
薬 学 部 校 友 会 準 会 員 奨 学 金	30万円	7	2,100,000
薬 学 部 校 友 会 (桜 薬 会) 奨 学 金	20万円	3	600,000
薬 学 部 マ ツ モ ト キ ヨ シ 奨 学 金	第1種 30万円	5	1,500,000
薬 学 部 岩 崎 壽 毅 奨 学 金	30万円	10	3,000,000
通 信 教 育 部 奨 学 金	授業料相当額	8	780,000
通 信 教 育 部 坂 東 奨 学 金	授業料相当額	1	90,000
大学院総合社会情報研究科坂東奨学金	20万円	3	600,000
計		1,536	516,277,320

本学独自の奨学金（貸与）大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	貸与総額(円)
医学部同窓会就学奨学金	授業料相当額を限度	0	0
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	授業料相当額を限度	0	0
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	授業料相当額を限度	0	0
計		0	0

高等学校

学 校	名 称	年 額 (円)		人 数	給付総額 (円)
付 属 1 1 校	日本大学附属高等学校奨学金	240,000		49	11,760,000
	日本大学附属高等学校特待生	480,000		5	2,400,000
日 本 大 学	日本大学高等学校奨学金	第1種	200,000	8	1,600,000
		第2種		2	400,000
		第3種		4	400,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000		6	300,000
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	100,000	12	1,200,000
		第2種		5	500,000
	日本大学高等学校・中学校同窓会奨学金	第1種	100,000	3	300,000
		第2種		2	200,000
櫻 丘	日本大学附属高等学校特待生	444,000		4	1,776,000
	櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学金	100,000		3	300,000
	櫻丘高等学校後援会奨学金	第1種	100,000	3	300,000
第2種		4		400,000	
鶴 ケ 丘	日本大学附属高等学校特待生	444,000		2	888,000
	鶴ヶ丘高等学校奨学金	420,000		2	840,000
		第1種(2学年)	444,000	4	1,776,000
		第1種(3学年)	420,000	4	1,680,000
		第2種	444,000	6	2,664,000
	鶴ヶ丘高等学校英明奨学金	第1種	150,000	12	1,800,000
藤 沢	日本大学附属高等学校特待生	468,000		4	1,872,000
	藤沢高等学校奨学金	第1種	100,000	17	1,700,000
		第2種		4	400,000
		第3種		2	200,000
	藤沢高等学校スポーツ奨学生	第1種1号	863,000	4	3,452,000
		第1種2号	431,500	4	1,726,000
		第2種3号	633,000	8	5,064,000
		第2種4号	316,500	4	1,266,000
	藤沢高等学校特待生内規	学力A特待生	468,000	6	2,808,000
		学力B特待生	234,000	6	1,404,000
技能B特待生		234,000	9	2,106,000	
豊 山	日本大学附属高等学校特待生	450,000		2	900,000
	豊山高等学校育友奨学金	414,000		2	828,000
		第1種	150,000	5	750,000
			120,000	5	600,000
			90,000	1	90,000
			70,000	1	70,000
		第3種	600,000	6	3,600,000
			564,000	4	2,256,000
150,000	8		1,200,000		
豊 山 女 子	日本大学附属高等学校特待生	456,000		1	456,000
	豊山女子高等学校・中学校奨学金	426,000		2	852,000
	第1種	100,000	8	800,000	
三 島		日本大学附属高等学校特待生	372,000		3
	三島高等学校・中学校奨学金	348,000		3	1,044,000
	三島後援会奨学金	第2種	100,000	6	600,000
		第1種3号	120,000	30	3,600,000
		第2種1号	340,000	21	7,140,000
		第2種2号	170,000	20	3,400,000
		第2種3号	120,000	36	4,320,000
第3種3号	120,000	7	840,000		
明 誠	日本大学附属高等学校特待生	372,000		4	1,488,000
	明誠高等学校奨学金	120,000		10	1,200,000
	明誠高等学校永田奨学金	100,000		14	1,400,000
	明誠高等学校後援会奨学生	120,000		6	720,000
		100,000		33	3,300,000
		78,400		1	78,400
48,450		1	48,450		

山形	日本大学付属高等学校特待生	360,000		4	1,440,000
	山形高等学校スポーツ奨学金	第1種(1学年)	390,000	4	1,560,000
		第1種(2・3学年)	360,000	12	4,320,000
		第2種(1学年)	292,500	4	1,170,000
		第2種(2・3学年)	270,000	5	1,350,000
		第3種(1学年)	195,000	17	3,315,000
		第3種(2・3学年)	180,000	37	6,660,000
		第4種(1学年)	97,500	8	780,000
	第4種(2・3学年)	90,000	17	1,530,000	
山形高等学校奨学金	第1種	120,000	12	1,440,000	
習志野	日本大学付属高等学校特待生	372,000		2	744,000
		348,000		2	696,000
	石川奨学金	第1種(1・2学年)	372,000	3	1,116,000
		第1種(3学年)	348,000	3	1,044,000
	習志野高等学校後援会奨学金	第1種	100,000	15	1,500,000
第3種		5		500,000	
東北	日本大学付属高等学校特待生	324,000		4	1,296,000
	東北高等学校奨学金	第1種	324,000	10	3,240,000
		第2種		2	648,000
		第5種	200,000	4	800,000
	東北高等学校桜薔会奨学金	200,000		21	4,200,000
計				639	135,527,850

中学校

学 校	名 称	年 額 (円)		人 数	給付総額 (円)
日 本 大 学	日本大学付属高等学校特待生	480,000		3	1,440,000
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	100,000	4	400,000
		第2種		1	100,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000		1	50,000
藤 沢	日本大学付属高等学校特待生	468,000		2	936,000
	藤沢高等学校奨学金	第1種	100,000	4	400,000
	藤沢高等学校特待生内規	学力A特待生	468,000	2	936,000
学力B特待生		234,000	2	468,000	
豊 山	日本大学付属高等学校特待生	450,000		1	450,000
		414,000		2	828,000
	豊山高等学校育友奨学金	第1種	150,000	2	300,000
			120,000	2	240,000
			90,000	1	90,000
70,000			1	70,000	
	第3種	150,000	1	150,000	
豊 山 女 子	日本大学付属高等学校特待生	456,000		1	456,000
		426,000		1	426,000
	豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	100,000	4	400,000
三 島	日本大学付属高等学校特待生	372,000		1	372,000
		348,000		1	348,000
	三島高等学校・中学校奨学金	第1種3号	120,000	3	360,000
計				37	9,220,000

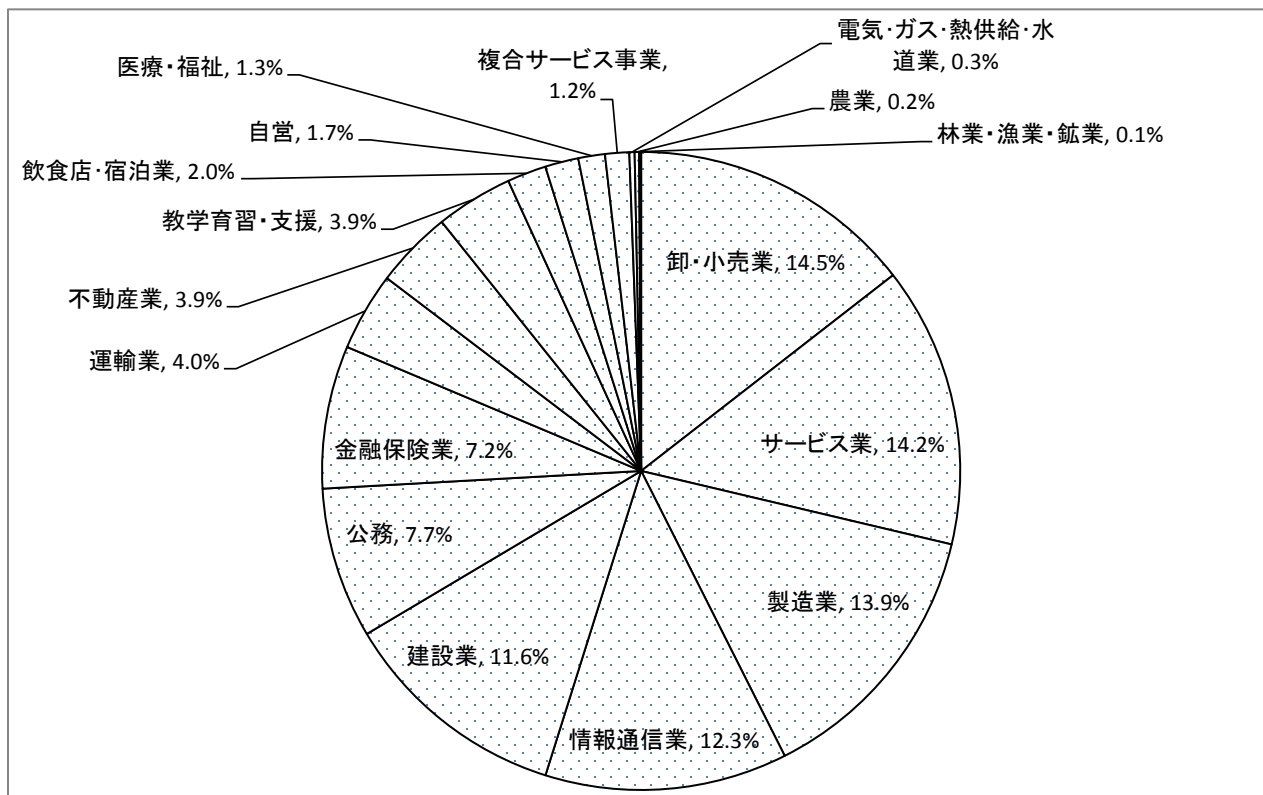
5 就職状況

※平成29年3月31日現在

就職率

学部名	卒業者数	就職者数 ①	就職活動中 ②	就職希望者 (①+②=③)	就職率 ①/③
法学部	1,572	1,275	36	1,311	97.25%
文理学部	1,845	1,442	42	1,484	97.17%
経済学部	1,465	1,275	70	1,345	94.80%
商学部	1,229	1,051	36	1,087	96.69%
芸術学部	889	632	108	740	85.41%
国際関係学部	694	579	32	611	94.76%
理工学部	2,120	1,538	5	1,543	99.68%
生産工学部	1,455	1,214	24	1,238	98.06%
工学部	947	775	4	779	99.49%
生物資源科学部	1,583	1,323	40	1,363	97.07%
薬学部	197	181	0	181	100.00%
合計	13,996	11,285	397	11,682	96.60%

※ 法学部と経済学部は第一部のみ。9月卒業者は含まない。



平成28年度主な就職先

鹿島建設(株) 熊谷組 積水ハウス(株) 大和ハウス工業(株) 伊藤園 伊藤ハム(株) エスピー食品(株) キューピー(株) サッポロビー ル(株) フジパングループ本社(株) 森永乳業(株) ヤクルト本社 山崎製パン(株) ロッテ クリナップ(株) 大日本印刷(株) 凸版印刷(株) アース製薬(株) エーザイ(株) エステー(株) 小野薬品工業(株) 杏林製薬(株) 資生堂 ゼリア新薬工業(株) 大鵬薬品工業(株) 日本ケミファ(株) ライオン(株) TOTO(株) アマノ(株) 小松製作所(株) セガゲームス キヤノン(株) 京セラ(株) ソニー(株) 東芝 日本アイ・ピー・エム(株) 日本電気(株) パナソニック(株) 富士通(株) 三菱電機(株) いすゞ自動車(株) トヨタ自動車(株) 日産自動車(株) 本田技研工業(株) ヤマハ発動機(株) 松下(株) ユニクロ 東京瓦斯(株) 東京電力(株) KDDI(株) ソフトバンク(株) 関西テレビ放送(株) 松竹(株) 日本放送協会(株) フジテレビジョン(株) ベネッセコーポレーション(株) 毎日新聞社(株) 毎日放送(株) U・S・E・N 読売テレビ放送(株) エヌ・ティ・ティ・データ ヤフー(株) 楽天(株) エイチ・アイ・エス ANAエアポートサービス(株) 山九(株) ジェイアール東海ツアーズ(株) JTB首都圏(株) JALスカイ 全日本空輸(株) 東海旅客鉄道(株) 東京地下鉄(株) 西日本旅客鉄道(株) 日本航空(株) 日本通運(株) 日本旅行 東日本旅客鉄道(株) ヤマト運輸(株) ドウシシャ(株) 大塚商会(株) サンリオ 富士電機(株) イオンリテール(株) セブン-イレブン・ジャパン(株) そごう・西武(株) 三越伊勢丹(株) マツモトキヨシ(株) ヨドバシカメラ(株) 京葉銀行(株) 千葉銀行(株) みずほフィナンシャルグループ(株) 三井住友銀行(株) 三菱東京UFJ銀行(株) ゆうちょ銀行(株) 横浜銀行(株) りそなホールディングス 城南信用金庫 城北信用金庫 大和証券(株) 野村證券(株) 住友生命保険(相) 第一生命保険(株) 東京海上日動火災保険(株) 日本生命保険(相) 三井住友海上火災保険(株) 明治安田生命保険(相) 東急リバブル(株) プリンセスホテル リゾートトラスト(株) 東京リーガルマインド 日本郵便(株) 読売広告社(株) 時事通信社

6 保健体育審議会所属競技部の主な成績

団体優勝部

競技部名	大会
陸上競技部	日本学生対校選手権大会(男子総合団体・トラック・フィールド・多種目)
	関東学生対校選手権大会(男子総合団体・多種目)
野球部	東都大学秋季リーグ戦
ボート部	全日本大学選手権大会(総合団体・エイト・舵手付フォア・舵手付ペア)
	全日本選手権大会(舵手付ペア)
相撲部	全国選抜大学・実業団和歌山大会
	全日本大学選抜金沢大会
	東日本学生リーグ戦
馬術部	全日本学生三大大会(総合団体・賞典障害飛越競技・賞典馬場競技・賞典総合馬術競技)
	関東学生三大大会(総合団体・障害飛越競技・学生賞典馬場競技・学生賞典総合競技)
	関東学生自馬大会(4種目総合・男子団体・男子馬場馬術競技・男子障害馬術競技) (女子団体・女子馬場馬術競技・女子障害馬術競技)
	東都学生大会(総合団体・障害飛越競技・学生賞典馬場競技・複合競技)
空手部	和道全国大会(男子総合団体・女子総合団体)
射撃部	全日本学生選手権大会(男女総合団体・男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M)
	日本学生選抜選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M)
	東日本学生選手権大会(男子総合団体・10mS60M)
	春季関東学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・10mS60M・50mP60M・女子10mS40W) 秋季関東学生選手権大会(男子10mS60M・女子10mS40W)
重量挙げ部	全日本大学対抗選手権大会
	東日本大学対抗選手権大会
ボクシング部	全日本大学王座決定戦
	関東大学リーグ戦
スキー部	全日本学生選手権大会(女子総合団体)
ヨット部	全日本学生選手権大会(470級)
	全日本学生女子選手権大会(女子総合団体・スナイプ級)
	関東学生春季選手権大会(470級)
	関東学生女子春季選手権大会(女子総合団体・スナイプ級) 関東学生女子秋季選手権大会(女子総合団体・スナイプ級)
フェンシング部	全日本選手権大会(女子エペ・女子フルーレ)
	全日本学生選手権大会(女子サーブル・女子エペ)
	関東学生選手権大会(男子エペ・女子サーブル) 関東学生リーグ戦(女子サーブル)
バドミントン部	東日本学生選手権大会 関東大学春季リーグ戦

※優勝部13部(全日本11部・関東2部)

個人優勝者

競技部名	氏名	大会	種目
陸上競技部	三 武 潤	日本学生対校選手権大会	800m
	松 原 拓 矢	関東学生対校選手権大会	ハンマー投
	武 田 歴 次	日本学生対校選手権大会	砲丸投
	〃	関東学生対校選手権大会	砲丸投
	パトリック・マテング・クンブリ	日本学生対校選手権大会	10000m
	〃	日本学生対校選手権大会	5000m
	〃	関東学生対校選手権大会	10000m
	〃	関東学生対校選手権大会	5000m
水泳部	潮 崎 傑	関東学生対校選手権大会	十種競技
	寺 村 美 穂	日本選手権大会	200m個人メドレー
	〃	日本選手権大会(25m)	200m個人メドレー
	〃	日本選手権大会(25m)	100m平泳ぎ
	山 根 結 衣	関東学生選手権大会	100m自由形
〃	関東学生選手権大会	50m自由形	

競技部名	氏名	大会	種目
ボート部	古米峻知	全日本大学選手権大会	シングルスカル
柔道部	安達裕助	東京学生体重別選手権大会	100kg級
	向翔一郎	全日本学生体重別選手権大会	90kg級
	〃	東京学生体重別選手権大会	90kg級
	佐藤和哉	東京学生体重別選手権大会	100超級
	滝川真央	東京学生体重別選手権大会	78kg超級
相撲部	トウルボルド	世界選手権大会	無差別級
	〃	全国学生選手権大会	
	〃	全国選抜大学実業団対抗和歌山大会	
	〃	全国大学選抜宇佐大会	
	〃	全日本大学選抜十和田大会	
	比嘉雄紀	東日本学生個人体重別選手権大会	100kg未満級
	小山内力樹	東日本学生選手権大会	
	兼平志織	アジア女子選手権大会	中量級
	〃	全日本女子選手権大会	中量級
	〃	全国学生女子選手権大会	中量級
	〃	全日本女子郡上大会	中量級
〃	全日本選抜女子大会	中量級	
〃	松尾清香	全国学生女子選手権大会	軽量級
弓道部	新岡琢哉	全日本学生選手権大会	近的競技
馬術部	沖廣諒一	FISU世界大学選手権大会	個人総合
	〃	全日本学生三大大会	学生賞典障害飛越競技
	〃	オリンピック記念大会	学生賞典馬場馬術競技
	〃	東都学生競技大会	学生賞典馬場馬術競技
	〃	東都学生競技大会	複合馬術競技
	〃	関東学生三大大会	学生賞典馬場馬術競技
	〃	東京都大会	FEIヤングライダー予選
	菅原権太郎	全日本学生選手権大会	
	森彩香	東都学生競技大会	一般障害飛越競技
	渡邊瑞生	オリンピック記念大会	馬場馬術科目A
	〃	関東学生女子選手権大会	
	細川映里香	関東学生女子競技大会	障害馬術競技
	吉永一篤	全日本学生三大大会	学生賞典障害飛越競技
	大岩桃子	東都学生競技大会	新人馬場馬術競技
	磯野太	関東学生男子競技大会	障害馬術競技
広瀬楓	東都学生競技大会	新人障害飛越競技	
柿平紗枝	関東学生女子競技大会	馬場馬術競技	
自転車部	片桐善也	東日本学生選手権トラック競技大会	男子ポイントレース
	佐々木眞也	東日本学生選手権トラック競技大会	男子インディヴィデュアルパシュート
	岡本隼	アジア選手権大会	男子U23ロードレース
	〃	全日本学生選手権トラック競技大会	男子ポイントレース
	〃	国民体育大会	男子ポイントレース
	沢田桂太郎	全日本学生選手権トラック競技大会	男子スプリント
武山晃輔	国民体育大会	個人ロードレース	
空手部	吉原千花	和道全国大会	女子組手
	櫻井隼人	和道全国大会	男子組手
射撃部	小林郁弥	全日本学生選手権大会	50m3×40M
	〃	全日本学生選手権大会	50mP60M
	〃	日本学生選抜選手権大会	50mP60M
	〃	東日本学生選手権大会	50m3×20M
	〃	春季関東学生選手権大会	50m3×40M
	〃	春季関東学生選手権大会	10mS60M
	清川佑介	東日本学生選手権大会	10mS60M
	福富賢太	春季関東学生選手権大会	50mP60M
	小林由斉	秋季関東学生選手権大会	50mP60M
	遠藤雅也	秋季関東学生選手権大会	10mS60M
	佐成優偉麗	秋季関東学生選手権大会	10mAP40

競技部名	氏名	大会	種目
重量挙げ部	押田 真	全日本大学対抗選手権大会	62kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	〃	国民体育大会	62kg級トータル
	〃	東日本大学対抗選手権大会	62kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	青野 靖希	東日本大学対抗選手権大会	85kg級(ジャーク・トータル)
	多田 佳弘	世界大学選手権大会	105kg級(ジャーク・トータル)
	〃	全日本選手権大会	105kg級スナッチ
	〃	全日本大学対抗選手権大会	105kg級(ジャーク・トータル)
	〃	全日本学生選抜大会	105kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	〃	東日本大学対抗選手権大会	105kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	奈良 信也	東日本学生個人選手権大会	85kg級(スナッチ・ジャーク・トータル)
	近内 三孝	全日本大学対抗選手権大会	77kg級スナッチ
	〃	全日本学生個人選手権大会	77kg級(スナッチ・トータル)
	〃	東日本大学対抗選手権大会	69kg級スナッチ
村上 英士朗	全日本選手権大会	105kg超級スナッチ	
〃	全日本大学対抗選手権大会	105kg超級スナッチ	
〃	東日本大学対抗選手権大会	105kg超級(スナッチ・ジャーク・トータル)	
ボクシング部	高倉 久生	国民体育大会	ライトヘビー級
	坪井 智也	全日本選手権大会	ライトフライ級
	〃	国民体育大会	ライトフライ級
スキー部	小島 寛則	全日本学生選手権大会	男子リレー
	山口 夏未	全日本学生選手権大会	女子スーパー大回転
	小林 竜登	全日本学生チャンピオン大会	男子大回転
	星野 壮生	全日本学生選手権大会	男子リレー
	松村 亜斗夢	全日本学生選手権大会	男子リレー
	児玉 美希	全日本学生チャンピオン大会	女子5kmクラシカル
	〃	全日本学生選手権大会	女子10kmフリー
	岩佐 明香	ユニバーシアード冬季大会	女子スペシャルジャンプ
	〃	雪印メグミルク杯全日本ジャンプ大会	女子スペシャルジャンプ
	〃	全日本学生選手権大会	女子スペシャルジャンプ
スケート部	土屋 正恵	国民体育大会	成年女子A 5kmクラシカル
	竹原 義之	全日本学生選手権大会	男子リレー
	後藤 卓也	日本学生氷上競技選手権大会	男子2000mリレー
	牛山 紘貴	国民体育大会	成年男子2000mリレー
	佐々木 奨之	日本学生氷上競技選手権大会	男子2000mリレー
	山田 将矢	日本学生氷上競技選手権大会	男子2000mリレー
	伊藤 貴裕	全日本学生選手権大会	総合部門(10000m)
松井 大和	日本学生氷上競技選手権大会	男子2000mリレー	
レスリング部	阿部 梨乃	全日本学生選手権大会	女子フリースタイル75kg級
	〃	全日本社会人選手権大会	女子フリースタイル75kg級
	坂野 結衣	デーブ・シュルツ国際大会	女子フリースタイル60kg級
	〃	リオデジャネイロオリンピックプレ大会	女子フリースタイル58kg級
	〃	全日本学生選手権大会	女子フリースタイル60kg級
	倉舘 愛	全日本社会人選手権大会	女子フリースタイル55kg級
	古市 雅子	クリッパン国際大会	女子フリースタイル69kg級
	〃	デーブ・シュルツ国際大会	女子フリースタイル75kg級
	〃	ゴールデングランプリ大会	女子フリースタイル69kg級
	〃	全日本選抜選手権大会	女子フリースタイル69kg級
矢後 愛佳	東日本学生女子選手権大会	女子フリースタイル60kg級	
ヨット部	池田 紅葉	全日本学生女子選手権大会	スナイプ級
	林 佳奈	全日本学生女子選手権大会	スナイプ級
	工藤 彩乃	全日本470級女子選手権大会	470級
フェンシング部	山田 優	全日本学生個人選手権大会	男子エペ
	〃	関東学生選手権大会	男子エペ
	小栗 千紗絵	全日本学生個人選手権大会	女子サーブル
	黒木 夢	関東学生選手権大会	女子エペ
	檜谷 幸	関東学生剛騎杯	女子サーブル
馬場 晴菜	関東学生剛騎杯	女子エペ	
ゴルフ部	阿久津 未来也	日本学生選手権	
	北山 健太郎	関東アマチュア選手権	

※個人優勝者79名(全日本51名, 東日本関東28名)

7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業

校友数

校友数

1,147,082名(正会員24,393名)

※ 平成29年3月現在

校友会組織

日本大学校友会（校友会本部事務局）

都道府県支部（65支部）

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・十勝・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一:千代田・中央・港・新宿・文京・台東), (東京都第二:品川・大田)
(東京都第三:目黒・世田谷), (東京都第四:渋谷・中野・杉並)
(東京都第五:豊島・北・板橋・練馬), (東京都第六:墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)
(東京都第七:23区以外全域)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会（16部会）

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信教育部

職域別部会（4部会）

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会（77団体）

鴻池組桜門会桜鴻会, 八丁堀警備桜門会, ライフ桜門会, 町田桜門会, フジパスク(株)世田谷桜門会, 土浦桜門会, 日本大学櫻門三崎倶楽部, 日本大学相撲桜門会, 日本大学全国相撲桜門会, 柔道桜門会, フェニックス桜門会, 関電工桜門会, 桜門六会会, 日大テニス桜門会, 日本大学応援団本部(桜応会), 日本大学剣道部桜門会, 日本大学弓道桜門会, 日本大学準硬式野球部桜門会, 体操桜門会, 重量挙げ桜門会, 山岳部桜門会, スキー部桜門会, 日本大学スケート部桜門会, 日本大学バスケットボール桜門会, レスリング桜門会, 八幡山サッカー桜門会, ヨットクラブ桜門会, 日本大学フェンシング部桜門会, ハンドボール桜門会, 飛鳥桜門会, 射撃部桜門会, 桜門・報道クラブ, 六興電気(株)桜門会, 日本大学湘南桜門会, ホクシング部桜門会, 日本大学自動車部桜門会, 不動産・建設桜門会, 成田桜門会, TSUCHIYA桜門会, 日本大学合唱団桜門会, 全国社会保険労務士桜門会, 新生テニス桜門会, NBS桜門会, ニッタン桜門会, レadies桜門会, 沼津桜門会, 日本大学櫻下桜門会, 日本大学拳法部桜門会, 日本大学空手部桜門会, 佐藤工業桜門会, 行政書士桜門会, ラグビー桜門会, 日本大学税理士桜門会, 日本大学ハレーボール部桜門会, 村本建設桜門会, (株)加賀田組桜門会校友会, 日本大学自転車部桜門会, ゴルフ部桜門会, 東京美装興業桜門会, ボート部桜門会, 桜門ニューリーダーズ倶楽部, 宮崎日本大学学園桜門会, 桜門社長会, アインク桜門会, 日本電設工業桜門会, 坂田桂三ゼミ桜門会, しんきん桜門会, 桜門工業クラブ桜友会, 長谷川体育施設(株)桜門会, 桜門水泳会, 桜門卓球会, 弁理士桜門会, 駅伝桜門会, ハドミント桜門会, 合気道桜門会, 日本大学少林寺拳法部桜門会, 清瀬桜門会

海外特別支部（8支部）

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア

校友会関係行事

地区	行 事	実 施 日(場 所)
校友会本部	全国校友大会	11/4(東京ドームホテル)
	校友会役員総会	7/1(東京ドームホテル)
	校友会常任委員会(2回)	6/17, 12/16(日本大学桜門会館)
	校友会会長・副会長会(3回)	6/17, 12/16, 29/3/10(日本大学桜門会館他)
	校友会常任会(7回)	4/7,5/6,6/3,10/7,10/28,12/2,29/2/3(日本大学桜門会館)
	総務委員会(5回)	4/25,5/31,7/13,10/24,29/2/15(日本大学桜門会館)
	財務委員会(6回)	4/27, 5/23, 10/25, 11/29,29/2/8,29/3/14(日本大学桜門会館)
	企画委員会(5回)	4/14,9/9, 10/12, 12/13, 29/2/23(日本大学桜門会館)
	広報委員会(2回)	7/5, 29/2/27(日本大学桜門会館)
	組織委員会(3回)	4/20, 9/21, 29/3/6(日本大学桜門会館)
	桜門会館運営委員会(2回)	11/25, 29/2/13(日本大学桜門会館)
	スポーツ振興特別委員会(1回)	5/13(日本大学会館)
北 海 道	札幌支部総会	7/6(札幌パークホテル)
	旭川支部総会	7/26(アートホテルズ旭川)
	小樽支部総会	10/15(ホテルノルド小樽)
	十勝支部総会	5/28(十勝ガーデンズホテル)
	苫小牧支部総会	29/2/25(グランドホテルニュー王子)
	網走支部会員の集い	29/2/4(網走セントラルホテル)
	釧路支部総会	10/28(ANAクラウンプラザ釧路)
東 北	青森県支部総会	5/22(ラ・プラス青い森)
	岩手県支部総会	11/6(ホテルメトロポリタン盛岡本館)
	宮城県支部総会	7/27(ホテルメトロポリタン仙台)
	秋田県支部総会	9/24(秋田キャッスルホテル)
	山形県支部総会	7/8(ホテルメトロポリタン山形)
	福島県支部総会	9/3(郡山ビューホテルアネックス)
関 東	茨城県支部総会	5/13(水戸京成ホテル)
	栃木県支部総会	7/22(二荒山会館)
	群馬県支部総会	7/23(前橋テルサ)
	埼玉県支部総会	29/3/20(ラフォーレ清水園)
	千葉県支部総会	10/22(京成ホテルミラマーレ)
	神奈川県支部総会	7/15(ローズホテル横浜)
	川崎支部総会	7/25(川崎日航ホテル)
	山梨県支部総会	29/1/20(ベルクラシック甲府)
東 京	東京都第一支部総会	6/28(アルカディア市ヶ谷)
	東京都第二支部総会	10/26(銀座アスター蒲田賓館)
	東京都第三支部役員総会	7/2(文理学部)
	東京都第四支部総会	9/3(中野サンプラザ)
	東京都第五支部総会	10/20(ホテルベルクラシック東京)
	東京都第六支部総会	6/15(アンフェリシオン)
	東京都第七支部総会	6/25(八王子エルシイ)
東 海	岐阜県支部総会	9/22(ロワジールホテル大垣)
	静岡県支部総会	29/2/18(ホテルクラウンパレス浜松)
	愛知県支部総会	11/24(名鉄ニューグランドホテル)
	三重県支部総会	29/2/5(和田金)
北 信 越	新潟県支部創立90周年記念式典	7/23(新潟グランドホテル)
	富山県支部役員総会	7/31(ホテルニューオータニ高岡)
	石川県支部役員会	7/16(ANAクラウンプラザホテル金沢)
	福井県支部総会	11/12(ザ・グランユアーズフクイ)
	長野県支部総会	—
長野県北信支部役員総会	7/8(長野ホテル犀北館)	
近 畿	滋賀県支部総会	6/4(ロイヤルオークホテル スパ&ガーデン)
	京都支部総会	10/29(東華菜館本店)
	大阪支部総会	11/3(ウェスティンホテル大阪)
	兵庫県支部総会	6/18(ラヴィマーナ神戸)
	奈良県支部総会	7/2(橿原ロイヤルホテル)
	和歌山県支部総会	7/23(ホテルグランヴィア和歌山)
中 国	鳥取県支部総会	9/19(皆生グランドホテル天水)
	島根県支部総会	29/2/19(ニューウェルシティ出雲)
	岡山県支部総会	—

地区	行事	実施日(場所)
	広島県支部総会 山口県支部総会	8/27(ホテルグランヴィア広島) 7/9(ホテルかめ福)
四 国	徳島県支部総会 香川県支部総会 愛媛県支部総会 高知県支部総会	11/12(阿波観光ホテル) — 11/12(松山全日空ホテル) 29/3/11(ホテル日航高知旭ロイヤル)
九 州	九州・沖縄ブロック支部長会議 福岡県支部総会 北九州支部総会 佐賀県支部総会 長崎支部総会 佐世保支部総会 熊本県支部創立50周年記念総会 大分県支部総会 宮崎県支部総会 鹿児島県支部総会 沖縄県支部総会	11/26(ソラリア西鉄ホテル) 7/23(平和楼天神本店) 9/22(ステーションホテル小倉) 11/19(旅館あけぼの) 7/30(京華園) 7/29(JAさせぼホール) 10/8(ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ) 7/16(トキハ会館) 29/1/21(宮崎観光ホテル) 9/16(山形屋) 8/26(沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ)
学部別部会	本部・大学院校友会役員総会 法学部校友会総会 文理学部校友会総会 経済学部校友会役員総会 経済学部校友会発足80周年記念式典 商学部校友会総会 芸術学部校友会総会 国際関係学部校友会総会 理工学部校友会総会 生産工学部校友会総会 工学部校友会総会 医学部同窓会総会 歯学部同窓会総会 松戸歯学部同窓会総会 松戸歯学部同窓会創立40周年記念式典 生物資源科学部校友会総会 薬学部校友会総会 通信教育部校友会総会	29/3/28(日本大学会館) 5/13(アルカディア市ヶ谷) 7/2(文理学部) 5/24(日本大学桜門会館) 10/18(東京ドームホテル) 5/26(ハイアットリージェンシー東京) 6/18(芸術学部) 7/16(みしまプラザホテル) 6/17(東京ガーデンパレス) 6/18(市川グランドホテル) 4/16(工学部50周年記念館) 4/17(日本大学病院5階大会議室) 5/22(歯学部) 6/19(日本大学桜門会館) 29/2/5(東京ドームホテル) 7/9(生物資源科学部) 6/25(薬学部) 5/21(日本大学桜門会館)
職域別部会	全国桜師会総会 日本大学法曹会総会 桜門会計人会総会 全国桜門スポーツ部会総会	7/29(日本大学会館) 5/27(日本大学桜門会館) 7/5(日本大学桜門会館) 6/15(日本大学会館)
桜 門 会	町田桜門会総会 湘南桜門会総会 成田桜門会総会 TSUCHIYA桜門会総会 全国社会保険労務士桜門会総会 沼津桜門会総会 税理士桜門会総会 桜門社長会総会	4/9(ホテルラポール千寿閣) 29/3/11(湘南クリスタルホテル) 5/21(成田ビューホテル) 6/4(日本大学桜門会館) 6/18(日本大学桜門会館) 10/14(たくみ農園) 7/30(日本大学桜門会館) 5/17(日本大学桜門会館)
海 外	台湾特別支部総会	12/11(ホテル・リビエラ会館)

校友会事業

会報

会報誌名	配布対象	発行回数	発行部数
kizuna	校友	年1回	55万部
桜 縁	正会員・準会員	年2回	各15万部

校友会正会員事業

- 1 校友子女入試の推進
- 2 全国校友大会の開催
- 3 箱根駅伝を含む日大スポーツの振興と推進

校友会準会員事業

- 1 スポーツ優勝者表彰
- 2 スポーツに対する奨励金交付
- 3 全学文化事業(NU祭)支援
- 4 校友会(準会員)の診療費助成
- 5 校友会独自の奨学制度
- 6 校友子女入試における特別優待生制度の拡
- 7 就職活動への支援

8 公開講座

名 称	テ ー マ
第39回日本大学軽井沢公開講座 後援：軽井沢町 軽井沢町教育委員会	「自然災害を知るー過去の浅間山噴火から分かること」 「ケガへの備えも万全に！スポーツで健康長生き」
文学部公開講座 前期テーマ： 「自然科学でみる私たちの生活」	東京に影響を及ぼす火山噴火と噴火予知研究 生活・災害と地理情報システムの利用 コンピュータと私たちの生活 ルービックキューブと群論 音楽で理解する情報科学のいろは 放射性物質を使って時間を測る 身近な発光現象の物理とその応用 私たちの遺伝子と私たちの生活
文学部公開講座 後期テーマ： 「長寿と健康を求めて」	長寿者の秘密 ① 少子高齢化 ① 少子高齢化 ② 膝の痛みと運動療法 長寿者の秘密 ② 腰の痛みと運動療法 認知症と食事の関係 大腸がんと食事の関係
商学部公開講演会 統一テーマ： 「中小零細企業の経営会計問題」 後援：世田谷区	中小零細企業を巡る日欧の動き 中小零細企業の会計と税制 中小零細企業の経営と金融
芸術学部江古田校舎公開講座 「描く楽しみ 造る楽しみ 刷る楽しみ」 共済：練馬区	基礎の基礎を知るデッサン講座 ー描いて知ってまた描くー 彫刻入門 ー木片を組み合わせて造る立体ー 版画を楽しむ ー版と活字の印刷ー
芸術学部所沢校舎公開講座 「描く楽しみ 造る楽しみ 刷る楽しみ」	基礎の基礎を知るデッサン講座 ー描いて知ってまた描くー 彫刻入門 ー木片を組み合わせて造る立体ー 版画を楽しむ ー版と活字の印刷ー
国際関係学部 上期市民公開講座 統一テーマ：「グローバル化時代を考える」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 しずおか県民カレッジ連携講座	1 北極海の氷がなくなる！？そのとき、地球は？ 2 グローバルにつながりローカルに生きるアフリカの先住民 3 急増するASEAN向け投資とその背景 4 グローバル社会で必要とされるコミュニケーション能力について 5 国際交流の現場で考えたこと-米国留学と日米の大学での教授経験を通して-
下期市民公開講座 統一テーマ：「生活習慣と健康」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 しずおか県民カレッジ連携講座	1 おいしく食べて、脳いきいき 2 薬（クスリ）はリスク？ 3 きれいな歯が身体の健康を保つ 4 中高年のための健康術 5 考えてみませんか、健康と食生活
理工学部 第55回公開市民大学講座 「未来を拓く」 後援：千葉県・船橋市・習志野 市・鎌ヶ谷市・八千代市 教育委員会 東葉高速鉄道株式会社	社会を変える情報技術 テニス教室 はやぶさと人工流れ星 動くことを習慣に 未来へ向け変革する電子工学 次の日本を担う学生像
第29回図書館公開講座 後援：千代田区	地震は揺らすのが壊さない ～地震と建物のふしぎな関係～ □
第30回図書館公開講座 後援：千代田区	超小型人工衛星によるこれからの宇宙利用
生産工学部 公開講座(前期) 協力：習志野市	公開講座Ⅰ「防災講座2016ー建物の基礎・土砂災害ー」
生産工学部 公開講座(前期)	公開講座Ⅱ「サウンドスケープにおけるバリ島のガムラン音楽」
生産工学部 公開セミナー(前期)	公開セミナーⅠ「パソコン入門講座」 公開セミナーⅡ「生涯スポーツ（ゴルフ）」 公開セミナーⅢ「ロボットで遊ぼう」 公開セミナーⅣ「生涯スポーツ（水泳）～泳げるようになろう・楽に泳ごう～」

名 称	テ ー マ
生産工学部 公開講座(後期)	公開講座Ⅰ「もしもの時に備えて、通院・入院医療費から在宅医療・訪問看護まで、医療費の仕組みを学んでみませんか？」 公開講座Ⅱ「modern 書 artは 人の心を優しく包む」
生産工学部公開セミナー(後期)	公開セミナーⅠ少年野球教室
工学部 教養講座 総合テーマ「未来へ～東日本大震災を経験して～」	なぜ、23才以下日本代表はリオオリンピックに出場できるのか！ 我が野球人生～野村・長嶋・星野に学ぶ～ 宇宙生命は存在するか？～天文学からのアプローチ～ 子どもたちの未来のために考えたい、エネルギーや環境のこと どうなる日本！～日本の未来を語る～
医学部 共催：板橋区教育委員会 テーマ：「ご機嫌に生きる ―最新医学の話題―」	胃がんで死なないために 生活習慣病 きこえていますか？ 耳よりな話 貧血と多血 ”いつまでも元気でいてね！” ～不整脈と脳卒中、心不全の最新医療～ がん細胞を見る ～病理医の役割～
歯学部 公開講座 後援：千代田区	入れ歯と上手につきあうために
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	お口の健康を保って、健康寿命を延ばそう！ ―プロが教える入れ歯との正しい付き合い方―
歯学部生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(20)」	歯科医師の法的責任と医療事故調査制度について
歯学部生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(21)」	摂食嚥下障害・要介護高齢者への口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション
松戸歯学部 市民大学講座 松戸歯学部・松戸市教育委員会 生涯学習推進課連携	健康長寿を目指して ～誤嚥や窒息を起こさないために～ 生活習慣から健康寿命を考える 加齢のコントロールは口の健康から ―歯みがき指導―
生物資源科学部 科学技術公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	『気候変動が作物生産に及ぼす影響―実験と数値シミュレーションから学ぶこと』□
生物資源科学部 市民講座 統一テーマ：「微生物のちから」 共催：藤沢市教育委員会	有用物質をつくる微生物 環境をまもる微生物 食品をつくる微生物 役に立つ微生物をみつける
生物資源科学部 秋季特別公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	「健康長寿時代の予防栄養学―病気を防ぐ食品成分の作用と役割―」□
生物資源科学部 六会公民館共催講座 テーマ：「ブルーベリーの育て方とジャムづくり」	ブルーベリー栽培の基礎知識 持ち帰り用苗の鉢へ植えかえ 栽培管理法、さし木繁殖(緑枝ざし) 栽培管理法、収穫、ジャムづくり 栽培管理法、さし木苗の鉢上げ
薬学部 第19回公開講座 協賛：(公社)日本薬学会 後援：(一社)千葉県薬剤師会	講演会 「口は健康への窓口 ―口腔ケアと健康―」 施設公開 薬用植物園
第22回薬学部薬草教室	講演会 「芍薬」 薬用植物園ガイド
第23回薬学部薬草教室	講演会 「薬草サプリメントの正しい知識 ～情報の解釈の仕方～」 薬用植物園ガイド
大学院総合社会情報研究科 公開講座	ウラジーミル・ナボコフの人生と文学

9 学外研究費採択状況/学内研究/知的財産

学外研究費採択状況

科学研究費助成事業—科研費—

学 部		採択(新規)		採択(新規・継続)			
		件数	交付額 (千円)	件数	直接経費	間接経費	交付額 (千円)
大学	法	4	4,680	11	8,400	2,520	10,920
	文理	30	94,110	69	114,500	33,390	147,890
	経済	9	12,480	31	40,600	12,180	52,780
	商	8	9,399	23	22,030	6,609	28,639
	芸術	4	3,640	12	9,600	2,880	12,480
	国際関係	2	1,950	5	3,300	990	4,290
	三茶	2	1,950	5	4,000	1,200	5,200
	理工	31	58,160	83	93,930	27,969	121,899
	生産工	13	27,160	53	60,100	16,980	77,080
	工	17	36,300	54	73,100	21,570	94,670
	医	25	47,970	81	146,600	43,680	190,280
	歯	26	50,050	69	82,600	24,780	107,380
	松戸歯	16	25,610	52	52,750	15,825	68,575
	生物資源	24	57,060	77	105,900	30,900	136,800
	薬	0	0	10	9,800	2,940	12,740
	通信教育	0	0	1	800	240	1,040
	本部	3	4,420	11	16,100	4,830	20,930
	小 計	214	434,939	647	844,110	249,483	1,093,593
短期 大学部	三島	2	5,070	2	3,900	1,170	5,070
	船橋	1	2,860	3	8,500	2,970	11,470
	小 計	3	7,930	5	12,400	4,140	16,540
合 計		217	442,869	652	856,510	253,623	1,110,133

大学教育・学生支援関係プログラム等の取組状況

プログラム等名称	申請学部等	取組名称等	期間
大学間連携共同教育推進事業	工学部 ※1	ふくしまの未来を拓く「強い人材」 づくり共同教育プログラム	平成24年度～ 平成28年度
	生物資源科学部 ※2	グローバル社会を担う次世代型獣医 学系大学教育機構の構築	平成24年度～ 平成28年度

※1 福島大学ほか14の大学・短大・高等専門学校と共同

※2 東京大学, 日本獣医生命科学大学, 麻布大学と共同

理事長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
危機管理学の構築とレジリエントな大学の創造のための総合的研究	教授 福田 充	教員:危機管理学部, 法学部, 文理学部, スポーツ科学部 職員:理工学部, 本部総務部, 本部学生支援部, 豊山高校	59,154
「自主創造型パーソン」の育成を目標とした全学共通教育における効果的なアクティブ・ラーニング開発に関する研究—学部横断型教育の実現と中途退学者防止対策を含む学修支援体制の構築について—	教授 近藤 健史	教員:通信教育部, 法学部, 経済学部, 商学部, 危機管理学部, 生産工学部, 医学部, 医学部看護専門学校, 歯学部, 松戸歯学部, 生物資源科学部, 薬学部, 短期大学部(船橋校舎), 豊山女子高校 職員:法学部, 文理学部, 三軒茶屋キャンパス, 商学部, 薬学部, 通信教育部, 本部学務部, 本部研究推進部	44,580

学長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
成熟細胞脱分化による組織再生メカニズムの解明と脱分化培養技術を用いた細胞治療開発	教授 松本 太郎	医学部, 生産工学部, 歯学部, 生物資源科学部	116,000
日本大学発 スマートアグリカルチャーの創出と産業化を目指した技術開発	准教授 窪田 聡	生物資源科学部, 国際関係学部, 理工学部, 薬学部	73,800

発明・技術移転

※平成29年3月31日現在

発明関係

発明届出件数	特許出願件数		計	(単年度)
	国内	国外		
72	63	12	75	

情報開示件数

1,031 (累計)

保有特許件数

国内	外国
323	87

技術移転関係

技術移転件数	ロイヤルティー		(単年度)
	延べ件数	入金額(円)	
36	73	119,783,089	

10 主な工事/土地面積/土地購入/蔵書数

主な工事

部 科 校 名	工 事 内 容
本 部	認定こども園開設事業に伴う園舎新築工事 鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積2,148.15㎡
	稲城学生寮（仮称）新築工事 鉄骨造 4階建 延床面積6,542.52㎡
	保健体育審議会稲城学生寮（仮称）新築工事 鉄骨造 3階建 延床面積3,100.61㎡
	保健体育審議会テニス部学生寮新築工事 鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積694.68㎡
文 理 学 部	新本館（仮称）新築工事【一部完成】 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建 延床面積21,944.25㎡ ※解体・外構：平成30年3月完成予定【完成】
	櫻丘高等学校新館・新体育館（仮称）新築工事【一部完成】 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 5階建 延床面積8,839.35㎡ ※解体・グラウンド：平成29年11月完成予定【完成】
経 済 学 部	新校舎新築工事 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下2階地上14階建 延床面積14,515.09㎡
生 物 資 源 科 学 部	西富士校地新実習棟（仮称）新築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建 延床面積1,252.91㎡
国 際 関 係 学 部	三島高等学校総合体育館新築工事 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造，鉄骨造 3階建 延床面積8,232.80㎡
豊 山 高 等 学 校	板橋（中台）校地総合グラウンド改修工事

土地・建物延面積

部 科 校 名	土地(実測面積) (㎡)	建物(公簿延面積) (㎡)
本部	895,999.28	142,977.92
日本大学病院	0.00	29,569.61
法学部	184,441.51	70,295.52
文学部	137,378.68	138,490.40
経済学部	125,824.85	56,400.99
商学部	124,057.23	52,558.51
芸術学部	147,547.75	93,241.53
国際関係学部	215,108.17	86,243.53
三軒茶屋キャンパス	15,290.16	44,413.45
理工学部	618,636.03	174,245.60
生産工学部	226,083.43	135,983.14
工学部	401,836.44	128,180.88
医学部	56,254.22	43,881.57
板橋病院	0.00	55,767.82
歯学部	29,647.38	20,716.75
歯科病院	0.00	6,222.48
松戸歯学部	47,964.37	41,263.78
松戸歯科病院	2,830.71	9,638.17
生物資源科学部	27,696,997.88	209,592.07
薬学部	52,053.19	31,844.43
通信教育部	912.95	4,596.22
横浜学園	37,984.93	29,242.87
豊山学園	50,883.34	26,865.47
豊山女子学園	36,497.96	17,338.03
明誠高等学校	103,800.91	13,383.53
山形高等学校	75,035.99	23,383.51
幼稚園	1,902.57	0.00
計	31,284,969.93	1,686,337.78

土地購入

- ・オーストラリア（ニューカッスル）【本部】
オーストラリア連邦 ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市チャーチ・ストリート9
5,191.00㎡
- ・世田谷（大蔵）校地隣接地【商学部】
世田谷区大蔵二丁目144番6 1筆 22.42㎡
- ・習志野（津田沼）校地近接地【生産工学部】
習志野市泉町二丁目76番110 1筆 1,409.36㎡

蔵書数

※平成29年3月31日現在

部科校名	種類	一般教育図書（冊）	専門図書（冊）	学術雑誌・その他（冊）	合計（冊）
本 部		0	175,803	73,870	249,673
日 本 大 学 病 院		0	0	0	0
法 学 部		98,754	233,318	170,209	502,281
文 理 学 部		350,728	370,956	249,673	971,357
経 済 学 部		68,572	207,952	151,839	428,363
商 学 部		95,698	268,128	114,785	478,611
芸 術 学 部		110,358	279,957	66,838	457,153
国 際 関 係 学 部		180,126	232,219	58,695	471,040
（ 国 際 関 係 学 部 ）	（	31,186	164,816	28,321	224,323
（ 短 期 大 学 部 （ 三 島 ） ）	（	108,993	67,403	26,443	202,839
（ 三 島 高 等 学 校 ）	（	38,826	0	3,837	42,663
（ 三 島 中 学 校 ）	（	1,121	0	94	1,215
三 軒 茶 屋 キ ャ ン パ ス		3,760	25,495	5,017	34,272
理 工 学 部		103,268	269,840	184,744	557,852
（ 理 工 学 部 ）	（	57,680	237,029	165,684	460,393
（ 短 期 大 学 部 （ 船 橋 ） ）	（	16,888	32,811	17,241	66,940
（ 習 志 野 高 等 学 校 ）	（	28,700	0	1,819	30,519
生 産 工 学 部		46,053	84,635	104,935	235,623
工 学 部		160,285	96,370	112,843	369,498
（ 工 学 部 ）	（	134,009	96,370	110,854	341,233
（ 東 北 高 等 学 校 ）	（	26,276	0	1,989	28,265
医 学 部		11,500	38,579	154,976	205,055
板 橋 病 院		0	0	0	0
歯 学 部		17,095	33,488	49,931	100,514
歯 科 病 院		0	0	0	0
松 戸 歯 学 部		28,629	37,036	64,141	129,806
松 戸 歯 科 病 院		0	0	0	0
生 物 資 源 科 学 部		112,835	119,331	114,404	346,570
（ 生 物 資 源 科 学 部 ）	（	68,057	119,331	114,354	301,742
（ 短 期 大 学 部 （ 湘 南 ） ）	（	0	0	0	0
（ 鶴 ヶ 丘 高 等 学 校 ）	（	23,026	0	50	23,076
（ 藤 沢 高 等 学 校 ）	（	21,752	0	0	21,752
薬 学 部		11,633	25,683	31,629	68,945
通 信 教 育 部		0	5,911	166	6,077
横 浜 学 園 （ 日 本 大 学 高 等 学 校 ・ 中 学 校 ）		17,939	0	961	18,900
豊 山 学 園 （ 豊 山 高 等 学 校 ・ 中 学 校 ）		12,546	0	0	12,546
豊 山 女 子 学 園 （ 豊 山 女 子 高 等 学 校 ・ 中 学 校 ）		35,815	0	0	35,815
明 誠 高 等 学 校		4,935	0	0	4,935
山 形 高 等 学 校		16,639	0	0	16,639
日 本 大 学 幼 稚 園		719	0	0	719
計		1,487,887	2,504,701	1,709,656	5,702,244

IV 財務の概要

1 平成28年度資金収支計算書

〔平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで〕

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	106,938,360,000	106,987,755,013	△ 49,395,013
手数料収入	3,918,930,000	4,312,431,195	△ 393,501,195
寄付金収入	4,274,170,000	4,163,514,290	110,655,710
補助金収入	15,518,610,000	14,492,983,817	1,025,626,183
資産売却収入	500,000	1,024,259,186	△ 1,023,759,186
付随事業・収益事業収入	3,061,270,000	3,356,711,651	△ 295,441,651
医療収入	49,935,230,000	49,955,387,794	△ 20,157,794
受取利息・配当金収入	1,850,640,000	1,607,895,949	242,744,051
雑収入	6,974,420,000	8,441,865,313	△ 1,467,445,313
借入金等収入	2,000,000,000	2,000,000,000	0
前受金収入	19,054,780,000	19,710,060,941	△ 655,280,941
その他の収入	52,676,370,000	54,147,339,505	△ 1,470,969,505
資金収入調整勘定	△ 31,976,550,000	△ 33,989,155,211	2,012,605,211
当年度収入合計	234,226,730,000	236,211,049,443	△ 1,984,319,443
前年度繰越支払資金	35,573,270,000	37,906,703,456	△ 2,333,433,456
収入の部合計	269,800,000,000	274,117,752,899	△ 4,317,752,899

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	105,748,050,000	103,463,664,135	2,284,385,865
教育研究経費支出	55,500,000 60,145,700,000	60,201,194,429	5,571
(教育研究経費支出)	45,563,910,000	44,540,938,699	1,022,971,301
(医療経費支出)	55,500,000 14,581,790,000	15,660,255,730	△ 1,022,965,730
管理経費支出	230,250,000 7,046,230,000	7,276,479,171	829
借入金等利息支出	174,400,000	155,530,625	18,869,375
借入金等返済支出	1,281,130,000	1,281,130,000	0
施設関係支出	29,627,490,000	28,409,757,065	1,217,732,935
設備関係支出	6,864,910,000	5,720,284,800	1,144,625,200
資産運用支出	21,028,010,000	25,185,477,284	△ 4,157,467,284
その他の支出	9,174,720,000	8,584,035,286	590,684,714
〔予備費〕	(285,750,000) 714,250,000		714,250,000
資金支出調整勘定	△ 9,035,490,000	△ 9,493,578,222	458,088,222
当年度支出合計	233,055,150,000	230,783,974,573	2,271,175,427
翌年度繰越支払資金	36,744,850,000	43,333,778,326	△ 6,588,928,326
支出の部合計	269,800,000,000	274,117,752,899	△ 4,317,752,899

(注) 予算の上段数字は予備費の使用額を示す。

2 資金収支計算書の概要

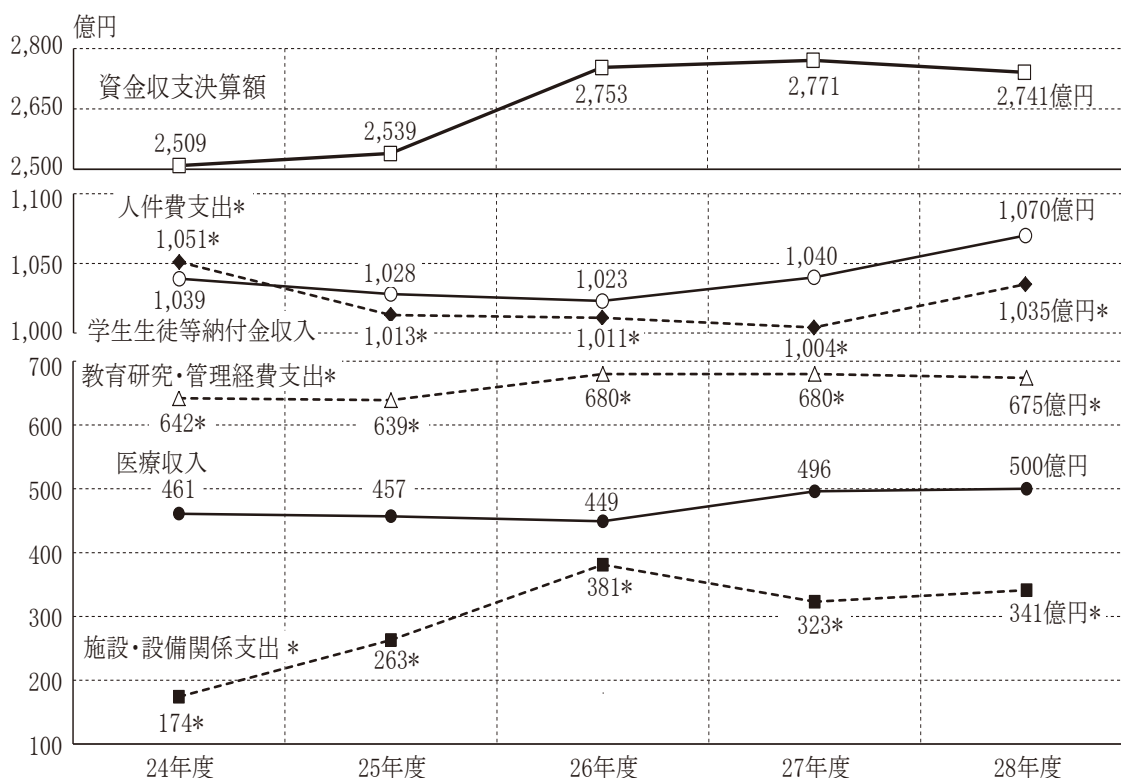
資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他諸活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

平成28年度の資金収支決算総額は、2,741億1,775万2,899円になり、予算対比で43億円の増加になった。

予算対比での主な差異額・差異事由を見ると、収入の部では、手数料収入が学部第一部志願者数の増加により4億円の増収、補助金収入が10億円の減収になった。

支出の部では、人件費支出が教職員数の減少により23億円の支出減、施設関係支出が校舎建設工事の計画変更により12億円の支出減、設備関係支出が校舎建設での購入機器見直しにより11億円の支出減になったが、中科目・医療経費支出が11億円の支出増になった。

平成24年度～平成28年度 資金収支決算の推移



— 活動区分資金収支計算書について —

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成27年度決算より作成が義務付けられた計算書であり、資金収支を「教育活動」・「施設整備等活動」・「その他の活動」に区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにするものである。

平成28年度決算では、教育活動資金収支差額は176億円の収入超過、施設整備等活動資金収支差額は237億円の支出超過になり、合計は61億円の支出超過になった。また、その他の活動資金収支差額は115億円になり、当年度の支払資金の増減額は54億円になった。

平成28年度 活動区分資金収支計算書

1 教育活動による資金収支

(単位:円)

科 目	決 算	科 目	決 算
人 件 費 支 出	103,463,664,135	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	106,987,755,013
教 育 研 究 経 費 支 出	60,201,194,429	手 数 料 収 入	4,312,431,195
(教 育 研 究 経 費 支 出)	44,540,938,699	寄 付 金 収 入	4,107,310,422
(医 療 経 費 支 出)	15,660,255,730	経 常 費 等 補 助 金 収 入	13,894,370,844
管 理 経 費 支 出	7,199,291,518	付 随 事 業 収 入	3,356,711,651
		医 療 収 入	49,955,387,794
		雑 収 入	8,371,848,942
教育活動資金支出計(イ)	170,864,150,082	教育活動資金収入計(ア)	190,985,815,861
差引(ア)-(イ)=(ウ)	20,121,665,779		
調 整 勘 定 等 (エ)	△ 2,539,084,727		
教育活動資金収支差額(ウ)+(エ)=①	17,582,581,052		

2 施設整備等活動による資金収支

科 目	決 算	科 目	決 算
施 設 関 係 支 出	28,409,757,065	施 設 設 備 寄 付 金 収 入	56,203,868
設 備 関 係 支 出	5,720,284,800	施 設 設 備 補 助 金 収 入	598,612,973
施設整備等活動引当特定資産繰入支出	1,890,000,000	施 設 設 備 売 却 収 入	1,024,259,186
		施設整備等活動引当特定資産取崩収入	9,160,000,000
施設整備等活動資金支出計(B)	36,020,041,865	施設整備等活動資金収入計(A)	10,839,076,027
差引(A)-(B)=(C)	△ 25,180,965,838		
調 整 勘 定 等 (D)	1,491,853,024		
施設整備等活動資金収支差額(C)+(D)=②	△ 23,689,112,814		

教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額①+②=③	△ 6,106,531,762
---------------------------------	-----------------

3 その他の活動による資金収支

科 目	決 算	科 目	決 算
借 入 金 等 返 済 支 出	1,281,130,000	借 入 金 等 収 入	2,000,000,000
その他の引当特定資産等繰入支出	23,295,477,197	その他の引当特定資産取崩収入	31,145,267,532
借 入 金 等 利 息 支 出	155,530,625	受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	1,607,895,949
そ の 他 支 出 等	902,709,168	そ の 他 収 入 等	2,431,189,799
その他の活動資金支出計(b)	25,634,846,990	その他の活動資金収入計(a)	37,184,353,280
差引(a)-(b)=(c)	11,549,506,290		
調 整 勘 定 等 (d)	△ 15,899,658		
その他の活動資金収支差額(c)+(d)=④	11,533,606,632		

支払資金の増減額③+④	5,427,074,870
前年度繰越支払資金	37,906,703,456
翌年度繰越支払資金	43,333,778,326

3 平成28年度事業活動収支計算書

〔平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで〕

(単位：円)

区分	科目	予算	決算	差異
【教育活動収支】				
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	106,938,360,000	106,987,755,013	△ 49,395,013
	手数料	3,918,930,000	4,312,431,195	△ 393,501,195
	寄付金	4,231,240,000	4,174,332,937	56,907,063
	経常費等補助金	14,652,100,000	13,894,370,844	757,729,156
	付随事業収入	3,061,270,000	3,356,711,651	△ 295,441,651
	医療収入	49,935,230,000	49,955,387,794	△ 20,157,794
	雑収入	6,970,500,000	8,371,848,942	△ 1,401,348,942
	教育活動収入計	189,707,630,000	191,052,838,376	△ 1,345,208,376
事業活動支出の部	人件費	956,530,000 98,639,000,000	99,595,527,093	2,907
	教育研究経費	43,470,000 79,152,640,000	79,259,036,405	△ 62,926,405
	(教育研究経費)	64,570,850,000	63,598,780,675	972,069,325
	(医療経費)	43,470,000 14,581,790,000	15,660,255,730	△ 1,034,995,730
	管理経費	8,126,940,000	8,172,749,901	△ 45,809,901
	徴収不能額等	29,430,000	60,187,762	△ 30,757,762
	教育活動支出計	1,000,000,000 185,948,010,000	187,087,501,161	△ 139,491,161
教育活動収支差額	2,759,620,000	3,965,337,215	△ 1,205,717,215	
【教育活動外収支】				
事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,850,640,000	1,607,895,949	242,744,051
	教育活動外収入計	1,850,640,000	1,607,895,949	242,744,051
事業活動支出の部	借入金等利息	174,400,000	155,530,625	18,869,375
	教育活動外支出計	174,400,000	155,530,625	18,869,375
教育活動外収支差額	1,676,240,000	1,452,365,324	223,874,676	
経常収支差額	4,435,860,000	5,417,702,539	△ 981,842,539	
【特別収支】				
事業活動収入の部	資産売却差額	500,000	1,000,232,058	△ 999,732,058
	その他の特別収入	1,141,230,000	1,009,714,767	131,515,233
	特別収入計	1,141,730,000	2,009,946,825	△ 868,216,825
事業活動支出の部	資産処分差額	375,580,000	1,009,426,434	△ 633,846,434
	その他の特別支出	2,010,000	265,803,791	△ 263,793,791
	特別支出計	377,590,000	1,275,230,225	△ 897,640,225
特別収支差額	764,140,000	734,716,600	29,423,400	
〔予備費〕	(1,000,000,000) 0			0
基本金組入前 当年度収支差額	5,200,000,000	6,152,419,139	△ 952,419,139	
基本金組入額合計	△ 24,200,000,000	△ 14,014,102,483	△ 10,185,897,517	
当年度収支差額	△ 19,000,000,000	△ 7,861,683,344	△ 11,138,316,656	
前年度繰越収支差額	△ 304,844,460,000	△ 304,844,446,498	△ 13,502	
翌年度繰越収支差額	△ 323,844,460,000	△ 312,706,129,842	△ 11,138,330,158	
(参考)				
事業活動収入計	192,700,000,000	194,670,681,150	△ 1,970,681,150	
事業活動支出計	187,500,000,000	188,518,262,011	△ 1,018,262,011	

(注) 予算の上段数字は予備費の使用額を示す。

4 事業活動収支計算書の概要

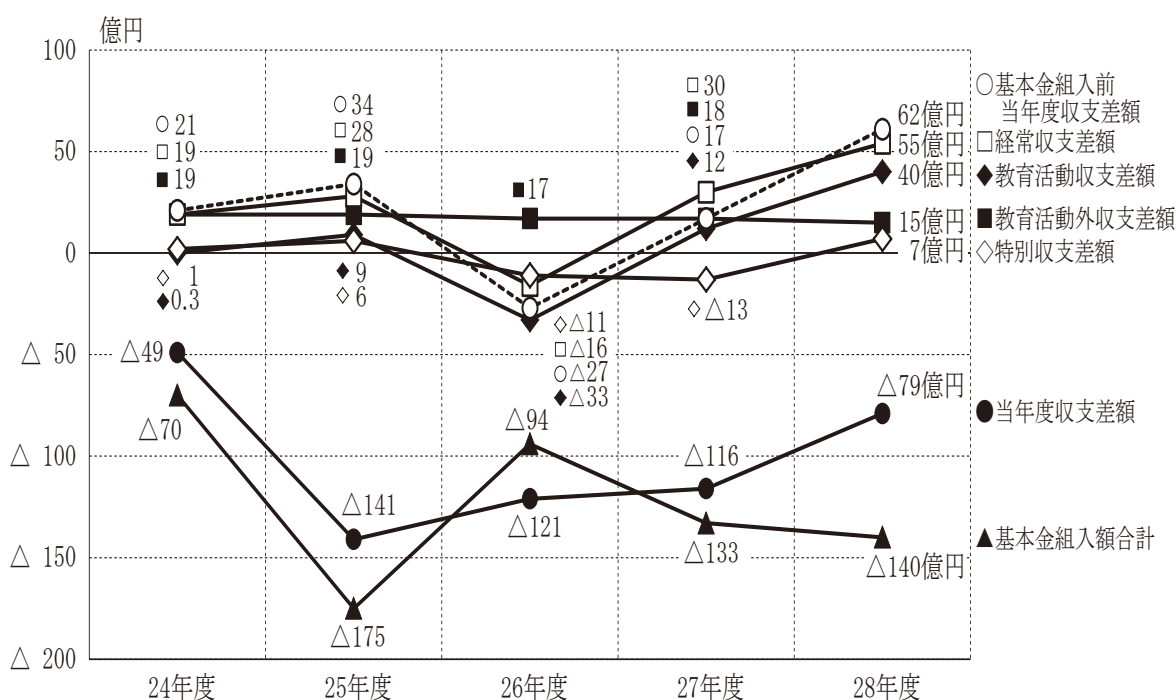
事業活動収支計算書は、平成27年度からの学校法人会計基準の改正により、従来の消費収支計算書を「教育活動」・「教育活動以外の経常的な活動」・「それ以外の活動」の3つに区分したものであり、活動区分ごとの事業活動収入及び事業活動支出の内容並びに基本金組入額を含めた収支の均衡状態を示すものである。

平成28年度の活動区分ごとの収支差額は、教

育活動収支差額は40億円の収入超過、教育活動外収支差額は15億円の収入超過、その合計である経常収支差額は55億円の収入超過になった。また、特別収支差額は7億円の収入超過になった。

この結果、基本金組入前当年度収支差額は62億円の収入超過になり、52億円の収入超過であった予算比で10億円増加した。

平成24年度～平成28年度 事業活動収支決算の推移



(注) 平成24～26年度の金額は、消費収支決算額を、平成27年度からの学校法人会計基準改正によって変更された事業活動収支に置き換えて表示している。

5 貸借対照表（平成29年3月31日）

資 産 の 部

（単位：円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	684,556,048,836	686,515,190,086	△ 1,959,141,250
有 形 固 定 資 産	464,249,213,955	450,899,379,349	13,349,834,606
土 地	128,936,278,939	128,407,696,374	528,582,565
建 物	242,699,680,333	226,964,902,641	15,734,777,692
構 築 物	13,635,379,018	13,886,776,073	△ 251,397,055
教育研究用機器備品	23,544,961,887	24,641,391,499	△ 1,096,429,612
管理用機器備品	847,455,473	827,301,162	20,154,311
図 書	50,379,166,491	50,113,160,368	266,006,123
建設仮勘定	4,083,489,140	5,939,275,760	△ 1,855,786,620
そ の 他	122,802,674	118,875,472	3,927,202
特 定 資 産	215,384,728,825	230,504,519,160	△ 15,119,790,335
第2号基本金引当特定資産	3,000,000,000	5,400,000,000	△ 2,400,000,000
第3号基本金引当特定資産	95,442,120,000	95,028,520,000	413,600,000
退職給与引当特定資産	39,040,811,735	40,781,473,403	△ 1,740,661,668
その他の引当特定資産	77,901,797,090	89,294,525,757	△ 11,392,728,667
そ の 他 の 固 定 資 産	4,922,106,056	5,111,291,577	△ 189,185,521
借 地 権	2,381,672,678	2,381,672,678	0
施 設 利 用 権	439,329,385	449,963,295	△ 10,633,910
教育研究用ソフトウェア	869,413,778	974,633,857	△ 105,220,079
管理用ソフトウェア	272,421,172	278,753,193	△ 6,332,021
敷 金 ・ 保 証 金	245,595,963	279,552,931	△ 33,956,968
長 期 貸 付 金	383,684,235	416,726,865	△ 33,042,630
そ の 他	329,988,845	329,988,758	87
流 動 資 産	59,236,816,698	50,753,781,213	8,483,035,485
現 金 預 金	43,333,778,326	37,906,703,456	5,427,074,870
未 収 入 金	14,539,683,198	11,557,153,180	2,982,530,018
短 期 貸 付 金	165,580,000	300,158,700	△ 134,578,700
棚 卸 資 産	464,707,915	384,532,049	80,175,866
前 払 金	653,964,122	547,247,263	106,716,859
仮 払 金	79,103,137	57,986,565	21,116,572
資 産 の 部 合 計	743,792,865,534	737,268,971,299	6,523,894,235

負債の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	126,141,447,827	129,937,604,516	△ 3,796,156,689
長 期 借 入 金	26,341,220,000	26,158,870,000	182,350,000
退 職 給 与 引 当 金	86,757,359,410	90,625,496,452	△ 3,868,137,042
そ の 他	13,042,868,417	13,153,238,064	△ 110,369,647
流 動 負 債	40,268,274,698	36,100,642,913	4,167,631,785
短 期 借 入 金	1,817,650,000	1,281,130,000	536,520,000
未 払 金	8,723,422,553	6,592,181,001	2,131,241,552
前 受 金	19,734,361,950	19,496,680,392	237,681,558
そ の 他	9,992,840,195	8,730,651,520	1,262,188,675
負 債 の 部 合 計	166,409,722,525	166,038,247,429	371,475,096

純資産の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	890,089,272,851	876,075,170,368	14,014,102,483
第 1 号 基 本 金	779,903,152,851	763,902,650,368	16,000,502,483
第 2 号 基 本 金	3,000,000,000	5,400,000,000	△ 2,400,000,000
第 3 号 基 本 金	95,442,120,000	95,028,520,000	413,600,000
第 4 号 基 本 金	11,744,000,000	11,744,000,000	0
繰 越 収 支 差 額	△ 312,706,129,842	△ 304,844,446,498	△ 7,861,683,344
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 312,706,129,842	△ 304,844,446,498	△ 7,861,683,344
純 資 産 の 部 合 計	577,383,143,009	571,230,723,870	6,152,419,139

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債及び純資産の部合計	743,792,865,534	737,268,971,299	6,523,894,235

6 貸借対照表の概要

貸借対照表は、平成 29 年 3 月 31 日現在の財政状態を示している。

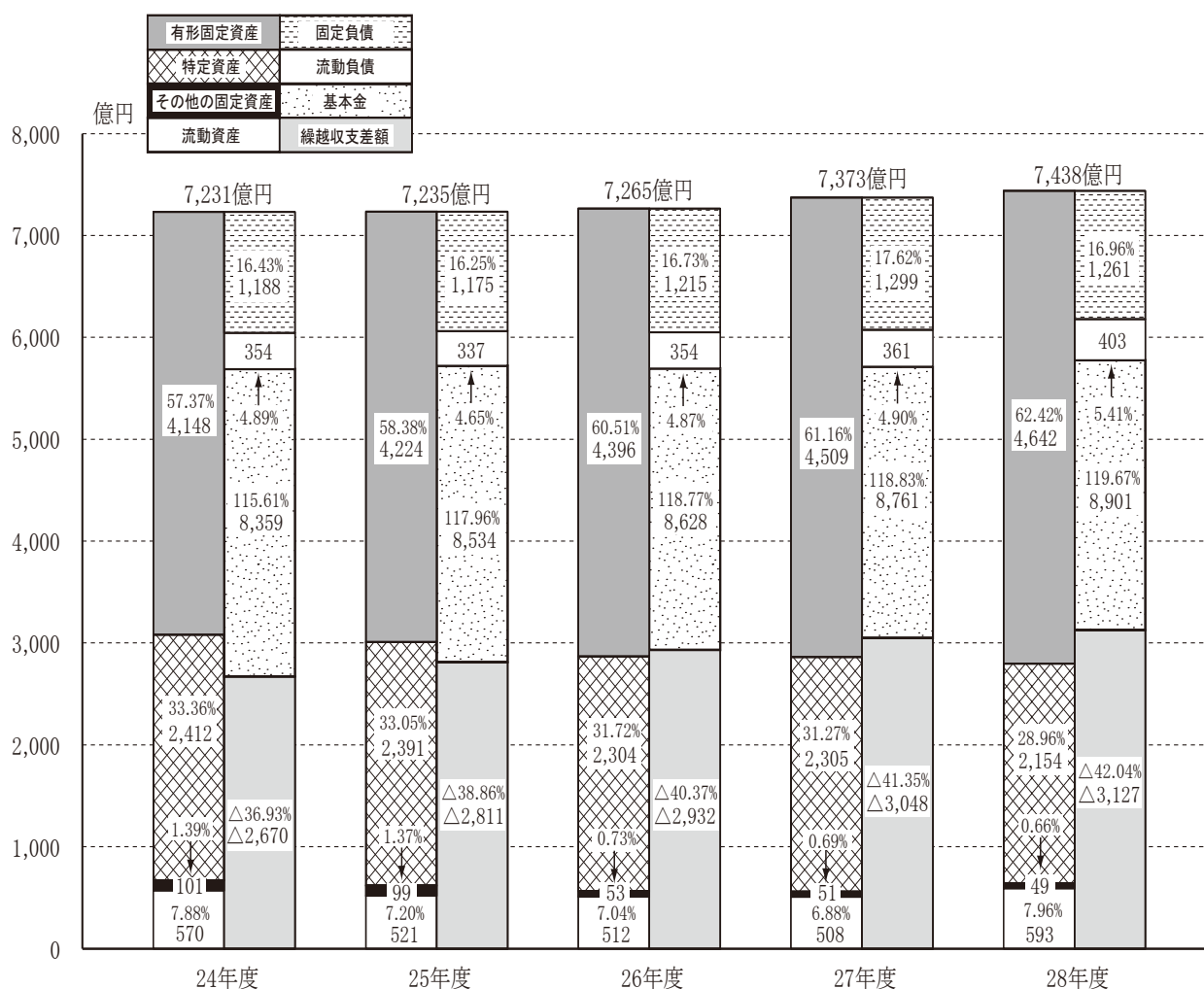
本年度末の資産総額は 7,438 億円で、前年度末に比較して 65 億円増加した。負債総額は 1,664 億円で、前年度末に比較して 4 億円増加した。

また、基本金は 8,901 億円で、前年度末に比較して 140 億円の増加、翌年度へ繰り越す繰越収支

差額は、支出超過額が前年度末より 79 億円増加し 3,127 億円になった。

この結果、基本金と繰越収支差額の合計で、資産総額から負債総額を差し引いた額に相当する純資産総額は 5,774 億円で、前年度末に比較して 61 億円増加した。

平成 24 年度～平成 28 年度 貸借対照表構成比率の推移



7 財産目録（平成29年3月31日）

財産目録は、平成29年3月31日現在の基本財産、運用財産、負債額を示している。

I 資産総額	743,792,865,534 円
内 基本財産	471,553,061,599 円
運用財産	272,239,803,935 円
II 負債総額	166,409,722,525 円
III 純資産	577,383,143,009 円

科 目	数 量	年 度 末
(一) 基 本 財 産	—	471,553,061,599 円
1 土 地	31,284,969.93 m ²	128,936,278,939 円
2 建 物	1,686,337.78 m ²	242,699,680,333 円
(1) 校 舎	1,153,043.85 m ²	151,772,333,146 円
(2) 図 書 館	71,155.49 m ²	9,686,019,895 円
(3) 講 堂 ・ 体 育 館	110,035.32 m ²	12,400,544,816 円
(4) そ の 他	352,103.12 m ²	68,840,782,476 円
3 図 書	5,702,244 冊	50,379,166,491 円
4 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	314,236 点	24,392,417,360 円
5 構 築 物	6,502 件	13,635,379,018 円
6 そ の 他	—	11,510,139,458 円

科 目	年 度 末
(二) 運 用 財 産	272,239,803,935 円
1 現 金 預 金	43,333,778,326 円
2 積 立 金	116,942,608,825 円
3 第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	95,442,120,000 円
4 有 価 証 券	234,574,177 円
5 貸 付 金	549,264,235 円
6 未 収 入 金	14,539,683,198 円
7 そ の 他	1,197,775,174 円

科 目	年 度 末
(三) 負 債 額	166,409,722,525 円
1 固 定 負 債	126,141,447,827 円
(1) 長 期 借 入 金	26,341,220,000 円
(2) 退 職 給 与 引 当 金	86,757,359,410 円
(3) 預 り 金	11,542,070,951 円
(4) そ の 他	1,500,797,466 円
2 流 動 負 債	40,268,274,698 円
(1) 短 期 借 入 金	1,817,650,000 円
(2) 未 払 金	8,723,422,553 円
(3) 前 受 金	19,734,361,950 円
(4) 預 り 金	9,943,914,595 円
(5) そ の 他	48,925,600 円

科 目	年 度 末
(四) 基 本 財 産 + 運 用 財 産	743,792,865,534 円
(五) 純 資 産 (四 - 三)	577,383,143,009 円

8 参考資料

① 平成24年度～平成28年度 財務比率の推移

事業活動収支計算書財務比率の推移						
名称	算式	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(1) 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}} \times 100$	54.7	53.8	53.6	51.9	51.7
(2) 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} \times 100$	97.2	95.5	95.9	93.5	93.1
(3) 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
(4) 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}} \times 100$	40.1	40.4	42.7	42.3	41.1
(5) 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}} \times 100$	4.1	4.2	4.5	4.1	4.2
(6) 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}} \times 100$	9.0	9.5	9.2	8.2	7.4
(7) 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}} \times 100$	1.1	1.8	△ 1.5	0.9	3.2
(8) 基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}} \times 100$	102.7	108.4	106.9	106.6	104.4
貸借対照表財務比率の推移						
(9) 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}} \times 100$	117.1	117.3	118.6	120.2	118.6
(10) 固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産 + 固定負債}} \times 100$	96.9	97.3	97.7	97.9	97.3
(11) 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	161.1	154.7	144.6	140.6	147.1
(12) 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$	21.3	20.9	21.6	22.5	22.4
(13) 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}} \times 100$	27.1	26.4	27.5	29.1	28.8
(14) 繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債 + 純資産}} \times 100$	△ 36.9	△ 38.9	△ 40.4	△ 41.3	△ 42.0

(単位：千円)

区分	科 目	24 年 度		25 年 度		26 年 度		27 年 度		28 年 度	
		決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)
収入の部	1 学生生徒等納付金収入	103,858,846	41.40	102,847,268	40.50	102,332,826	37.17	103,986,005	37.52	106,987,755	39.03
	2 手 数 料 収 入	3,752,262	1.50	3,836,221	1.51	3,773,399	1.37	4,132,351	1.49	4,312,431	1.57
	3 寄 付 金 収 入	4,109,183	1.64	4,329,824	1.71	4,009,146	1.46	4,174,220	1.51	4,163,514	1.52
	4 補 助 金 収 入	16,818,013	6.70	17,631,661	6.94	17,040,569	6.19	15,507,837	5.60	14,492,984	5.29
	5 資 産 売 却 収 入	416,878	0.17	6,247	0.00	8,064	0.00	184,238	0.07	1,024,259	0.37
	6 付随事業・収益事業収入	3,041,831	1.21	3,018,923	1.19	3,038,941	1.10	2,968,682	1.07	3,356,712	1.22
	7 医 療 収 入	46,095,619	18.37	45,729,863	18.01	44,895,186	16.31	49,615,503	17.90	49,955,388	18.22
	8 受取利息・配当金収入	1,961,639	0.78	1,966,650	0.77	1,804,101	0.66	1,900,155	0.69	1,607,896	0.59
	9 雑 収 入	6,887,445	2.75	5,131,869	2.04	7,623,171	2.76	5,642,961	2.03	8,441,865	3.09
	10 借 入 金 等 収 入	1,500,000	0.60	2,000,000	0.79	8,000,000	2.91	14,100,000	5.09	2,000,000	0.73
	11 前 受 金 収 入	18,196,220	7.25	18,797,080	7.40	18,900,860	6.86	19,476,603	7.03	19,710,061	7.19
	12 そ の 他 の 収 入	39,984,356	15.94	36,879,741	14.52	56,791,461	20.63	48,508,638	17.50	54,147,340	19.75
	13 資金収入調整勘定	△ 31,956,164	△ 12.74	△ 29,822,760	△ 11.75	△ 31,198,210	△ 11.33	△ 30,395,768	△ 10.97	△ 33,989,155	△ 12.40
	当年度収入合計	214,666,128	85.57	212,352,587	83.63	237,019,514	86.09	239,801,425	86.53	236,211,050	86.17
	14 前年度繰越支払資金	36,198,849	14.43	41,565,952	16.37	38,308,033	13.91	37,334,447	13.47	37,906,703	13.83
収入の部合計	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	277,135,872	100.00	274,117,753	100.00	
支出の部	1 人 件 費 支 出	105,052,045	41.88	101,318,498	39.90	101,116,843	36.73	100,436,507	36.24	103,463,664	37.74
	2 教育研究経費支出	57,378,477	22.88	57,010,472	22.45	60,562,626	22.00	61,043,286	22.02	60,201,195	21.96
	(1) (教育研究経費支出)	43,702,244	17.43	43,194,981	17.01	46,790,142	17.00	46,035,679	16.60	44,540,939	16.25
	(2) (医療経費支出)	13,676,233	5.45	13,815,491	5.44	13,772,484	5.00	15,007,607	5.42	15,660,256	5.71
	3 管 理 経 費 支 出	6,831,164	2.72	6,936,971	2.73	7,409,732	2.69	6,931,236	2.50	7,276,479	2.65
	4 借入金等利息支出	84,482	0.03	77,891	0.03	89,885	0.03	157,341	0.06	155,531	0.06
	5 借入金等返済支出	1,040,800	0.41	1,040,000	0.41	1,340,000	0.49	1,340,000	0.48	1,281,130	0.47
	6 施 設 関 係 支 出	13,087,660	5.22	19,595,711	7.72	26,485,956	9.62	25,657,491	9.26	28,409,757	10.36
	7 設 備 関 係 支 出	4,297,719	1.71	6,727,097	2.65	11,642,534	4.23	6,599,932	2.38	5,720,285	2.09
	8 資 産 運 用 支 出	22,152,489	8.83	20,403,090	8.04	29,084,357	10.56	35,666,017	12.87	25,185,477	9.19
	9 そ の 他 の 支 出	11,246,041	4.48	12,327,464	4.85	9,016,973	3.27	8,746,670	3.16	8,584,035	3.13
	10 資金支出調整勘定	△ 11,871,852	△ 4.73	△ 9,826,688	△ 3.87	△ 8,755,806	△ 3.18	△ 7,349,311	△ 2.65	△ 9,493,578	△ 3.46
当年度支出合計	209,299,025	83.43	215,610,506	84.91	237,993,100	86.44	239,229,169	86.32	230,783,975	84.19	
11 翌年度繰越支払資金	41,565,952	16.57	38,308,033	15.09	37,334,447	13.56	37,906,703	13.68	43,333,778	15.81	
支出の部合計	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	277,135,872	100.00	274,117,753	100.00	

② 平成24年度～平成28年度 資金収支決算の推移

(注)平成24～26年度決算額は、平成27年度からの学校法人会計基準改正によって変更された科目に置き換えて表示している。

(単位:千円)

③ 平成24年度～平成28年度 事業活動収支決算の推移

区分	科目	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)
【教育活動収支】											
事業 活動 収入 の 部	1 学生生徒等納付金	103,858,846	55.54	102,847,268	55.67	102,332,826	55.38	103,986,005	55.25	106,987,755	54.96
	2 手数料	3,752,262	2.01	3,836,221	2.08	3,773,399	2.04	4,132,351	2.20	4,312,431	2.22
	3 寄付金	3,770,384	2.02	4,365,560	2.36	4,044,847	2.19	4,186,706	2.22	4,174,333	2.14
	4 経常費等補助金	15,163,668	8.11	15,535,154	8.41	15,701,949	8.50	15,115,841	8.03	13,894,371	7.14
	5 付随事業収入	3,041,831	1.63	3,018,924	1.63	3,038,941	1.64	2,968,682	1.58	3,356,712	1.72
	6 医療収入	46,095,619	24.65	45,729,863	24.75	44,895,186	24.29	49,615,503	26.36	49,955,388	25.66
	7 雑収入	6,904,539	3.68	5,143,159	2.79	7,648,891	4.14	5,616,806	2.99	8,371,849	4.30
	教育活動収入計	182,587,149	97.64	180,476,149	97.69	181,436,039	98.18	185,621,894	98.63	191,052,839	98.14
事業 活動 支出 の 部	1 人件費	100,970,983	54.00	98,190,740	53.15	98,155,123	53.12	97,258,695	51.68	99,595,527	51.16
	2 教育研究経費	74,078,975	39.60	73,631,655	39.85	78,250,410	42.34	79,385,742	42.18	79,259,037	40.71
	(1) (教育研究経費)	60,402,697	32.29	59,815,664	32.37	64,476,956	34.89	64,378,135	34.21	63,598,781	32.67
	(2) (医療経費)	13,676,278	7.31	13,815,991	7.48	13,773,454	7.45	15,007,607	7.97	15,660,256	8.04
	3 管理経費	7,492,709	4.01	7,689,555	4.16	8,309,868	4.50	7,722,278	4.10	8,172,750	4.20
	4 徴収不能額等	14,895	0.01	68,405	0.04	24,001	0.01	30,529	0.02	60,187	0.03
	教育活動支出計	182,557,562	97.62	179,580,355	97.20	184,739,402	99.97	184,397,244	97.98	187,087,501	96.10
教育活動収支差額	29,587		895,794		△ 3,303,363		1,224,650		3,965,338		
【教育活動外収支】											
事業 活動 収入 の 部	8 受取利息・配当金	1,961,639	1.05	1,966,650	1.06	1,804,101	0.98	1,900,155	1.01	1,607,896	0.83
	教育活動外収入計	1,961,639	1.05	1,966,650	1.06	1,804,101	0.98	1,900,155	1.01	1,607,896	0.83
事業 活動 支出 の 部	5 借入金等利息	84,482	0.05	77,891	0.04	89,885	0.05	157,341	0.08	155,531	0.08
	教育活動外支出計	84,482	0.05	77,891	0.04	89,885	0.05	157,341	0.08	155,531	0.08
教育活動外収支差額	1,877,157		1,888,759		1,714,216		1,742,814		1,452,365		
経常収支差額	1,906,744		2,784,553		△ 1,589,147		2,967,464		5,417,703		

(単位：千円)

④ 平成24年度～平成28年度 貸借対照表の推移

科 目	24 年 度		25 年 度		26 年 度		27 年 度		28 年 度	
	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)
固 定 資 産	666,086,713	92.12	671,383,469	92.80	675,259,100	92.96	686,515,190	93.12	684,556,049	92.04
有 形 固 定 資 産	414,804,600	57.37	422,356,077	58.38	439,545,105	60.51	450,899,379	61.16	464,249,214	62.42
特 定 資 産	241,221,891	33.36	239,082,726	33.05	230,435,346	31.72	230,504,519	31.27	215,384,729	28.96
退職給与引当特定資産	44,951,754	6.22	43,544,262	6.02	42,211,489	5.81	40,781,473	5.53	39,040,812	5.25
その他の引当特定資産	196,270,137	27.14	195,538,464	27.03	188,223,857	25.91	189,723,046	25.74	176,343,917	23.71
その他の固定資産	10,060,222	1.39	9,944,666	1.37	5,278,649	0.73	5,111,292	0.69	4,922,106	0.66
流 動 資 産	56,967,517	7.88	52,066,312	7.20	51,168,097	7.04	50,753,781	6.88	59,236,817	7.96
現 金 預 金	41,565,952	5.75	38,308,033	5.30	37,334,447	5.14	37,906,703	5.14	43,333,778	5.83
その他の流動資産	15,401,565	2.13	13,758,279	1.90	13,833,650	1.90	12,847,078	1.74	15,903,039	2.13
資 産 の 部 合 計	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00	737,268,971	100.00	743,792,866	100.00

固 定 負 債	118,822,087	16.43	117,539,236	16.25	121,523,055	16.73	129,937,604	17.62	126,141,448	16.96
長 期 借 入 金	6,020,000	0.83	6,680,000	0.92	13,340,000	1.84	26,158,870	3.55	26,341,220	3.54
退職給与引当金	99,892,786	13.82	96,765,028	13.38	93,803,308	12.91	90,625,496	12.29	86,757,359	11.66
その他の固定負債	12,909,301	1.78	14,094,208	1.95	14,379,747	1.98	13,153,238	1.78	13,042,869	1.76
流 動 負 債	35,359,600	4.89	33,659,688	4.65	35,379,251	4.87	36,100,643	4.90	40,268,275	5.41
短 期 借 入 金	1,040,000	0.14	1,340,000	0.19	1,340,000	0.18	1,281,130	0.17	1,817,650	0.24
前 受 金	18,226,441	2.52	18,820,351	2.60	18,919,531	2.60	19,496,680	2.64	19,734,362	2.65
その他の流動負債	16,093,159	2.23	13,499,337	1.86	15,119,720	2.09	15,322,833	2.09	18,716,263	2.52
負 債 の 部 合 計	154,181,687	21.32	151,198,924	20.90	156,902,306	21.60	166,038,247	22.52	166,409,723	22.37
基 本 金	835,919,997	115.61	853,392,237	117.96	862,772,301	118.77	876,075,170	118.83	890,089,273	119.67
第 1 号 基 本 金	724,834,477	100.25	741,377,517	102.48	749,744,581	103.21	763,902,650	103.61	779,903,153	104.85
第 2 号 基 本 金	5,910,000	0.82	6,410,000	0.89	6,800,000	0.93	5,400,000	0.73	3,000,000	0.40
第 3 号 基 本 金	93,431,520	12.92	93,860,720	12.97	94,483,720	13.01	95,028,520	12.89	95,442,120	12.83
第 4 号 基 本 金	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.60	11,744,000	1.59
繰 越 収 支 差 額	△ 267,047,454	△ 36.93	△ 281,141,380	△ 38.86	△ 293,247,410	△ 40.37	△ 304,844,446	△ 41.35	△ 312,706,130	△ 42.04
純 資 産 の 部 合 計	568,872,543	78.68	572,250,857	79.10	569,524,891	78.40	571,230,724	77.48	577,383,143	77.63
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00	737,268,971	100.00	743,792,866	100.00

(単位:千円)

区分	科目	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
		決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)
【特別収支】											
事業 収入の 部	9 資産売却差額	195,872	0.10	2,745	0.00	7,862	0.00	1,052	0.00	1,000,232	0.51
	10 その他の特別収入	2,254,380	1.21	2,305,692	1.25	1,544,936	0.84	680,559	0.36	1,009,714	0.52
	特別収入計	2,450,252	1.31	2,308,437	1.25	1,552,798	0.84	681,611	0.36	2,009,946	1.03
事業 支出の 部	6 資産処分差額	2,301,712	1.23	1,714,676	0.93	2,689,616	1.46	1,880,036	1.00	1,009,426	0.52
	7 その他の特別支出	0	0.00	0	0.00	0	0.00	63,207	0.03	265,804	0.14
	特別支出計	2,301,712	1.23	1,714,676	0.93	2,689,616	1.46	1,943,243	1.03	1,275,230	0.66
特別収支差額		148,540		593,761		△ 1,136,818		△ 1,261,632		734,716	
基本金組入前 当年度収支差額		2,055,284	1.10	3,378,314	1.83	△ 2,725,965	△ 1.48	1,705,832	0.91	6,152,419	3.16
基本金組入額合計		△ 6,950,004	△ 3.72	△ 17,472,240	△ 9.46	△ 9,380,065	△ 5.08	△ 13,302,868	△ 7.07	△ 14,014,102	△ 7.20
当年度収支差額		△ 4,894,720		△ 14,093,926		△ 12,106,030		△ 11,597,036		△ 7,861,683	
前年度繰越収支差額		△ 262,152,734		△ 267,047,454		△ 281,141,380		△ 293,247,410		△ 304,844,446	
翌年度繰越収支差額		△ 267,047,454		△ 281,141,380		△ 293,247,410		△ 304,844,446		△ 312,706,129	
(参考)											
事業活動収入計		186,999,040	100.00	184,751,236	100.00	184,792,938	100.00	188,203,660	100.00	194,670,681	100.00
事業活動支出計		184,943,756	98.90	181,372,922	98.17	187,518,903	101.48	186,497,828	99.09	188,518,262	96.84

(注)平成24～26年度決算額は、消費収支決算を、平成27年度からの学校法人会計基準改正によって変更された事業活動収支に置き換えて表示している。